

**新しい公共交通検討事業  
調査報告書  
(那覇空港直行バス路線実証実験計画策定)**

平成26年3月

沖縄県 糸満市



## 目次

1. はじめに .....	1
1-1. 調査の背景と目的 .....	1
1-2. 業務内容 .....	2
2. 糸満市の公共交通及び観光の現状 .....	3
2-1. 糸満市～那覇空港直行バスに関連する現状 .....	3
(1) 上位計画から見た課題 .....	3
(2) 公共交通のネットワーク形成に向けた課題 .....	4
(3) 市民ニーズ等から見た課題 .....	4
2-2. 観光の動向 .....	7
(1) 観光客数の推移及び構成 .....	7
(2) 交通手段 .....	8
(3) 各エリアを訪れた日程 .....	9
(4) 外国人観光客のニーズ .....	10
3. 利用者及び関係機関に対する意向調査 .....	11
3-1. 調査概要 .....	11
(1) 調査の目的 .....	11
(2) 調査の方法及び回収率等 .....	12
3-2. 調査結果 .....	18
(1) 市民アンケート（沿道地区） .....	18
(2) 観光客アンケート .....	19
(3) 関係者ヒアリング .....	21
3-3. 住民アンケート（沿道地区） .....	24
3-4. 観光客アンケート .....	28
4. 運行計画 .....	42
4-1. 利用者像（ターゲット） .....	42
4-2. 運行計画 .....	43
(1) 運行ルート設定の考え方 .....	43
(2) バス停位置 .....	45
(3) 運行日 .....	62
(4) 運行間隔及び運行時間帯 .....	63
(5) 料金 .....	65
(6) 車両 .....	66
(7) 既存路線への影響 .....	66
4-3. 利用促進策 .....	69
(1) 観光地滞在の魅力づくり .....	69
(2) 観光交通の利便性の向上 .....	69
(3) 広報活動 .....	70
(4) 他事業との連携 .....	71
(5) その他 .....	71

5. 事業収支 .....	72
5-1. 実証実験運行経費の試算 .....	72
5-2. 需要予測 .....	73
(1) 需要予測の概要 .....	73
(2) 沖縄県内及び県外観光客 .....	76
(3) 外国人観光客の需要予測 .....	79
(4) 沿道住民の需要予測 .....	82
5-3. 事業収支の試算 .....	86
(1) 事業収支の試算条件 .....	86
(2) 運行経費 .....	86
(3) 運賃収入 .....	86
(4) 事業収支 .....	87
6. 成果指標・見直し基準（案） .....	88
6-1. 成果指標（案） .....	88
(1) 速達性の向上 .....	90
(2) 利用者数の増加 .....	91
(3) 新規利用者の拡大 .....	92
6-2. 本格運行時における見直し基準（案） .....	94
(1) 評価の必要性 .....	94
(2) 評価指標 .....	94
(3) 路選別の事業収支の評価 .....	95
(4) 波及効果の評価 .....	96
(5) 事業収支と波及効果による評価 .....	97
7. 実証実験に向けて .....	98
7-1. 事業スキーム .....	98
7-2. 事業スケジュール .....	99
8. 参考資料 .....	100
8-1. 仕様書（案） .....	100
8-2. 事例調査 .....	108
(1) 県内事例 .....	108
(2) 県外事例 .....	118
8-3. ヒアリング調査記録 .....	112
8-4. 現在の路線バス運賃について .....	159
8-5. 申請書類等 .....	160
8-6. リーフレット（案） .....	177
8-7. 糸満市那覇空港直行バス路線実証実験検討委員会及び幹事会 .....	180
(1) 糸満市那覇空港直行バス路線実証実験検討委員会 設置要領 .....	180
(2) 糸満市那覇空港直行バス路線実証実験幹事会 設置要領 .....	183
(3) 会議一覧 .....	184

# 1. はじめに

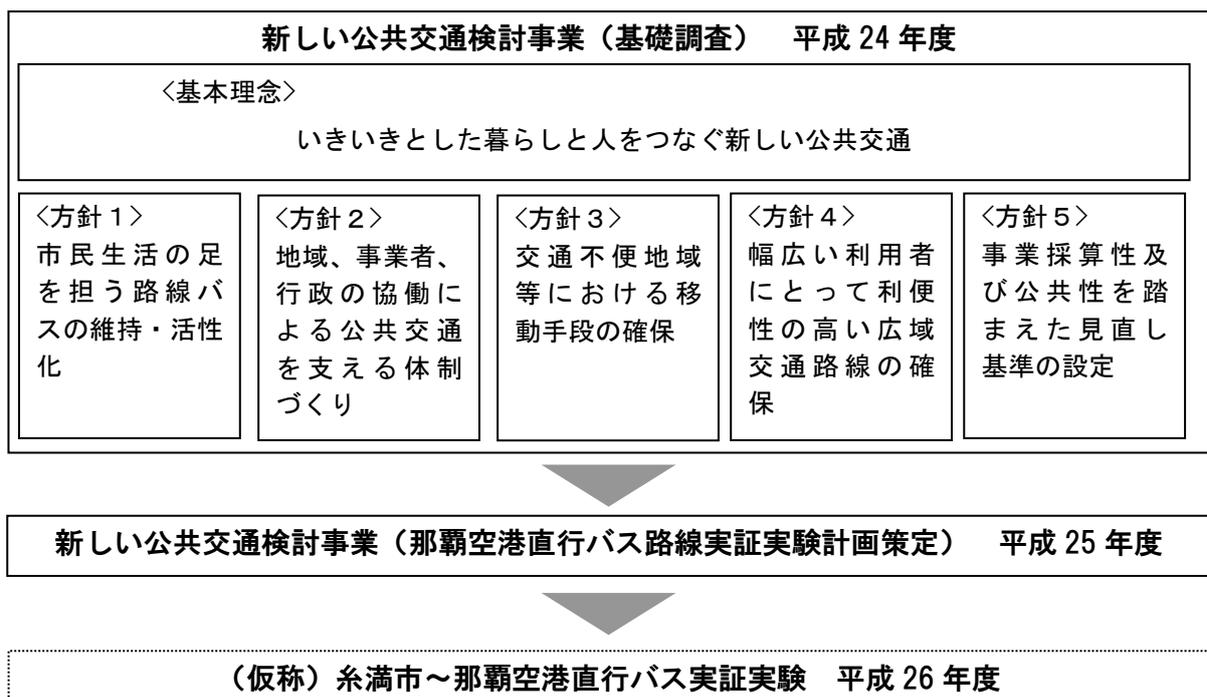
## 1-1. 調査の背景と目的

糸満市では、観光資源を有する地域（ムラ）において公共交通手段の確保が課題となっており、糸満市全体を博物館と見立てた「糸満市まるごと博物館事業」を具体化させるため、平成24年度は新たな公共交通の可能性・方向性を示すこととあわせて、今後予定している実証実験に向けた基礎調査を行った。

本市の公共交通は、国道331号バイパスの開通により那覇空港や那覇市への交通アクセスが飛躍的に向上したが、バス路線がバイパスを経由しないなど、十分にメリットを得られていない。また、市内には沖縄県を代表する観光資源や大型宿泊施設がありながら公共交通との連動が弱く、公共交通利用を希望する観光客のニーズに対応できていない状況にある。

そのため、地域公共交通の再編・見直しにあたっては、先行的に地域の骨格となる公共交通として、那覇空港から大型宿泊施設や観光地を経由するバス路線（以下、「糸満市～那覇空港直行バス」）を構築し、段階的に公共交通の空白地域の解消や不採算路線の見直し等に取り組むこととした。糸満市～那覇空港直行バスの構築により、本県観光に訪れるリピーター層の希望するバス移動の手段が確保され、観光施策の充実につながることを期待される。

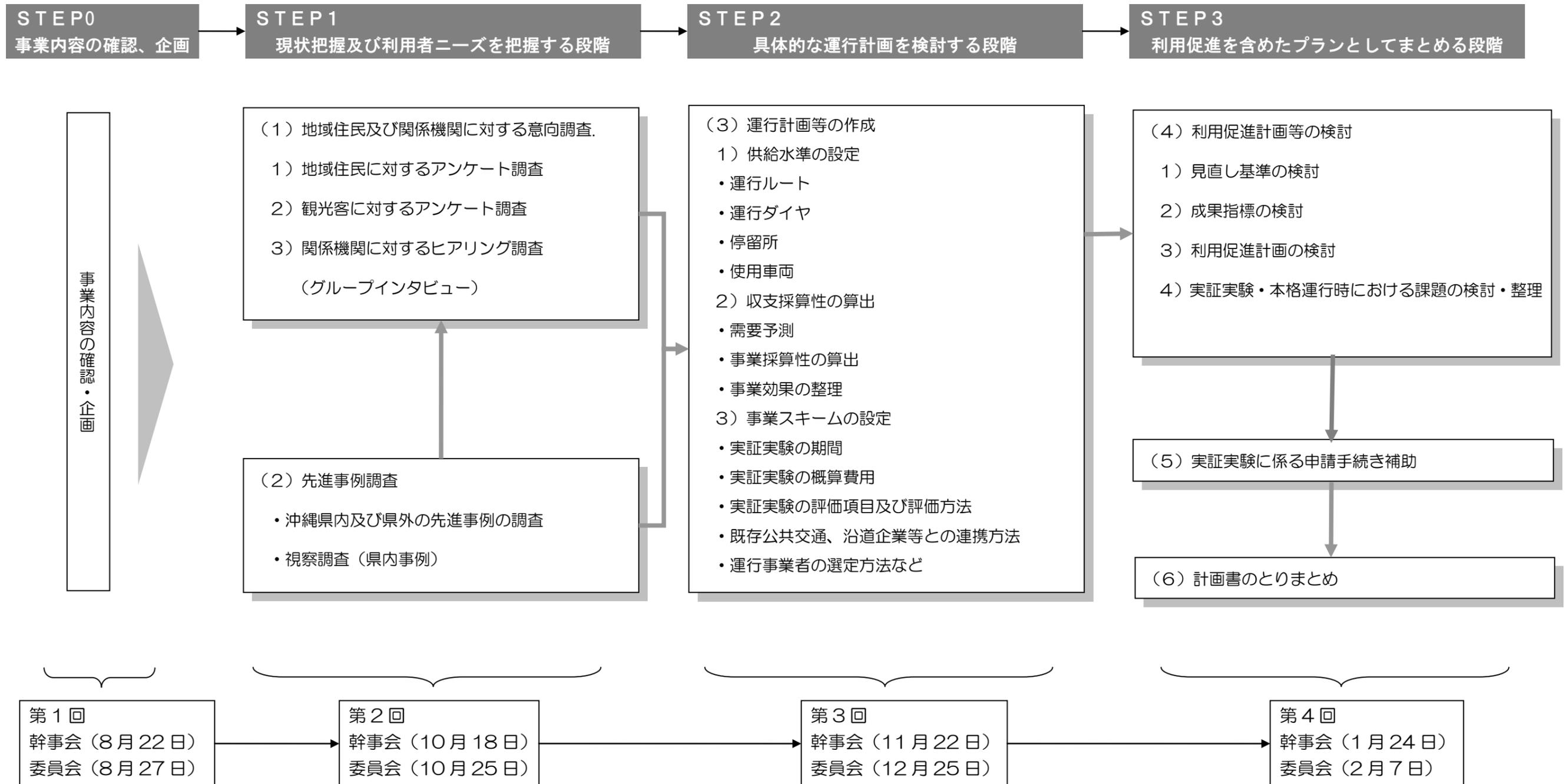
以上を踏まえ、本業務は糸満市～那覇空港直行バスの実証実験に向けて、沿道住民や観光客の利用意向を問うアンケート調査や、主要な観光施設・商業施設等に対して、実証実験バスとの連携・協働可能性等に関するヒアリング調査を行い、実証実験や本格運行を見据えた実証実験バス運行計画案について検討することを目的とする。



1-2. 業務内容

本事業では、以下に示す調査・検討を行い、「糸満市～那覇空港直行バス路線運行計画」を策定する。

なお、STEP 1 現況把握及び利用者ニーズを把握する段階、STEP 2 具体的な運行計画を検討する段階、STEP 3 利用促進を含めプランとしてまとめる段階、の3つのステップで検討を進めた。



## 2. 糸満市の公共交通及び観光の現状

### 2-1. 糸満市～那覇空港直行バスに関連する現状

(平成 24 年度 新しい公共交通検討事業調査報告書より抜粋)

#### (1) 上位計画から見た課題

糸満市外からの観光としては、ひめゆりの塔や平和祈念公園等の沖縄県を代表する観光資源を有しながら、観光宿泊拠点の那覇市に近いとの地理的条件から素通り観光となっていた。近年は、糸満市内のリゾートホテル建設や広域幹線道路の南部地域への延伸、国道 331 号バイパスの建設等から、糸満市を宿泊拠点とした観光が期待される状況にある。観光客等の利便性を向上させるため、沖縄県総合交通体系基本計画に示される、沖縄県南部地域の観光地等を連携する新たな公共交通の整備が必要である。



図 5-5 沖縄本島における観光拠点へのアクセス交通網（公共交通）の強化

資料：沖縄県総合交通体系基本計画 平成 24 年 6 月 (沖縄県)

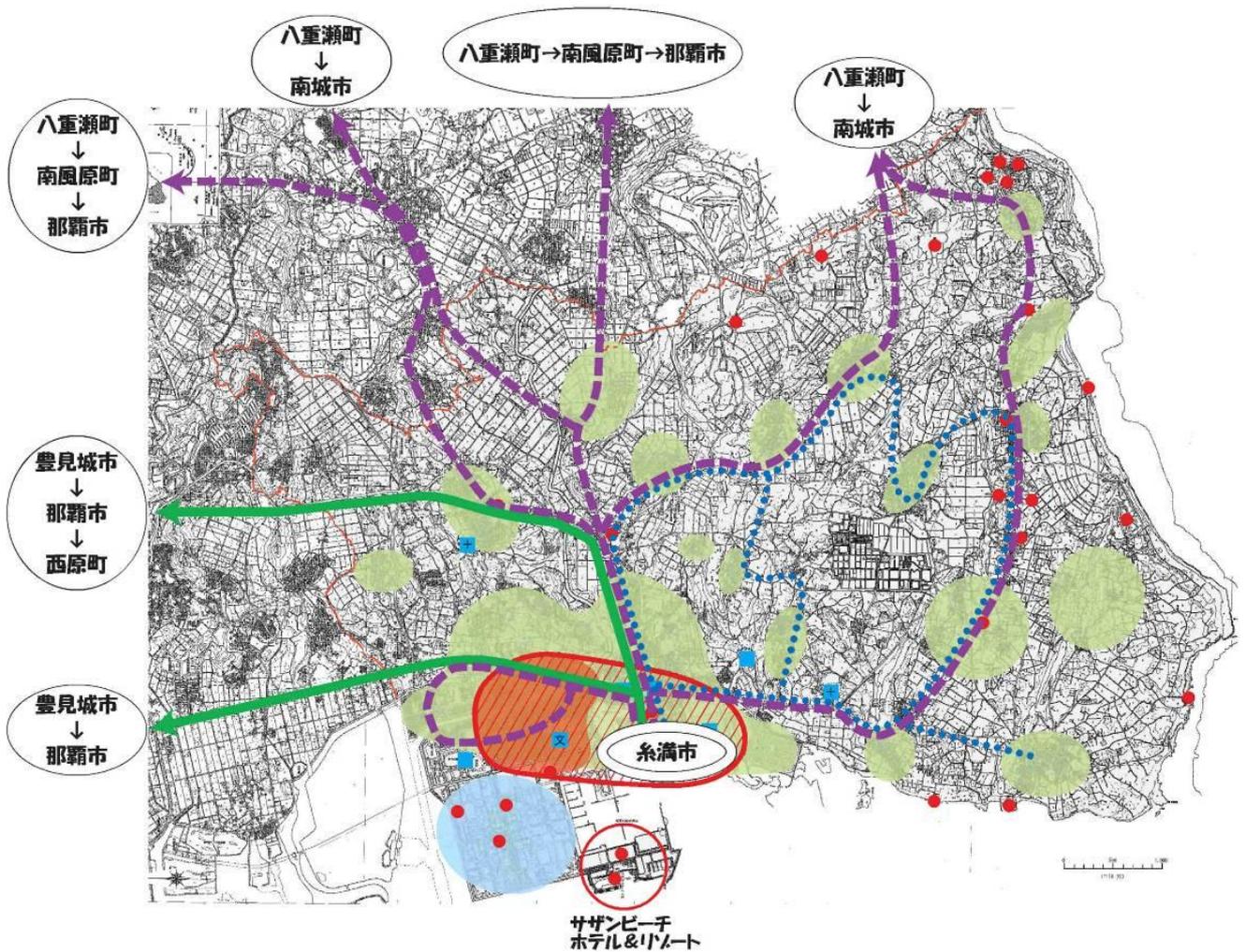
(2) 公共交通のネットワーク形成に向けた課題

市内の主要な公共公益施設や観光施設等に直接乗り入れているバス路線はない。各施設間の結びつきが十分に確保されていないため、複数の用を足そうとする際には利用しづらい状況にある。そのため、市内の主要施設を直接結ぶ、より多くの目的を満たせるようなバス路線の整備が必要である。

各バス路線は、主要な公共公益施設が集中している字糸満市街地を通るようになってきているが、西崎町等の新市街地とのアクセス性が十分ではないため、結びつきを強化する必要がある。

国道 331 号バイパスの開通により那覇市への交通アクセスが飛躍的に向上したが、バス路線化がされていない為、十分なメリットが得られていない。

図. 路線バスのネットワーク

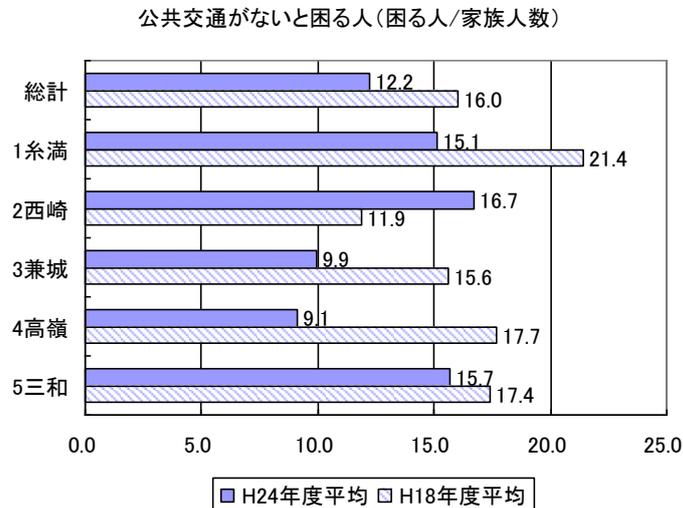


凡例

	幹線系		市街地		住宅地		公共施設
	準幹線系		新市街地		工業地		観光地
	支線系						

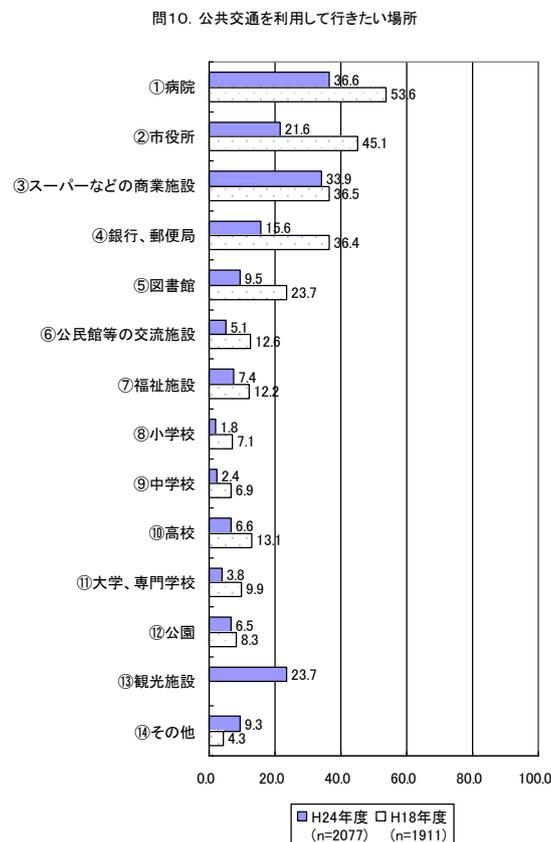
(3) 市民ニーズ等から見た課題

「公共交通がないと困る人」は、西崎地区が16.7%と最も高い。次いで「三和地区」が15.7%、「糸満地区」が15.1%となっている。また、「西崎地区」は、H18年度調査と比べ「公共交通がないと困る」と回答している人が4.8%増加している。



公共交通を利用して行きたい場所は、「病院」が36.6%と最も多く、「スーパーなどの商業施設」33.9%、「観光施設」23.7%と続いている。

「病院」は各施設送迎バスにより、交通手段は一定確保されている。今後、路線バスルートの再編などにより「商業施設」や「観光施設」を経由する公共交通が望まれている。



# 整備方針図（案）

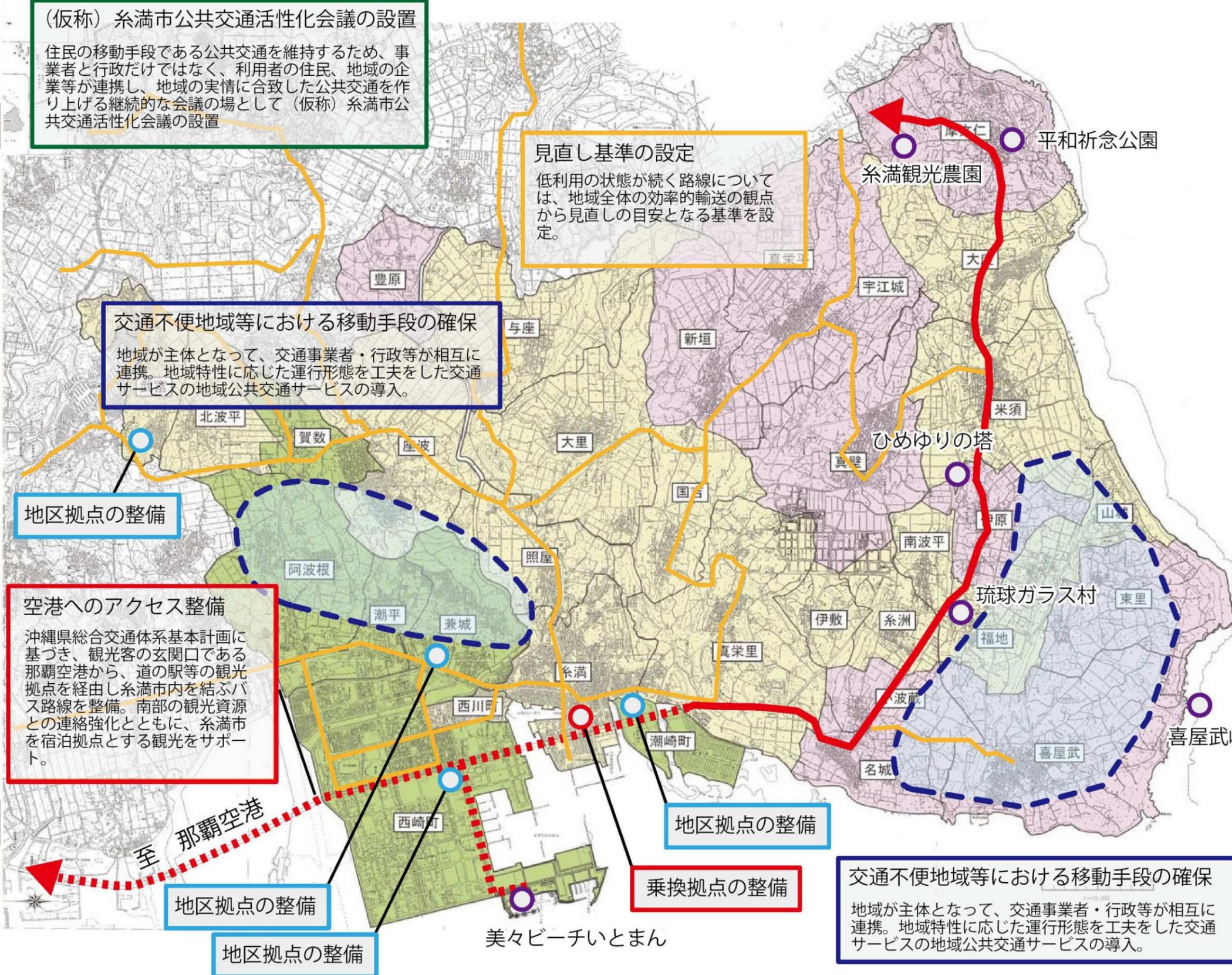
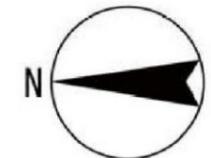
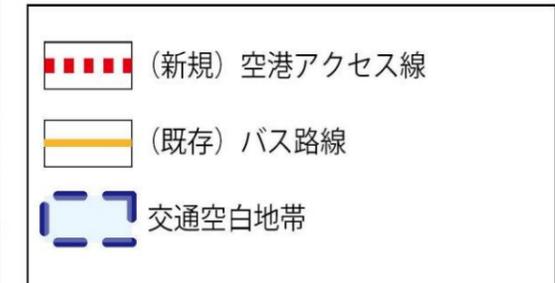
## 凡例

### 高齢化率



平成24年3月末現在の年齢別人口による高齢者率

### 公共交通



## 2-2. 観光の動向

### (1) 観光客数の推移及び構成

沖縄県の観光客数は、平成20年の5,934,300人をピークに減少傾向にあったが、平成24年度は5,924,700人と回復傾向にある。

観光客のうち、国内観光客が5,542,200人(93.5%)、外国人観光客が382,500人(6.5%)である。外国人観光客は、「台湾」が39%と最も多く、次いで「中国本土」及び「香港」が15%、「韓国」が12%である。

1 沖縄観光の推移  
(1) 概況(年度)



【年度】入域状況

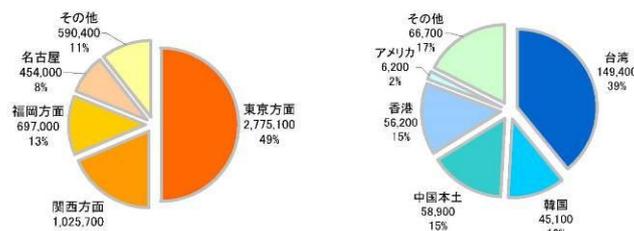
最近5年間の入域観光客数の動向

	入域観光客数		国内客		外国人客	
	人数(人)	対前年度比	人数(人)	対前年度比	人数(人)	対前年度比
H20年度	5,934,300	+0.7%	5,697,300	△0.1%	237,000	+25.5%
H21年度	5,690,000	△4.1%	5,443,800	△4.4%	246,200	+3.9%
H22年度	5,705,300	+0.3%	5,422,500	△0.4%	282,800	+14.9%
H23年度	5,528,000	△3.1%	5,226,600	△3.6%	301,400	+6.6%
H24年度	5,924,700	+7.2%	5,542,200	+6.0%	382,500	+26.9%

【年度】国籍別入域状況(海外)

区分	H24年度	H23年度	増減数	増減率	構成比
台湾	149,400 人	115,600 人	+ 33,800 人	+ 29.2%	39.1%
韓国	45,100 人	26,000 人	+ 19,100 人	+ 73.5%	11.8%
中国本土	58,900 人	44,500 人	+ 14,400 人	+ 32.4%	15.4%
香港	56,200 人	54,700 人	+ 1,500 人	+ 2.7%	14.7%
アメリカ	6,200 人	6,500 人	△ 300 人	△ 4.6%	1.6%
その他	66,700 人	54,100 人	+ 12,600 人	+ 23.3%	17.4%
合計	382,500 人	301,400 人	+ 81,100 人	+ 26.9%	100.0%

国内客 構成比 【平成24年度】 外国人客 構成比



資料：平成24年観光要覧 平成25年9月 (沖縄県)

## (2) 交通手段

沖縄県観光客の路線バス利用率は「全体」で 5.1%と低い水準にある。また、訪問回数が増えるにしたがって、路線バスの利用率は増加傾向にある。

外国人観光客の路線バス利用率は、「全体」で 13.2%と国内観光客の路線バス利用率と比較すると高い傾向にある。

### ▼沖縄県観光の交通手段

図表 4-7 「観光地めぐり」の旅行内容（来訪回数別、複数回答）

	(%)							
	初めて	2回目	3回目	4回目	5~9回目	10~19回目	20回目以上	全体
交通機関								
路線バス	5.3	2.6	3.8	5.6	7.6	8.4	10.3	5.1
観光バス	38.1	37.1	31.9	23.2	19.8	15.1	10.3	30.7
タクシー	24.4	22.8	25.1	24.7	27.4	36.1	35.3	25.6
モノレール	24.2	17.0	16.7	17.7	19.8	21.8	27.9	20.1
レンタカー	58.0	56.9	64.3	67.7	69.5	64.7	67.6	62.0
自家用車・公用車	0.6	1.9	1.5	2.5	1.7	4.2	5.9	1.7
航空機(県内)	9.3	15.5	21.3	21.7	18.6	15.1	22.1	15.8
船(県内)	7.3	11.6	17.0	19.2	16.4	14.3	17.6	12.9
自転車	1.2	2.8	6.1	7.1	6.2	5.9	10.3	4.1
その他	0.3	1.7	1.2	1.0	2.5	3.4	4.4	1.5
合計	168.6	170.0	188.9	190.4	189.5	189.1	211.8	179.5

資料：平成 23 年度観光統計実態調査 平成 24 年 7 月（沖縄県）

### ▼外国人観光客の交通手段（空路調査）

	全国籍 (2327)	中国 (468)	マルチビザ有 (227)	マルチビザ無 (207)	台湾 (657)	香港 (614)	韓国 (365)	米国 (48)	その他 (175)
貸切バス	45.4	52.6	40.1	66.2	60.6	41.0	29.9	8.3	27.4
モノレール	34.8	31.0	35.7	27.1	37.4	39.3	30.1	18.8	33.7
レンタカー	28.4	9.6	11.0	7.2	20.1	41.4	47.9	8.3	29.7
一般タクシー	24.5	48.5	53.3	44.4	14.3	18.1	16.4	33.3	34.9
路線バス	13.2	20.7	25.1	17.4	10.7	11.2	7.1	18.8	21.1
定期観光バス	6.5	10.9	13.7	8.7	4.1	6.5	7.1	0.0	4.0
友人・親類の車	5.1	2.6	1.8	2.9	2.1	2.0	6.0	58.3	17.1
空港リムジン	4.9	6.2	7.0	5.8	5.2	5.2	2.7	8.3	3.4
船(遊覧船除く)	4.6	9.6	10.6	8.7	1.1	2.8	3.3	10.4	11.4
観光タクシー	2.3	6.2	7.9	4.3	1.2	1.5	0.8	4.2	1.7
レンタサイクル	1.7	1.9	1.8	1.9	0.9	2.4	0.3	4.2	4.0
飛行機(県内のみ)	1.6	3.0	2.6	3.4	1.1	0.5	1.1	0.0	5.7
その他	1.0	0.4	0.9	0.0	0.5	0.7	1.4	4.2	4.6

資料：平成 24 年度外国人観光客満足度調査報告書（沖縄県）

### (3) 各エリアを訪れた日程

沖縄県観光客の日程は、平成 24 年では、2泊3日（3日）が 38.4%と最も多く、次いで3泊4日（4日）が 28.3%である。2泊3日（3日）及び3泊4日（4日）の合計が全体の6割を超えている。

沖縄県観光客は、どの日程においても、旅行最終日に沖縄県南部地域を訪れる傾向がある。

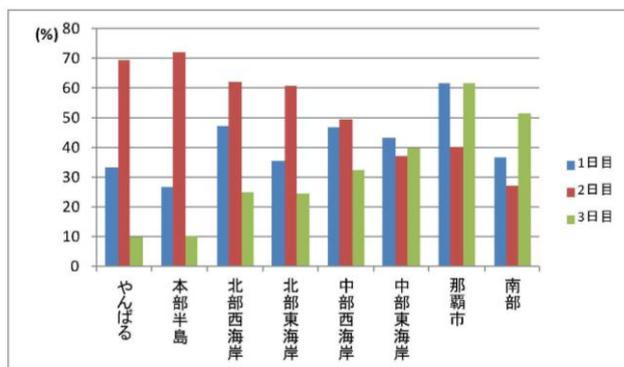
平均滞在日数別内訳

	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
日帰り(1日)	1.2%	0.0%	0.7%	0.6%	0.4%	0.7%	0.5%
1泊2日(2日)	12.1%	11.1%	11.3%	11.6%	9.1%	12.2%	13.8%
2泊3日(3日)	41.3%	43.0%	41.2%	40.7%	39.1%	37.1%	38.4%
3泊4日(4日)	29.3%	31.4%	30.5%	30.7%	31.9%	29.7%	28.3%
4泊5日(5日)	9.2%	8.7%	9.6%	9.8%	13.0%	12.2%	11.1%
5泊6日(6日)	2.3%	2.0%	2.7%	2.8%	3.0%	3.2%	3.5%
6泊7日(7日)	1.2%	1.1%	1.8%	1.2%	1.3%	1.5%	1.4%
7泊以上(8日以上)	3.4%	2.6%	2.3%	2.5%	2.2%	3.4%	2.9%

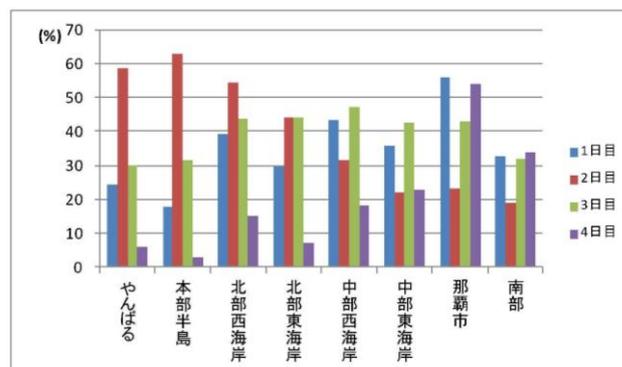
※出所：沖縄県「観光統計実態調査」(H18年度は航空機内で行った大規模調査による数値)

資料：平成 24 年観光要覧 平成 25 年 9 月（沖縄県）

図表 VI-2-109 各エリアを訪れた日数にち（2泊3日）



図表 VI-2-110 各エリアを訪れた日数にち（3泊4日）

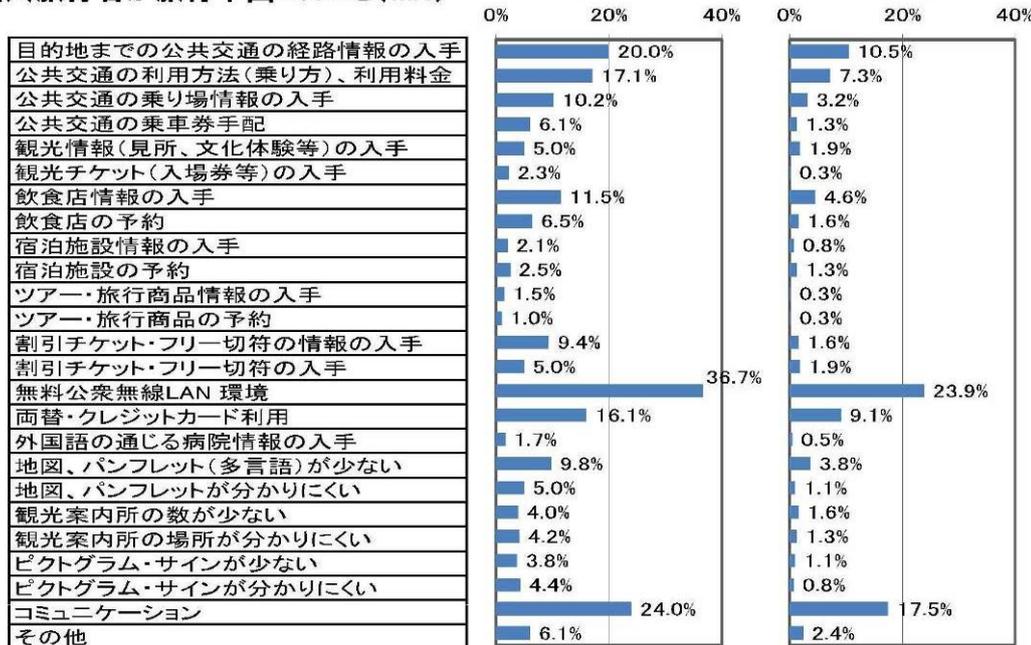


資料：戦略的リピーター創造事業報告書 平成 25 年 3 月（沖縄県）

(4) 外国人観光客のニーズ

外国人旅行者が旅行中に困ったことは、「無料公衆無線LAN環境」36.7%と最も高く、次いで「コミュニケーション」が24.0%、「目的地までの公共交通の経路情報の入手」が20.0%となっている。

■外国人旅行者が旅行中困ったこと(MA)※ 旅行中困ったこと(MA)※ N=479 旅行中最も困ったこと(SA)※ N=372



※MA=複数回答 SA=単回答

■日本の外国人旅行者の受入環境に対する意見

(外国人観光案内所を訪問した外国人旅行者アンケート調査、国内の外国人観光案内所の実態調査(平成23年10月実施)より)

分野	外国人旅行者の意見	観光案内所からの意見聴取
公共交通	○フリーパスが充実していない。 ○Japan Rail Passを日本でも購入可能にしてほしい。	○次の目的地までの移動経路、交通手段に関する問い合わせが多い。 ○公共交通の乗り方や利用料金の問い合わせも多い。多くの外国人旅行者が安い料金での移動を求める傾向にある。
両替・クレジットカード利用環境	○日本円への両替が困難であった。 ○帰国時の移動であったためクレジットカード支払いを希望したが、利用できないところがあった。 ○海外発行のクレジットカードが利用できるATMがどこにあるのを見つげにくい。	○海外発行のクレジットカード利用可能なATM情報についての質問が多い。 ○日本に来て、既にクレジットカードが使えない事態に遭遇しており、その際セブンイレブンでおろした経験があったのだと思われるが、セブンイレブンがどこにあるかという質問も多い。
無料公衆無線LAN環境	○Wi-Fiサービスの充実。 ○外国人旅行者にとって無料公衆無線LAN環境は重要。	○外国人からの無料公衆無線LAN環境へのニーズは非常に高い。 ○入国前にネットで日本を良く調べてきている旅行者が多い。ウェブページをブックマークしておいて、旅行中これらを参照したいということで、無料公衆無線LAN環境の問い合わせも多い。
地図・パンフレット	○広域の地図を入手しづらい。	○観光地のパンフレットは、当該地域の地図しか掲載されていないことが多く、その他の場所の案内には不向きである。そこで、広域的な地図が案内に必要となってくる。
WEBでの情報提供	○WEBサービスを充実させるべき。 ○Wi-Fiスポットの情報提供の充実。	○地図等の情報は自治体単独のものではなく、広域的な情報提供が必要である。
飲食施設	○飲食施設などでの英語の情報が不足している。	○飲食店情報については、おいしい料理を知りたいというニーズに加えて、ベジタリアンや宗教上の制限に関する情報も必要である。
コインロッカー	○コインロッカーは小さい規模の駅にも必要である。	○大型ロッカーの場所に関する質問が多い。

資料：外国人観光案内所を訪問した外国人旅行者アンケート調査、平成23年10月実施(国土交通省観光庁)

## 3. 利用者及び関係機関に対する意向調査

---

### 3-1. 調査概要

#### (1) 調査の目的

本調査は、糸満市～那覇空港直行バスの実証実験に向けた意向を把握し、運行計画検討の基礎資料とすることを目的に実施する。

公共交通に関する市民の意向調査としては、「新しい公共交通検討事業（平成 25 年 2 月）」の中で市民を対象とした全世帯アンケート（19,652 世帯（広報誌配布世帯））、糸満市を訪れた観光客を対象とした観光客アンケート（92 件）を実施している。

このような状況を踏まえ、以下の目的を持って意向調査を実施する。

#### 1) 住民アンケート（沿道地区）

糸満市～那覇空港直行バスについて、運行ルートやバス停位置、運行時間帯など運行計画（案）を示した上で、利用意向や詳細なニーズ等を把握するとともに、実証運行のプロモーション活動の一貫として利用促進を図るため、アンケート調査を実施する。

#### 2) 観光客アンケート

糸満市～那覇空港直行バスの実証実験にあたり、糸満市を訪れた観光客の特性を把握するとともに、糸満市を訪れた観光客の現状やニーズを把握し、運行計画の作成及び今後の観光施策を推進するための基礎資料とする。

#### 3) 関連者ヒアリング

那覇空港直行路線のルート沿線に立地する商業事業者や観光事業者等に対して意見を集約するとともに、路線バスの敷地内乗入れや観光イベント等との連携・タイアップの可能性を探るため、関係者ヒアリング調査を実施する。

※ 調査対象：沿道事業者（ホテル）／沿道事業者（店舗）／沿道事業者（集客施設）  
／交通事業者／観光関連組織／旅行代理店

(2) 調査の方法及び回収率等

1) 住民アンケート (沿道地区)

①調査対象

- ・糸満市全世帯：6,479 世帯 (平成 25 年 10 月配布世帯で算出)

【糸満 5 地区】

南区、前端区、新川区、町端区、第 1 市営住宅

【西崎 6 地区】

西崎 1 丁目、西崎 2 丁目、西崎団地、西崎 3 丁目西、西崎第 2 団地、航空局糸満宿舎

【高嶺 3 地区】

真栄里、ガタ原、真栄里団地

【三和 9 地区】

伊敷、南波平、福地、伊原、米須、米須団地、大度、さつきの城、摩文仁

②調査方法、回収数等

- ・自治連絡員による配布、郵送による回収
- ・調査期間：平成 25 年 11 月 5 日 (火) ～平成 26 年 1 月 10 日 (金)
- ・回収数、回収率

区 分	総 計	糸満地区	西崎地区	兼城地区	高嶺地区	三和地区
配布数	6,479 件	2,090 件	2,517 件	—	880 件	992 件
回収数	359 件	93 件	154 件	—	58 件	54 件
回収率	5.5%	4.4%	6.1%	—	6.6%	5.4%

平成 26 年 1 月 10 日現在

## 住民アンケート（沿道地区）のサンプル数と信頼性について

通常、アンケート調査の必要標本数（信頼できる回収件数）は、統計理論に基づき、以下の計算式により求められる。

$$\text{誤差} (\varepsilon) = k \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \times 100$$

N : 母集団（調査対象者の総数）  
 n : サンプル数  
 k : 信頼度係数=1.96  
     (通常信頼度を95%とする)  
 p : 回答率=0.5  
 ε : 許容できる誤差の範囲（概ね5%以下）

今回の全世帯アンケートは、母集団である糸満市の世帯数 6,479 世帯に対して、サンプル数 (n) が 359 件 (1/10 時点) である。ある設問に対する回答率が 50% (割れる意見) である場合、最も誤差が大きいと考えられることから p を 0.5 と仮定すると、結果の誤差は ±5.0% である。

一般的には、許容できる誤差の範囲は概ね 5% 程度に納めることが、社会調査上望ましいと言われている。今回の調査は糸満市全体で、誤差は約 5% であることから、統計的にも妥当であると考えられる。

新しい公共交通検討事業

糸満～那覇空港直行バスに関するアンケート調査

中面の「糸満～那覇空港直行バス運行計画(案)」を見て、当てはまる項目や番号に○を付けてください。

(設問2以外は一つに○を付けてください)

問1 糸満～那覇空港直行バスが導入された場合、どの程度の頻度で利用すると思いますか。

1. ほぼ毎日    2. 週2～3回    3. 週1回    4. 月に2～3回  
5. 月に1回    6. 2～3ヶ月に1回    7. 利用しない

(問1で「5. 月に1回、6. 2～3ヶ月に1回、7. 利用しない」と答えた方におたずねします。)  
利用しづらい理由について教えてください。

1. 自家用車を利用した方が便利だから  
2. 目的地に着くまで時間がかかるから  
3. 料金が高いと思うから  
4. 自宅や目的地からの停留所が遠いから  
5. バス路線が分かりにくいから  
6. 時間通りに到着しないと思うから  
7. 乗りたい時間帯に走っていないから  
8. その他( )

問2 糸満～那覇空港直行バスを利用して行きたいバス停(目的地)を教えてください(3つ以内)。  
その他、必要なバス停の場所などがあれば教えてください。

1. 那覇空港    2. 西崎運動公園    3. 道の駅いとまん    4. サザンビーチホテル前  
5. 糸満漁港入口    6. 糸満市役所    7. 真栄里入口    8. 南部病院前  
9. 琉球ガラス村前    10. ひめゆりの塔    11. 米須    12. 平和祈念公園入口  
13. 糸満観光農園前

その他、必要なバス停

問3 糸満～那覇空港直行バスをどのような目的で利用すると思いますか。  
1. 通勤    2. 通学    3. 買い物    4. 通院    5. 観光    6. 遊び  
7. その他( )

問4 環境や健康の面からも、公共交通の役割は重要であると考えられます。より路線バスを利用しやすくするためには、何が重要であるとお考えですか。

ご協力ありがとうございました。  
平成 25 年 11 月 22 日 (金) までに、返信用封筒に入れてご投函ください。(切手不要)

平成26年度

糸満～那覇空港直行バスのお知らせ



糸満市では、昨年度から全市民を対象にアンケート調査等を実施するなど、「新しい公共交通システム可能性調査」に取り組んでおり、今年度は『糸満～那覇空港直行バス路線実証実験』に向けた計画の策定を進めています。

このバス路線は、那覇空港から糸満市の主要な施設や観光地などを結び、観光客の区域内移動の円滑化と合わせて、糸満市から那覇市や県外に出かける市民に対しても、速達性と利便性の高い公共交通サービスの実現を目指すものです。

市民生活の足を担う路線バスの維持及び活性化を図ることが、糸満市の公共交通を支える原動力となります。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、『糸満～那覇空港直行バス路線』に対する率直なご意見をお聞かせいただくようご協力をお願い申し上げます。

平成25年11月  
糸満市 企画開発部 政策推進課

1. この調査は、なるべく高齢者や学生など、普段バス等の公共交通を必要とされている方をお願いいたします。
2. 回答していただいた調査票は、全ての方の回答を一括で統計的に処理し、個人の内容が明らかになることはありません。
3. ご記入いただいた調査票は、平成 25 年 11 月 22 日 (金) までに、返信用封筒に入れてご投函ください。(切手不要)
4. ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。  
◆糸満市企画開発部政策推進課 (担当: 喜納(キナ))  
TEL : 098-840-8122 (直通) FAX : 098-840-8157  
◆株式会社オオバ沖縄支店 (担当: 翁長(オナガ))  
TEL : 098-951-1717 FAX : 098-951-1718



## 2) 観光客アンケート

### ①調査対象者

- ・糸満市内の主要観光施設及び宿泊施設に訪れた観光客

### ②調査方法、回収数等

#### ○主要観光施設

- ・調査員による直接ヒアリングによる調査。回答頂いた方には、観光PR誌を配布。
- ・調査期間：平成25年9月21日（土）、22日（日）
- ・回収数
  - ひめゆりの塔（162件）
  - 道の駅いとまん（33件）
  - 美々ビーチいとまん（106件）
  - 琉球ガラス村（170件）

#### ○宿泊施設

- ・宿泊時にフロントにて調査票を配布・回収。回答頂いた方には、粗品を配布。
- ・調査期間：平成25年10月10日（木）～11月5日（火）
- ・回収数
  - サザンビーチホテル&リゾート（72件）
  - スポーツロッジ糸満（5件）

観光客アンケート回収率

区分	総計	ひめゆりの塔	道の駅いとまん	美々ビーチいとまん	琉球ガラス村	宿泊施設
回収数	548件	162件	33件	106件	170件	77件
構成比	100.0%	29.6%	6.0%	19.3%	31.0%	14.1%

平成 26 年度 社会実験ルート(案)



糸満市の観光交通に関するアンケート調査

この度は、糸満市へようこそお越しくださいました。  
 このアンケートは、皆さまの観光交通の実態と糸満市に対する感想を教えてください。魅力的な観光交通の実現を目指すものです。  
 ご旅行中の貴重なお時間に、調査にご協力いただけますことを心より感謝申し上げます。

平成 25 年 9 月  
 糸満市 企画開発部 政策推進課

【アンケート調査票記入及び情報の取扱いについて】

1. 今回ご旅行されたご家族、グループの代表者の方にお答えください。
2. 回答していただいた調査票は、一括で統計的に処理し、個人の回答内容が明らかになることはありません。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

- ◆調査実施機関  
 糸満市 企画開発部 政策推進課 (担当: 喜納)  
 TEL : 098-840-8122 (直通)  
 FAX : 098-840-8157
- ◆調査受託者  
 株式会社オオバ 沖縄支店 (担当: 翁長)  
 TEL : 098-951-1717  
 FAX : 098-951-1718

問 1 あなた自身のことについてお答えください。

居住地	沖縄県以外の方 ⇒ ( ) 都・道・府・県 沖縄県在住の方 ⇒ ( ) 市・町・村
性別	1. 男性 2. 女性
年齢	1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代 5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳以上

問 2 今回の旅行について教えてください。

ご旅行のグループ	1. 一人で 2. 友達等の ( ) 人 グループ旅行 3. 家族 ( ) 人 旅行 4. 社内旅行・修学旅行等の団体旅行 5. その他 ( )
ご旅行の日程 (沖縄県外の方のみ回答)	1. 日帰り 2. 1泊2日 3. 2泊3日 4. 3泊4日 5. 4泊以上 日
ご旅行の宿泊先 (沖縄県外の方のみ回答)	【市町村名、ホテル名など、具体的にお書きください。(複数回答可)】

問 3 これまでに糸満市を訪れた回数について教えてください。

1. 初めて 2. 2回目 3. 3回目 4. 4回以上
------------------------------

問 4 今回のご旅行のスケジュールについて教えてください。

- (1) 今回、立ち寄った、または立ち寄る予定の「糸満市内の観光地」を教えてください。既に立ち寄った場所には○を、これから立ち寄りた場所には△を付けてください。
- |           |  |
|-----------|--|
| 糸満市内      | 1. 平和祈念公園/沖縄県平和祈念資料館 2. 道の駅いとまん<br>3. ひめゆりの塔/ひめゆり平和祈念資料館 4. 糸満市中央市場<br>5. 西崎運動公園 6. 美々(びび)ビーチいとまん<br>7. 琉球ガラス村 8. 糸満市観光農園<br>9. 轟壕(とどろきごう) 10. 音屋武神(きやんみさき)<br>11. その他 ( )           |
| 糸満市での滞在時間 | 1. 2時間以内 2. 半日程度 3. ほぼ一日 4. 1泊2日<br>5. 2泊3日 6. それ以上 ( )  |
| ここまでの移動手段 | 1. レンタカー 2. レンタルバイク 3. タクシー<br>4. マイカー 5. 友人・知人の車 6. 路線バス<br>7. 定期観光バス 8. 貸切バス 9. 徒歩<br>10. その他 ( )  |
| 移動手段の選択理由 | 1. 費用が安いから 2. 所要時間が短いから 3. 移動が楽だから<br>4. 同行者が多いから 5. 複数立ち寄りたから 6. 荷物が重いから<br>7. バスについてよく知らないから 8. 小さい子どもがいるから<br>9. 旅行のバックに含まれているから 10. お酒が飲めるから<br>11. 他の手段をよく知らないから<br>12. その他 ( ) |
- (2) 糸満市以外で、立ち寄った、または立ち寄る予定の「沖縄県本島南部」観光地を教えてください。既に立ち寄った場所には○を、これから立ち寄る予定の場所には△を付けてください。
- |         |  |
|---------|--|
| 立ち寄った場所 | 1. 那覇市内/国際通り 2. 牧志公設市場 3. 壺屋やちむん通り<br>4. DFSギャラリア 5. 首里街並み/首里城公園/守礼門<br>6. 旧海軍司令部壕 7. 沖縄アウトレットモールあしひたな<br>8. 沖縄ワールド/玉泉洞 9. 斎場御嶽(せーふあうたき)<br>10. 久高島 11. 糸満市以外のビーチ<br>12. その他 ( ) |
|---------|--|

問 5 糸満市内の観光地を結ぶバス等の公共交通機関を利用する場合、どの位の運行間隔であれば、利用しても良いと思いますか。

※) 料金は、那覇空港から糸満市街地であれば片道 600 円程度を想定して下さい。(モノレールとバスを利用した場合は片道 710 円、レンタカー(軽自動車)は 6 時間までの利用で 4,000 円程度です。)

1. 30 分毎 2. 1 時間毎 3. 1 時間 30 分毎 4. 2 時間毎 5. 運行間隔に関係なく利用しない ⇒理由 ( )
--

問 6 旅行の交通手段について、どのようなサービスがあれば、路線バス等を利用したいと思いますか?最も当てはまると思うものを3つを選び、番号を記入ください。

サービスの番号

番号	項目	概要
1	観光案内サービス	車内放送や観光ボランティアによる、観光スポットや見どころを案内
2	手荷物預かりサービス(有料:500円程度)	那覇空港や乗換拠点などで、スーツケースや御土産物など、手荷物を預かるサービス
3	宿泊先等でのレンタカー手続き	混み合うレンタカー窓口でなく、宿泊地や観光施設などでレンタカー手続きができるサービス
4	一日フリー乗車券(有料:1500円程度)	乗り降り自由な路線バスのフリーバス乗車券の販売
5	観光地や商業施設での割引サービス	観光施設や商業施設でバス利用者を対象に、入場料や商品・飲食代の割引などが受けられるサービス
6	モノレールやタクシーへの乗継サービス	バス利用者を対象に、モノレールやタクシーの乗換に対する割引などのサービス
7	車両デザインや運転手の制服デザインなど	観光気分を盛り上げるバスの車両デザインや運転手の制服デザインなど
8	環境にやさしい車両の導入	電気エネルギーを動力源とする電気バス、電気とディーゼルのハイブリッドバスなど、環境にやさしい車両の導入
9	自転車や車イス等を積載可能な路線バス	自転車や車イス等を積載可能な、路線バスの導入
10	バスロケーションシステム	携帯電話などで、リアルタイムで停留所までの到着予測時刻や目的地までの到着予測時刻などを確認できるサービス
11	その他【具体的な内容をお書き下さい】	

アンケート調査にご協力ありがとうございました。

### 3) 関係者ヒアリング

業 種	施設名・組織名
沿道事業者 (宿泊施設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サザンビーチホテル&amp;リゾート</li> <li>・ホテル スポーツロッジ糸満</li> </ul>
沿道事業者 (商業事業者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うまんちゅ市場 (道の駅いとまん)</li> <li>・サンエーしおざきシティ</li> </ul>
沿道事業者 (観光事業者等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひめゆり平和祈念資料館</li> <li>・糸満観光農園</li> </ul>
観光関連組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糸満市観光協会</li> <li>・いちまりん/美ら島観光バス</li> <li>・沖縄南部広域観光協会 (NPO自然体験学校)</li> <li>・米須自治会 (まち歩きモデル)</li> <li>・沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)</li> </ul>
交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄都市モノレール株式会社 (ゆいレール)</li> <li>・株式会社琉球バス交通</li> <li>・ときわ交通合資会社</li> </ul>
旅行代理店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社JAL JTAセールス</li> <li>・株式会社JTB</li> <li>・沖縄ツアーリスト株式会社 (OTS)</li> </ul>

### 3-2. 調査結果

#### (1) 住民アンケート（沿道地区）

設 問	概 要
<p>利用頻度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用頻度についてみると、「①ほぼ毎日」～「④月に2～3回」利用すると回答した割合が、40%を占めている。糸満市～那覇空港直行バスの運行により、一定の利用が見込まれることが伺える。一方、「⑦利用しない」と回答した割合は27%である。</li> <li>・地区別でみると、「①ほぼ毎日」～「④月に2～3回」利用すると回答した割合が、「三和地区」及び「高嶺地区」の市南部の地区では50%を超えており、他の地区に比べ高い利用ニーズが伺える。</li> <li>・利用頻度について「⑤月に1回」～「⑦利用しない」と回答した方に対し、利用しづらい理由を確認した所、「①自家用車を利用した方が便利だから」が43%である。運行計画に関連する内容としては、「②料金が安いから」が13%と最も高く、次いで「③乗りたい時間帯に走っていないから」が7%となっている。</li> </ul>
<p>目的地 (利用したいバス停)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用したいバス停（目的地）は、「①那覇空港」が54%と最も多く、次いで「③道の駅いとまん」が28%、「⑥糸満市役所」が25%、「②西崎運動公園」が20%となっている。</li> <li>・その他の意見としては、「アウトレットモールあしびなー」、「モノレール駅（赤嶺駅）」等の意見が多くあげられた。</li> </ul>
<p>利用目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糸満～那覇空港直行バスの利用目的は、「①買い物」が27%と最も多く、次いで「②通勤・通学」が17%、「③観光」が14%である。</li> <li>・地区別に見ると、「三和地区」及び「高嶺地区」の市南部の地区では「①買い物」が最も多い。また、「西崎地区」では「②通勤・通学」、「糸満地区」では「③観光」が最も多い。</li> </ul>
<p>利用しやすくする為 重要なこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より路線バスを利用しやすくするために必要なことは、「①定時運行」及び「②運賃改定」が16%で最も多く、次いで「④増便」が14%、「⑨バス停増設・ルート新設」が9%となっている。</li> </ul>

## (2) 観光客アンケート

設 問		概 要
①回答者の属性	居住地	・「県内観光客」が23%、「県外観光客」が76%。
	年齢	・道の駅では、「県内観光客」が67%と、他の調査地点に比べると県内観光客の割合が高い。 ・「20代」が30%と最も多く、次いで「30代」が28%、「40代」が18%。
②旅行の内容	旅行グループの構成	・「家族旅行」が44%と最も多く、次いで「友達等のグループ旅行」が31%。
	旅行グループの構成	・「2人」が37%と最も多く、次いで「3人」が16%。3人以下の少人数が、58%と約半数を占めている。 ・県外観光客についてみると、「1人」が4%「2人」が44%、「3人」が17%。3人以下の少人数が、65%を占めている。
	旅行の日程	・「2泊3日」が39%と最も多く、次いで「3泊4日」が25%。 ・県外観光客についてみると「2泊3日」が50%と最も多く、次いで「3泊4日」が31%、「4泊以上」が14%。
③糸満市の観光	糸満市に訪れた回数	・「初めて」が40%と最も多く、次いで「4回以上」が24%。 ・県外観光客についてみると「初めて」が49%と最も多い。「2回目」が24%、「3回目」が8%、「4回以上」が13%と、2回以上のリピーターが49%。
	糸満市の滞在時間	・「半日程度」が37%と最も多く、次いで「2時間以内」が23%。 ・県外観光客についてみると「半日程度」が38%と最も多い、次いで「2時間以内」が26%。
④移動手段	移動手段	・「レンタカー」が64%と最も多く、次いで「マイカー」が19%。「路線バス」は、1%。 ・県外観光客についてみると「レンタカー」が82%と最も多い、次いで「タクシー」が5%。「路線バス」は1%。
	移動手段の理由	・「移動が楽だから」が48%と最も多い。 ・県外観光客についてみると「移動が楽だから」が46%と最も多い、次いで「旅行のバックに含まれている」が12%、「複数立ち寄りたから」が10%。

⑤那覇空港 直行路線	運行間隔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行間隔は、「①30分毎」が55%と最も多く、短い運行間隔が望まれている。また、1時間毎の運行（「②1時間毎」～「⑤運行間隔に関係なく利用しない」の合計）は37%が利用すると回答している。</li> </ul>
	サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「一日フリー乗車券（1,500円程度）」が67%と最も多く、次いで「観光案内サービス」が42%。「手荷物預かりサービス（500円程度）」が36%</li> </ul>

(3) 関係者ヒアリング

業種	施設名	指摘の要旨
沿道事業者 (ホテル)	サザンビーチホテル&リゾート  ホテル スポーツ ロッジ糸満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者においても運転免許取得率が下がっている。</li> <li>・現状は、赤嶺駅からタクシー利用を案内している。</li> <li>・宿泊客の利用目的は、那覇市（国際通り等）、夜の食事、市内のファミレス。</li> <li>・利用者は、タクシー代と比較する。時間が掛かってもバス代の方が安いからバスに乗る。家族連れや3～4人グループをバスに乗せるのは、難しい。</li> </ul>
沿道事業者 (店舗)	うまんちゅ市場 (道の駅いとまん)  サンエーしおざきシティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・購入したものを郵送するケースが、県外も県内も増えている。</li> <li>・30分位で次のバスに乗れるなら、降る気になるが、1時間以上待つことになるならば、途中下車しない。</li> <li>・買い物客は、ほとんどがマイカー利用。バス停が近くにあっても降りていない。</li> <li>・折込み広告に、アクセス手段として記載することを検討。</li> <li>・サンエーしおざきシティは、バス車両が乗り入れ出来る設計になっていない。</li> </ul>
沿道事業者 (集客施設)	ひめゆり平和祈 念資料館  糸満観光農園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「平和祈念資料館」は、25年間広告しないできたが、体験講和者も7人となり、今後は広報活動にも取り組む。本日の来場者数は約4,000人。</li> <li>・「観光農園」は、イベント会場とすることは可能。</li> </ul>
交通事業者	ゆいレール  琉球バス  ときわ交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゆいレール」の駅&amp;車内を広告の媒体とすることは、有料で可能。共通券は無理だが、今あるものに付加は可能。</li> <li>・中継ポイントは、集客性が高いことが要件。折返し便と直行便を混合させると投入台数が増える。</li> <li>・新たな乗客の開拓を目指したい。観光客は、非常に流動的。赤嶺駅周辺は渋滞するので、遅延の原因となる。</li> <li>・タクシー利用者の乗車距離は、3km未満の頻度がきわめて高い。</li> <li>・阿波根、兼城、糸洲、南波平あたりでタクシーを呼んだ場合、5～10分程度で駆け付ける体制になっているので、タクシーは、直行バスを補完する機能を持っている。</li> </ul>

<p>観光関連 組織</p>	<p>糸満市観光協会  いちまりん  美ら島観光バス  沖縄南部広域観光協会（NPO 自然体験学校）  米須自治会（まち歩きモデル）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「道の駅いとまん」に情報発信機能を持った管理棟を建設予定。建設すれば、荷物の一時預りは可能。イベント会場としての利用も可能。（無料）</li> <li>・「南風号」の利用者は、7月20日（土）から9月1日（日）の44日間で、3,364人。ホテルのホームページ等に広告。</li> <li>・海外からの観光客は増えており、レンタカーよりも公共交通を望んでいる。</li> <li>・リピーターや個人客の多種多様な要求（期待）に対して、移動手段を増やすことは、地元にとっても経済効果が大きい。</li> <li>・観光客が増えれば、興味を持った市民も利用する。</li> <li>・那覇市からバスで南部を廻ってみるとレンタカーよりも得した感じを得ることができる仕組みが大切。</li> <li>・単発ではなく、毎年度継続させてこそ、人が呼べる。</li> </ul>
<p>旅行代理店</p>	<p>J T A セールス  J T B  O T S</p>	<p>&lt; P R ポイント &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線沿いの施設で利用できるクーポン券と組み合わせる。</li> <li>・南部に注目を浴びる企画を立てる。</li> <li>・「糸満まちあるき」等、他の企画と協調する。</li> <li>・夏のターゲットは、親子連れとなる。</li> <li>・個人向け商品に組み入れる。</li> <li>・観光客の動線に配慮したバスルートを考案すべき。</li> <li>・那覇市内に宿泊している観光客もターゲットに含める。</li> <li>・インフォメーションには、多言語（英語・中国語・韓国語）が不可欠。</li> </ul>

<p>旅行代理店</p>	<p>J T A セールス</p>	<p>&lt;乗降客を増やす方策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月から運行するならば、3月中旬から宣伝。PRに時間をかける。</li> <li>・ 観光客の滞在中に目に留まる方法でPRする。</li> <li>・ 終着駅の糸満観光農園でイベントを開催するか、バスに乗るところから始まる企画を考案する。</li> <li>・ 那覇市内の宿泊者にも利用しやすくするために、久茂地から“うみそらトンネル”を通して、那覇空港を経由するルートとする。</li> <li>・ 外国人にとって、時間的にも安心感が持てるような観光コースを設定する。</li> <li>・ 観光客の集客率は企画性によって左右させるので、糸満市がプロデュースする親子連れを狙った仕掛けを考案する。</li> <li>・ Webでの旅行商品の関連情報として紹介する。</li> <li>・ 入場券の割引等、利用することにお得感を与える。付加価値を加える。</li> <li>・ ホテルや空港での案内所にPRを依頼する。</li> <li>・ Webサイトを活用し、その充実をはかる。</li> </ul>
	<p>J T B</p>	<p>&lt;商品化の可能性(連携の可能性)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の商品、「糸満まちあるき」や「観光農園」等では商品に魅力がないので商品化は困難。</li> <li>・ J T Aセールスでは、商品開発を行う意思はないが、糸満市で商品を開発し魅力的な商品があればとしたら商品として取り入れ販売する可能性がある。</li> </ul>
	<p>O T S</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の商品では商品化は困難</li> <li>・ 夏場の南部観光としては、北部のリゾートホテルに予約が取れなかったお客様をターゲットにできる。</li> <li>・ 県外客のターゲットは極めて少ない。県内客、外国人客の獲得を目指した商品化が必要。</li> <li>・ 受託の可能性はある。</li> <li>・ 現行の商品では商品化は困難。</li> </ul> <p>「飛行機＋ホテル」と「飛行機＋ホテル＋レンタカー」は、販売協定があり、同じ値段で販売している。「飛行機＋ホテル＋バス代金」も同金額で勝負するしかなく、日本人観光客向け商品としては弱い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受託の可能性はある。</li> </ul> <p>「琉球ガラス村」「ひめゆりの塔」「平和祈念公園」をメインに、外国人をターゲットにした提案を行いたい。</p>

### 3-3. 住民アンケート（沿道地区）

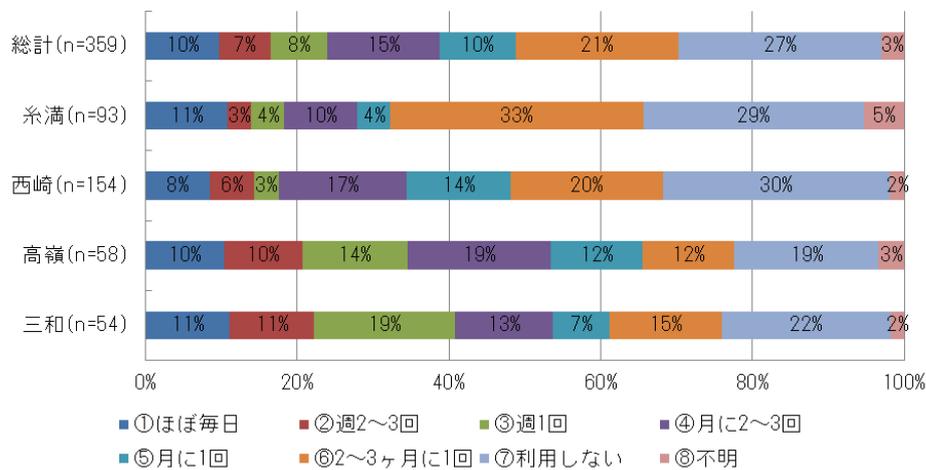
#### 1) 利用頻度

利用頻度についてみると、「①ほぼ毎日」～「④月に2～3回」利用すると回答した割合が、40%を占めている。糸満市～那覇空港直行バスの運行により、一定の利用が見込まれることが伺える。一方、「⑦利用しない」と回答した割合は27%である。

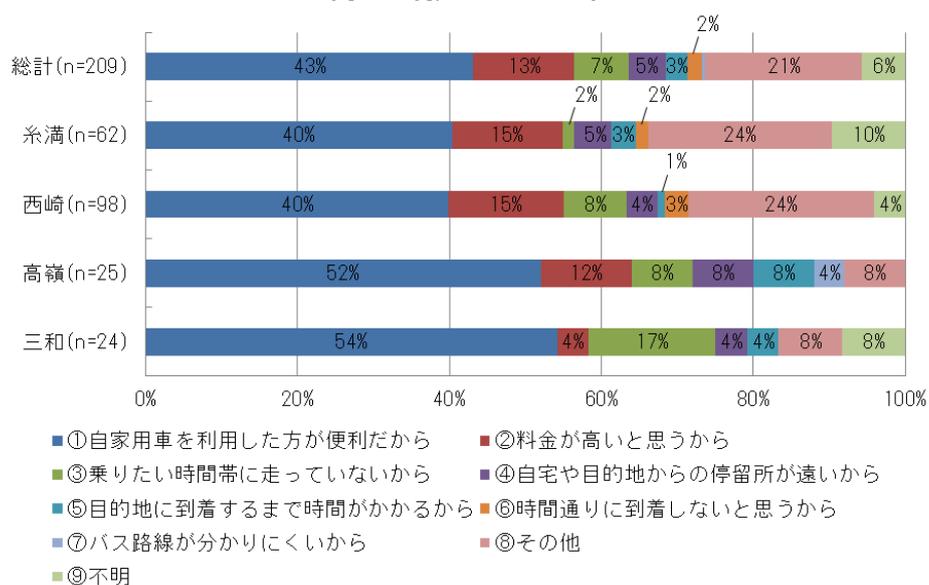
地区別でみると、「①ほぼ毎日」～「④月に2～3回」利用すると回答した割合が、「三和地区」及び「高嶺地区」の市南部の地区では50%を超えており、他の地区に比べ高い利用ニーズが伺える。

利用頻度について「⑤月に1回」～「⑦利用しない」と回答した方に対し、利用しづらい理由を確認した所、「①自家用車を利用した方が便利だから」が43%である。運行計画に関連する内容としては、「②料金が高いから」が13%と最も高く、次いで「③乗りたい時間帯に走っていないから」が7%となっている。

問1-1. 利用頻度



問1-2. 利用しづらい理由

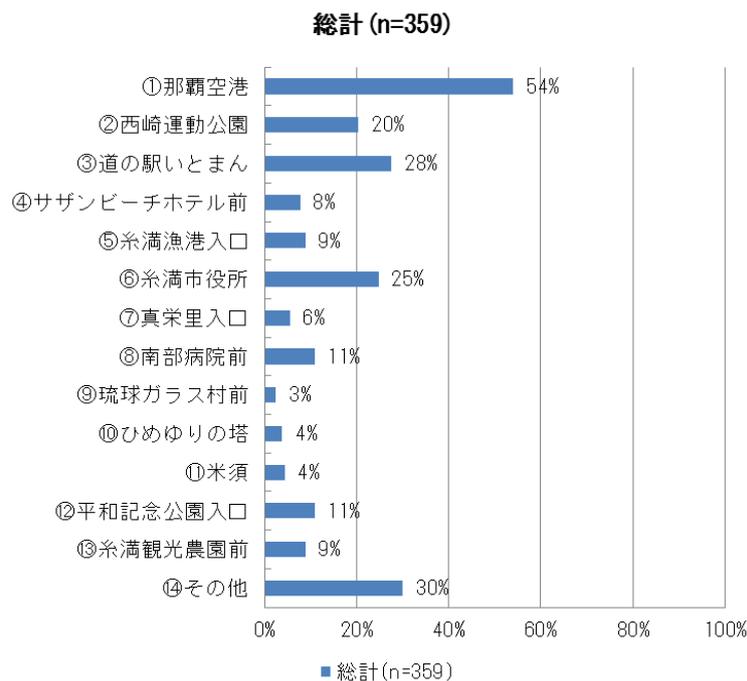


## 2) 目的地

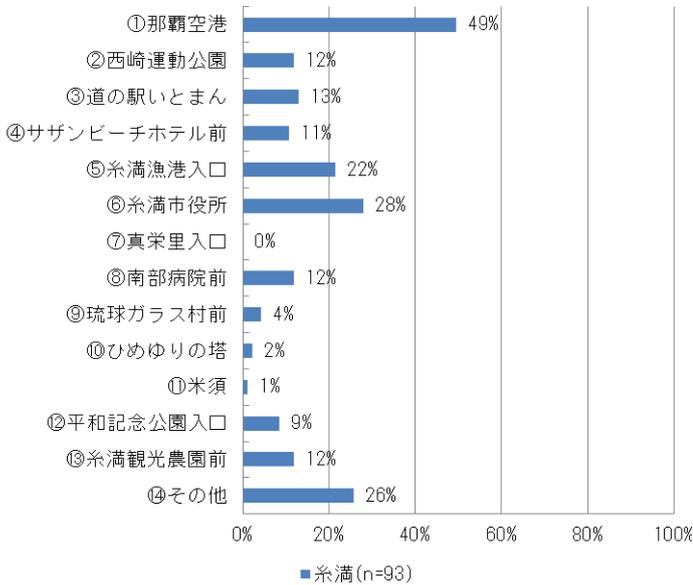
利用したいバス停（目的地）は、「①那覇空港」が54%と最も多く、次いで「③道の駅いとまん」が28%、「⑥糸満市役所」が25%、「②西崎運動公園」が20%となっている。

地区別にみると、全ての地区で「①那覇空港」が最も多く、次いで「三和地区」及び「高嶺地区」の市南部の地区では「③道の駅いとまん」、「糸満地区」では「⑥糸満市役所」、「西崎地区」では「②西崎運動公園」となっている。

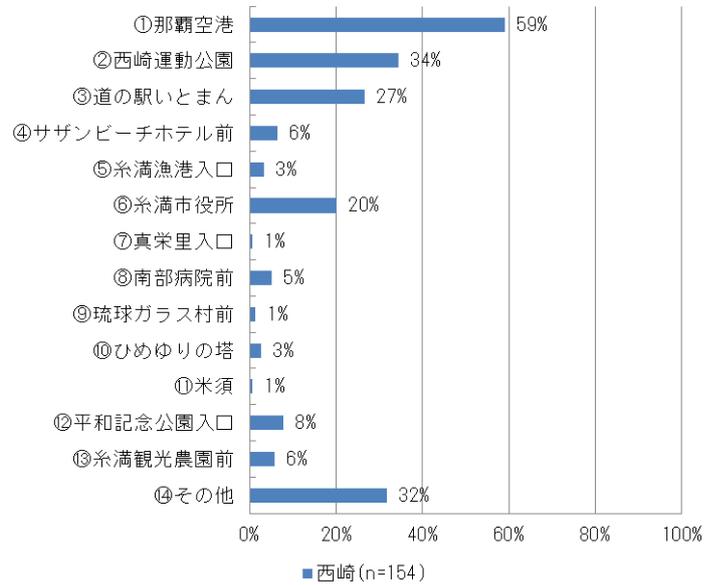
その他の意見としては、「アウトレットモールあしびなー」、「モノレール駅（赤嶺駅）」等の意見が多くあげられた。



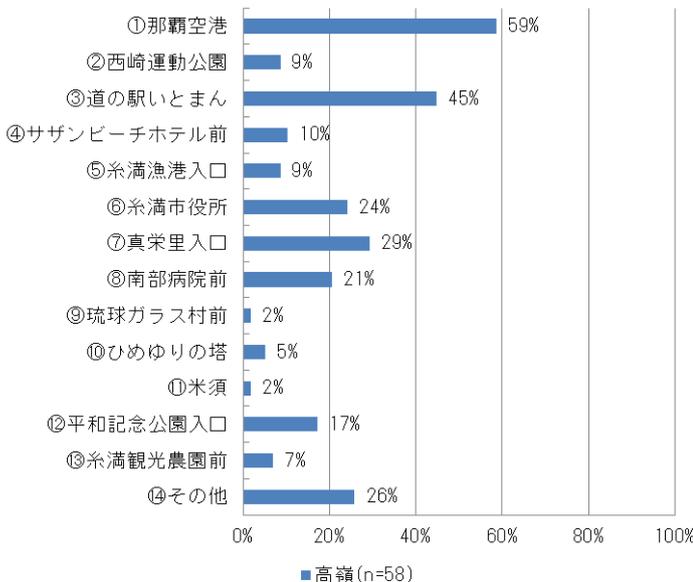
糸満 (n=93)



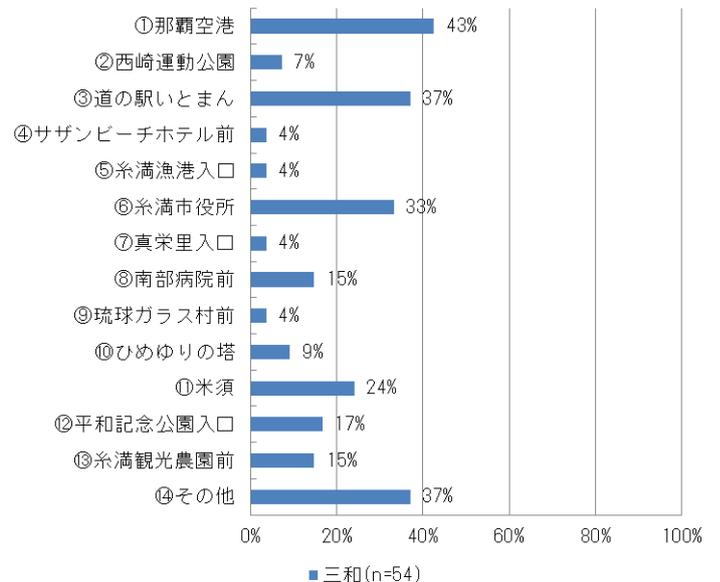
西崎 (n=154)



高嶺 (n=58)



三和 (n=54)

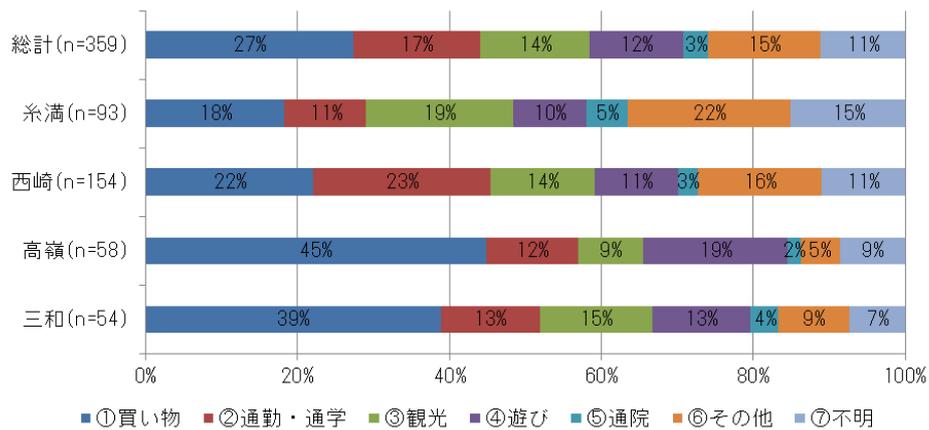


### 3) 利用目的

糸満～那覇空港直行バスの利用目的は、「①買い物」が27%と最も多く、次いで「②通勤・通学」が17%、「③観光」が14%である。

地区別に見ると、「三和地区」及び「高嶺地区」の市南部の地区では「①買い物」が最も多い。また、「西崎地区」では「②通勤・通学」、「糸満地区」では「③観光」が最も多い。

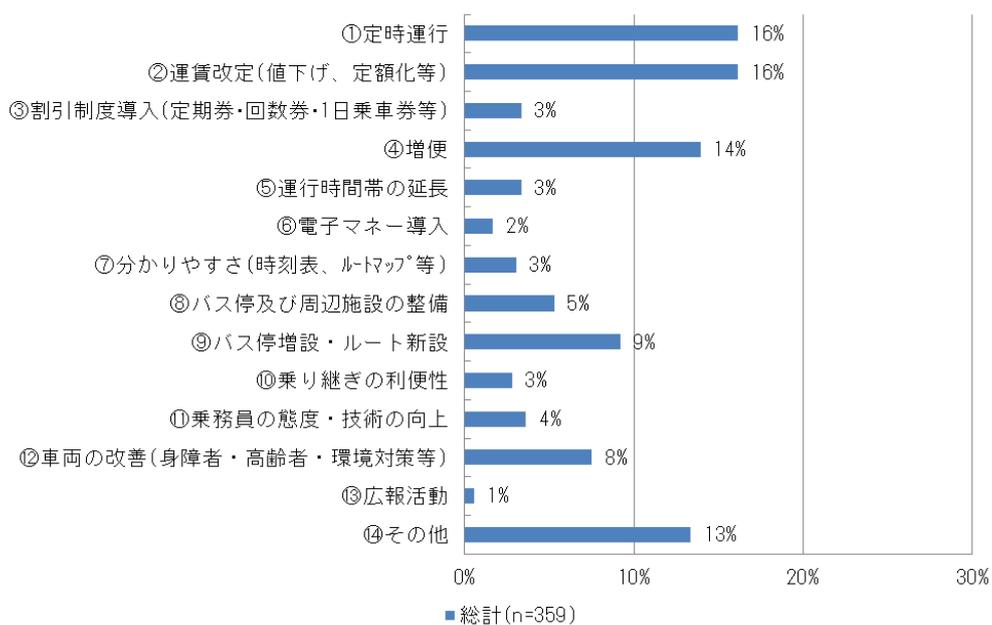
問3. 目的



### 4) 利用しやすくするために重要なこと

より路線バスを利用しやすくするために必要なことは、「①定時運行」及び「②運賃改定」が16%で最も多く、次いで「④増便」が14%、「⑨バス停増設・ルート新設」が9%となっている。

総計 (n=359)



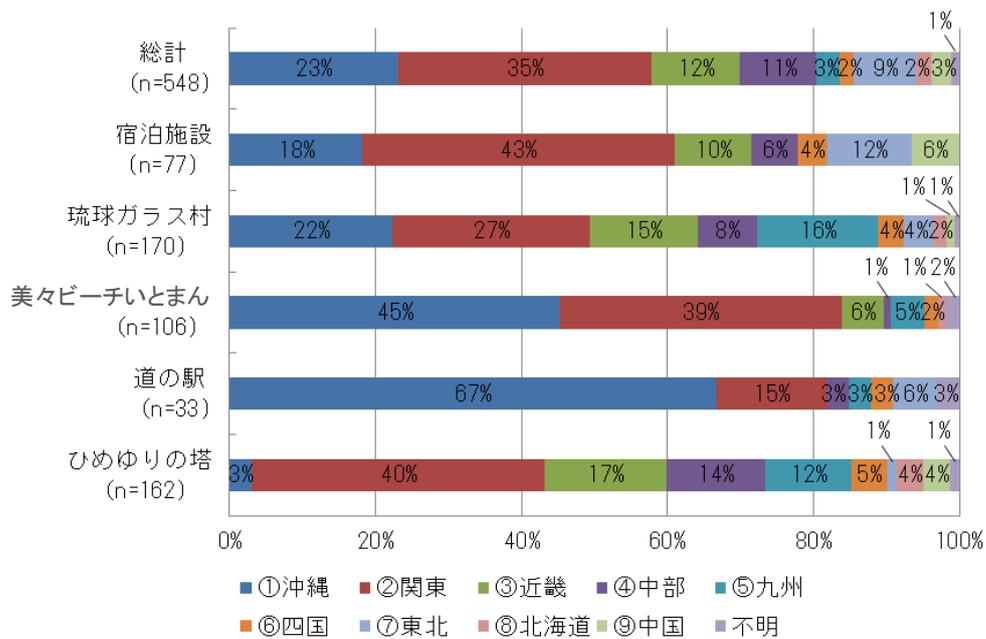
### 3-4. 観光客アンケート

#### 1) 居住地

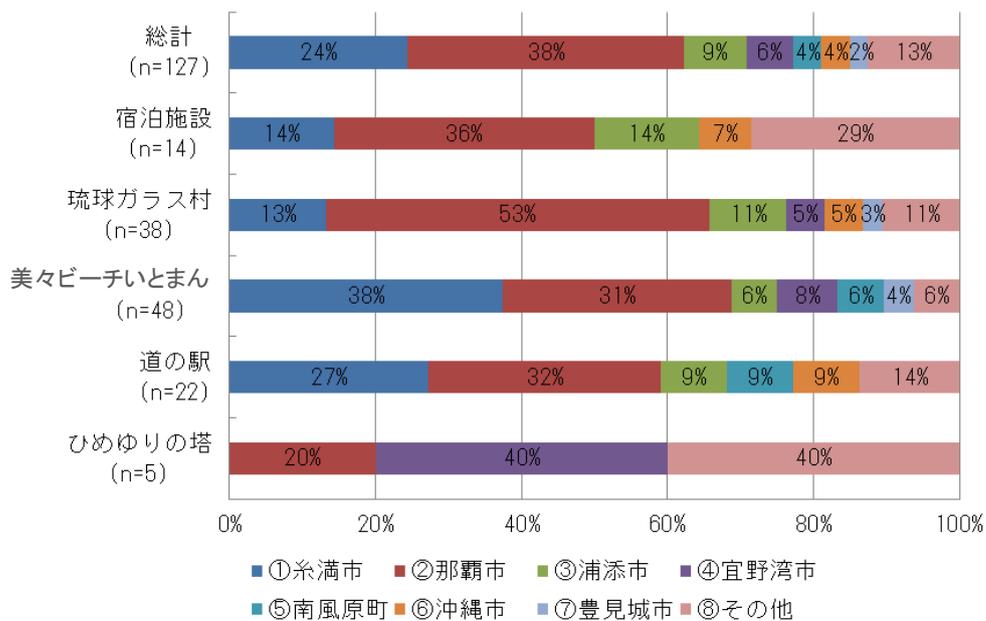
回答者の居住地は、「②関東」が35%と最も多い。次いで「①沖縄」が23%、「③近畿」が12%、「④中部」が11%である。また、「道の駅」での回答者は「①沖縄」が67%と他の観光地に比べ県内観光客が多い。

県内観光客の内訳でみると、「②那覇市」が38%と最も多く、次いで「①糸満市」が24%であり、県内観光客の約6割が那覇市及び糸満市内の観光客である。

問1-1. 居住地



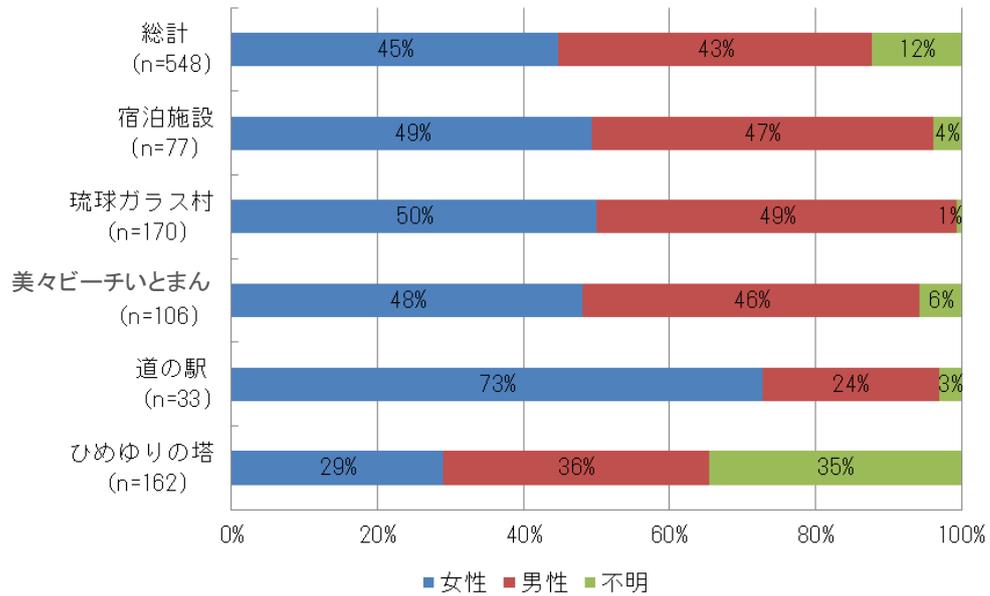
問1-1. 居住地（県内観光客の内訳）



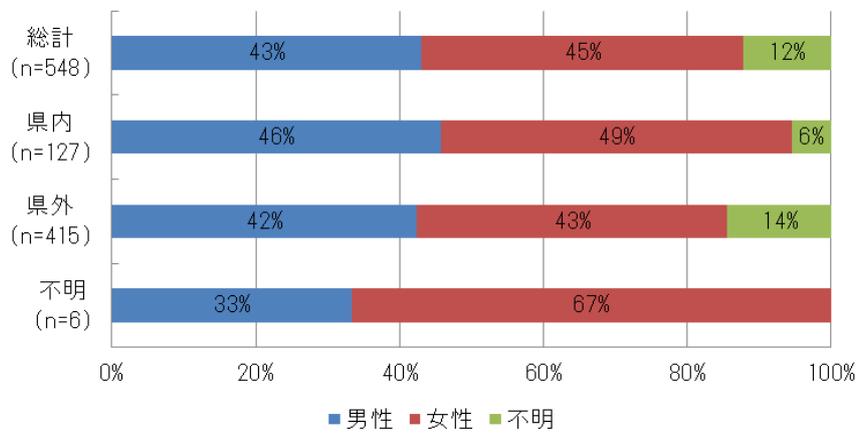
## 2) 性別

回答者の性別は、女性が45%、男性が43%と、男女比は、ほぼ同じ割合である。「道の駅」は、「女性」の回答者が7割と、他の観光地と比べ女性の割合が高い。

問1-2. 性別



問1-2. 性別

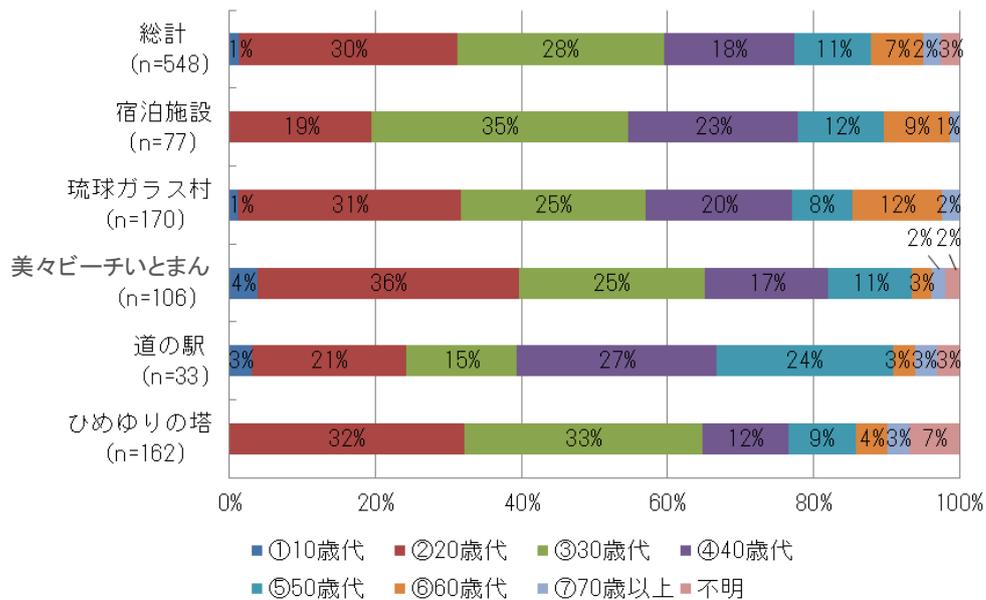


### 3) 年 齢

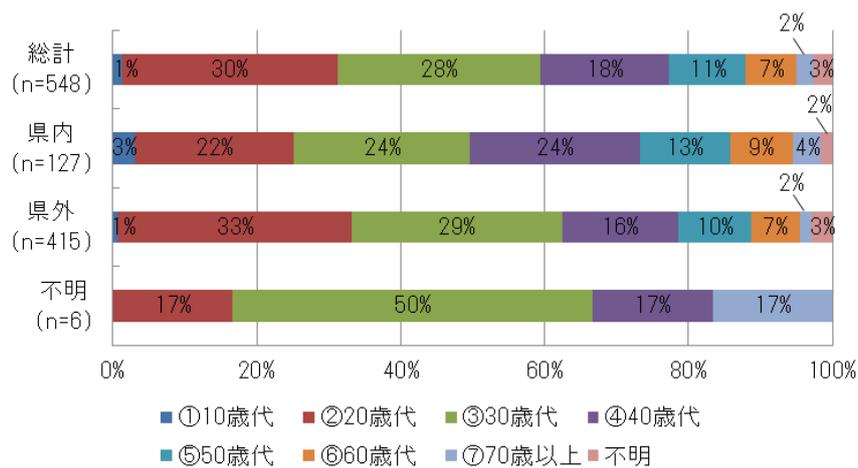
年齢は、「②20歳代」が30%と最も多く、次いで「③30歳代」が28%、「④40歳代」が18%となっている。

「道の駅」は、「④40歳代」以上の割合が57%と他の観光地に比べ、中高年層の割合が高い。

問1-3. 年齢



問1-3. 年齢

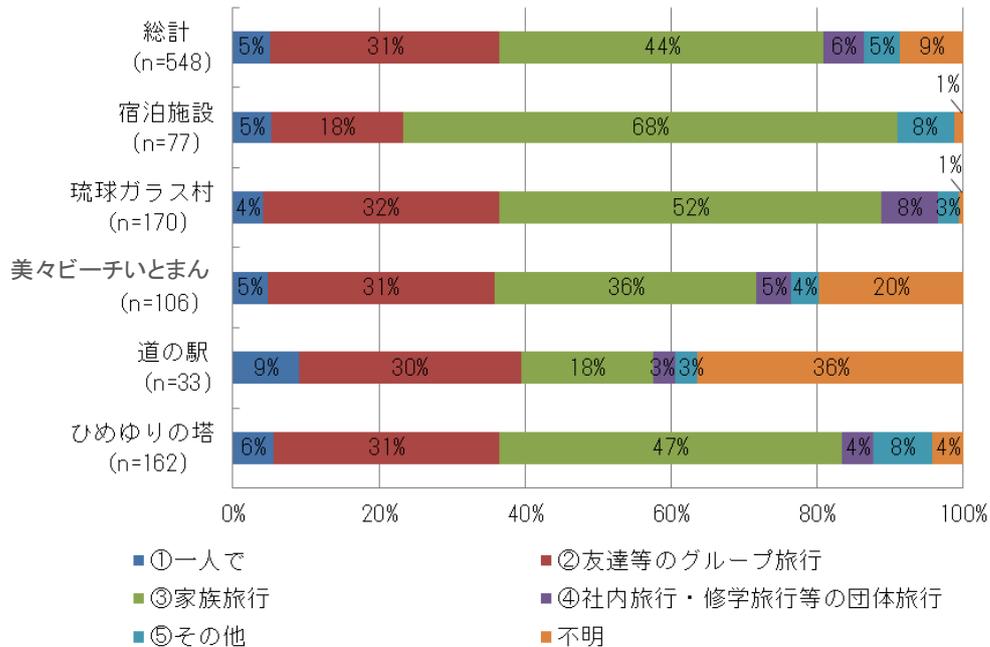


#### 4) 旅行のグループ（構成）

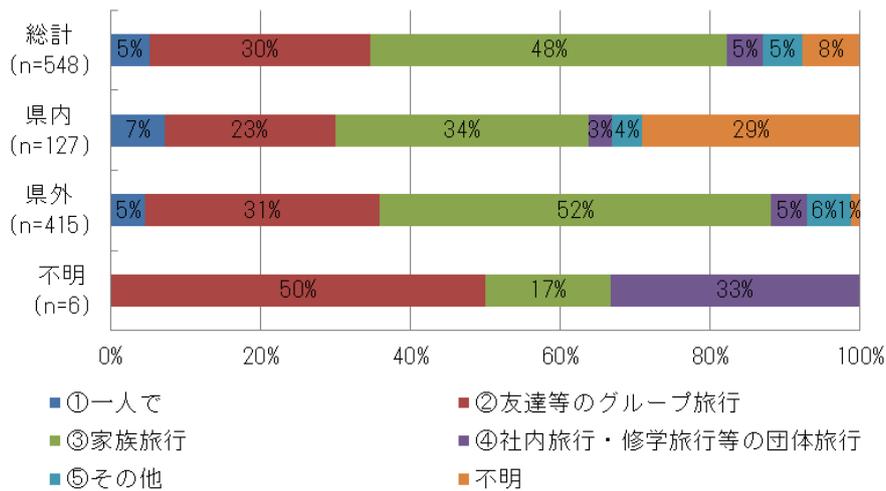
旅行のグループ構成は、「③家族旅行」が44%と最も多く、次いで「②友達等のグループ旅行」が31%となっている。

県内外別でみると、県外の観光客は「③家族旅行」が52%と最も割合が高い。

問2-1. 旅行のグループ（構成）



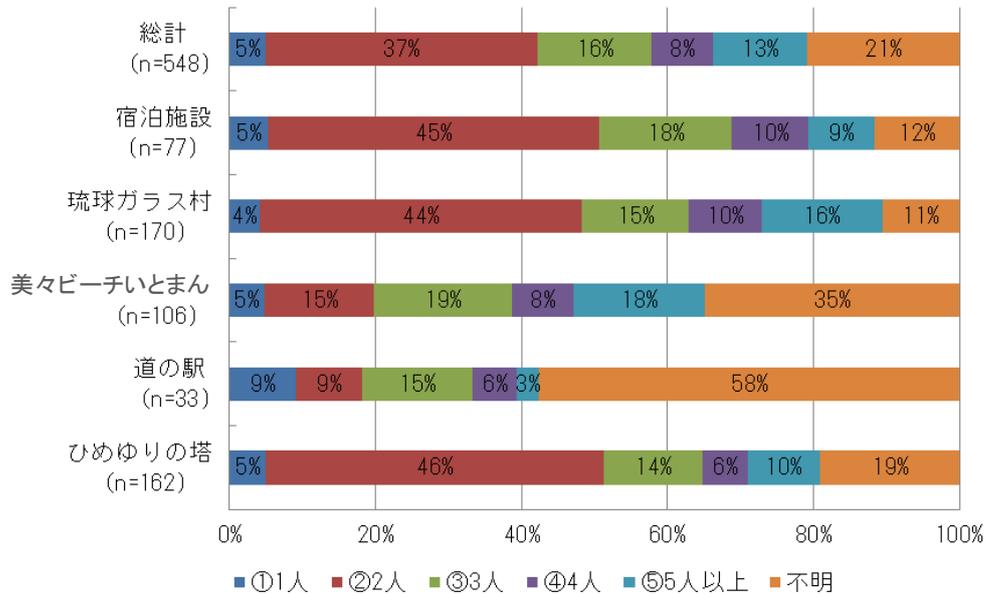
問2-1. 旅行のグループ（構成）



5) 旅行のグループ（人数）

旅行のグループの人数は、「②2人」が37%と最も多く、次いで「③3人」が16%である。「③3人」以下の少人数の旅行グループが58%と約6割を占めている。県外の観光客は「③3人」以下のグループが65%と多くの割合を占めている。

問2-1. 旅行のグループ（人数）



問2-1. 旅行のグループ（人数）

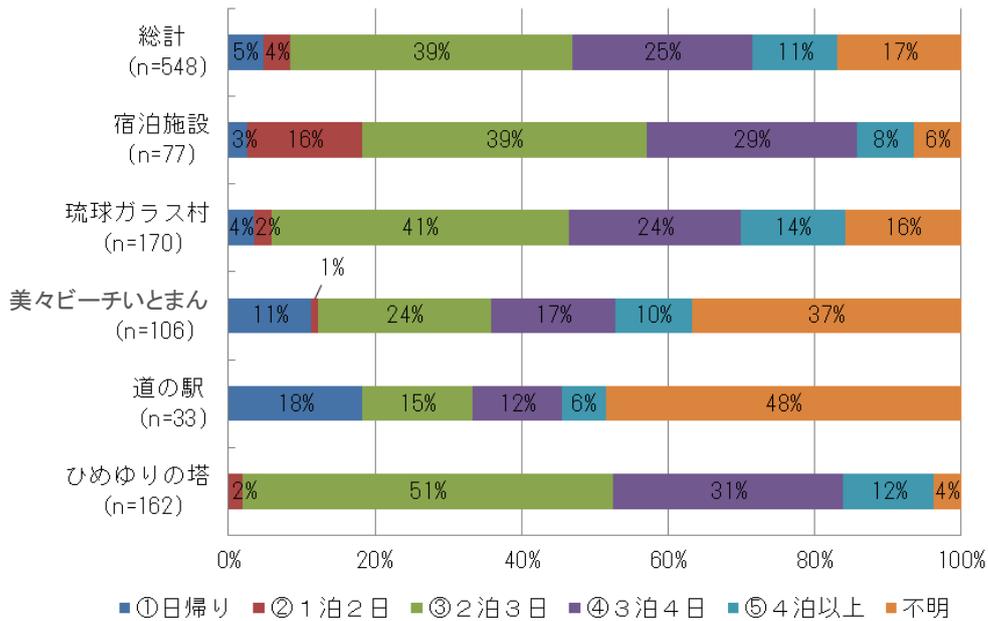


## 6) 旅行の日程

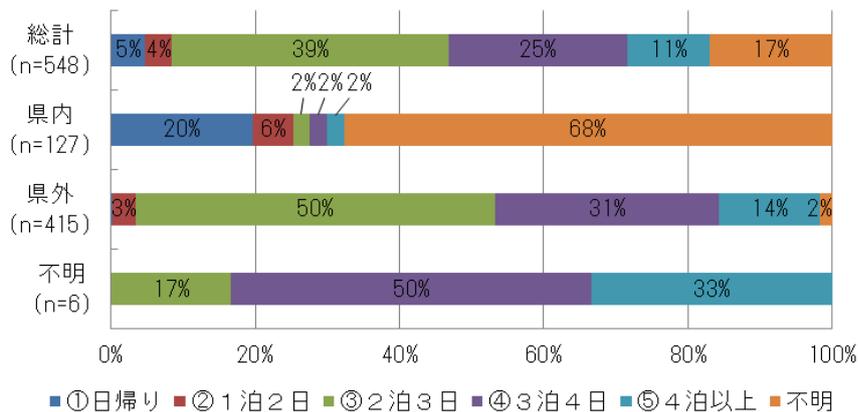
旅行の日程は、「③ 2泊3日」が39%と最も多く、次いで「④ 3泊4日」が25%となっている。

県外観光客の旅行日程は、「④ 3泊4日」が50%と最も多く、次いで「③ 2泊3日」が17%である。また、「④ 4泊以上」と回答した長期滞在の旅行者は33%である。

問2-2. 旅行の日程



問2-2. 旅行の日程

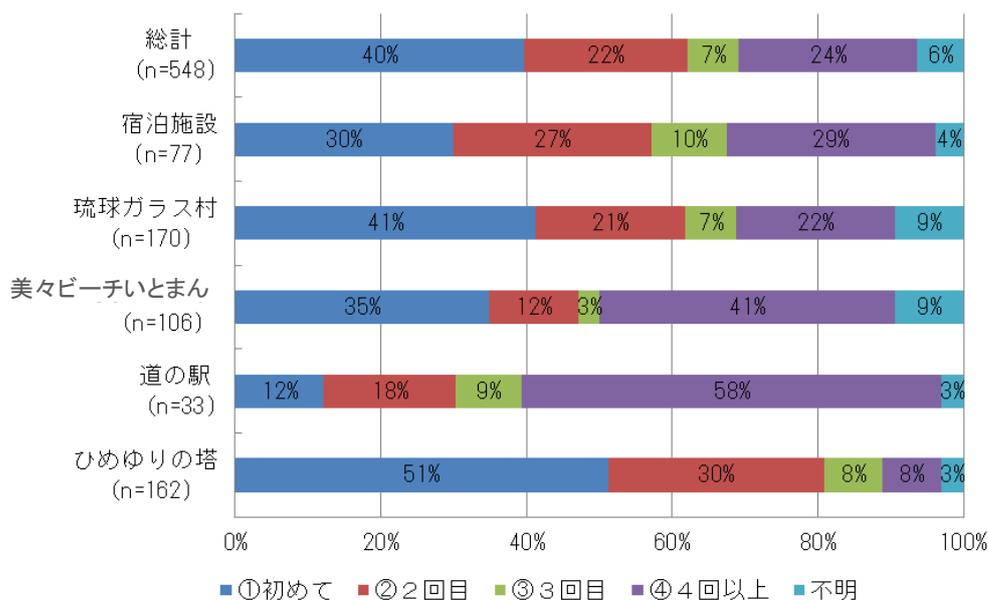


### 7) 糸満市に訪れた回数

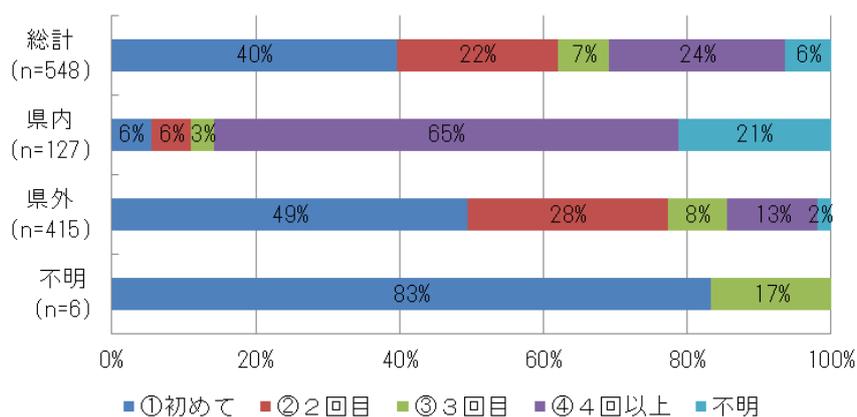
糸満市に訪れた回数は、「①初めて」が40%と最も多く、次いで「④4回以上」が24%、「②2回目」が22%となっている。

県外観光客は「①初めて」が49%と最も多く、次いで「②2回目」が28%である。また、「③3回」以上のリピーターは21%である。

問3. 糸満市に訪れた回数



問3. 糸満市に訪れた回数



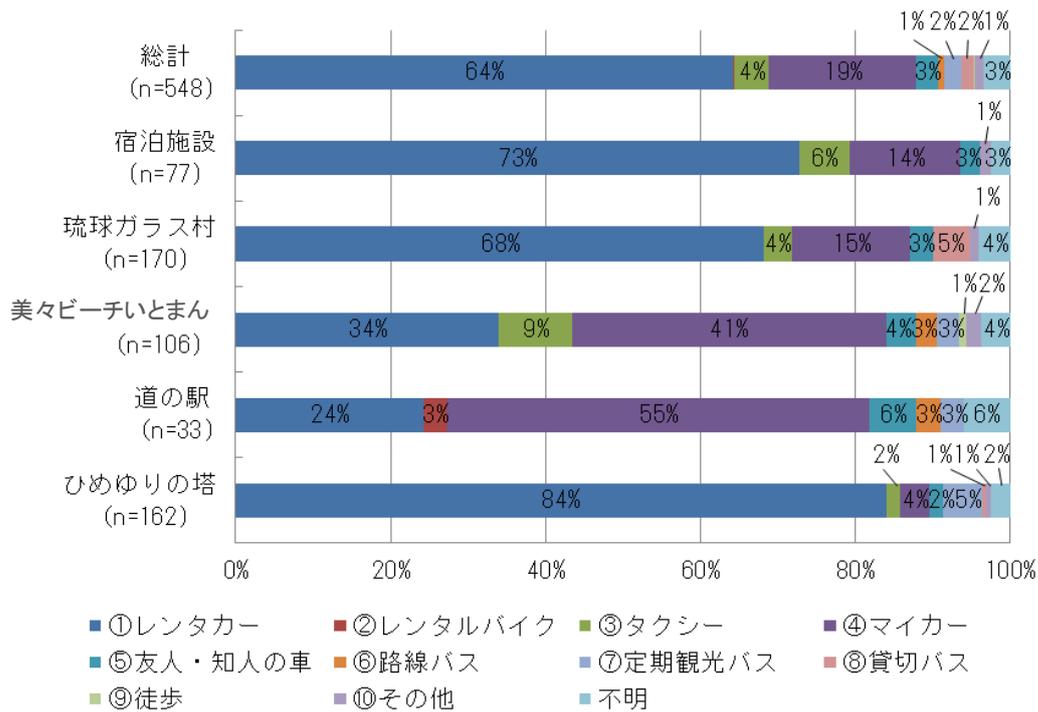
### 8) 移動手段

移動手段は、「レンタカー」が64%、「マイカー」が19%になっている。また、「路線バス」は1%である。

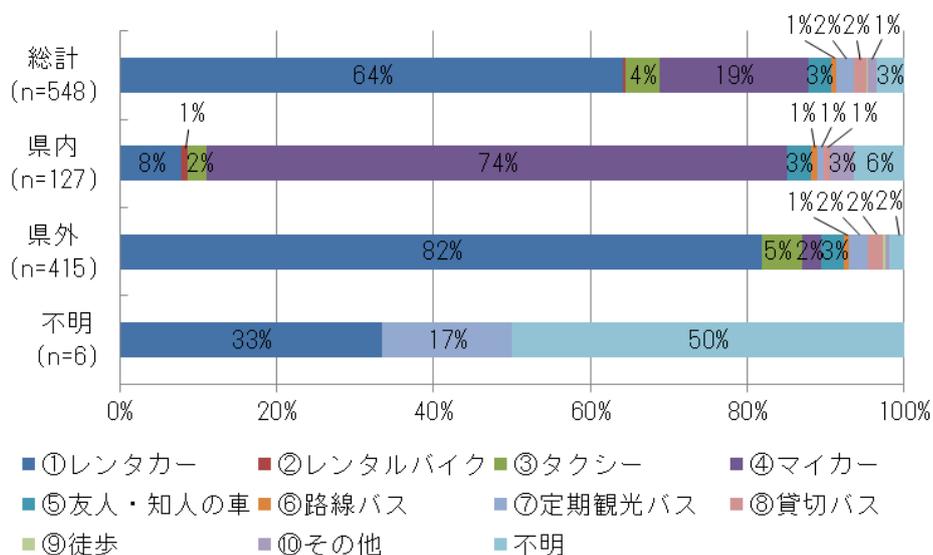
県内外別でみると、県外の観光客は「レンタカー」が82%と最も多く、県内の観光客は「マイカー」が74%と最も多い。

観光地別でみると、「ひめゆりの塔」と「琉球ガラス村」は「レンタカー」の割合が最も高く、「道の駅」と「美々ビーチいとまん」は「マイカー」の割合が最も高い。

問4. 移動手段



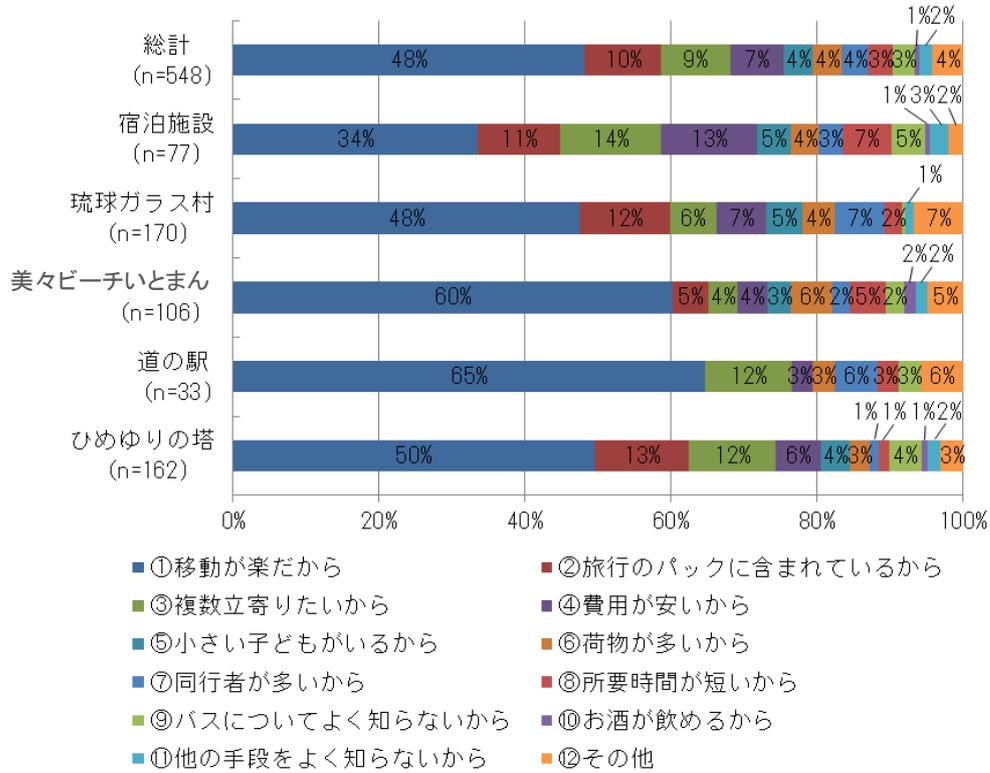
問4. 移動手段



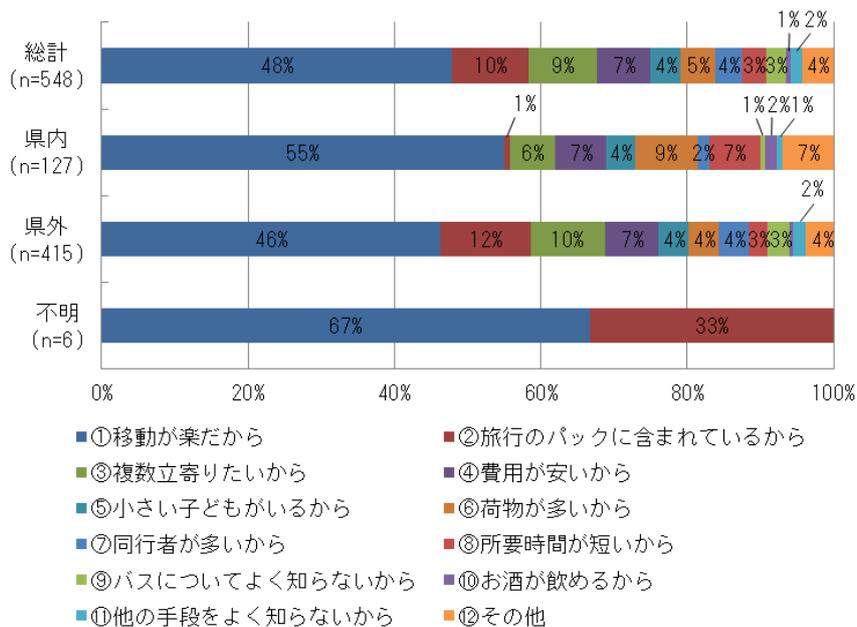
9) 理由

移動手段の選択理由は、どの観光地でも「①移動が楽だから」が最も多い。県外観光客は、「①移動が楽だから」が46%と最も多いが、次いで「②旅行のバックに含まれているから」で12%を占めている。

問4. 理由



問4. 理由

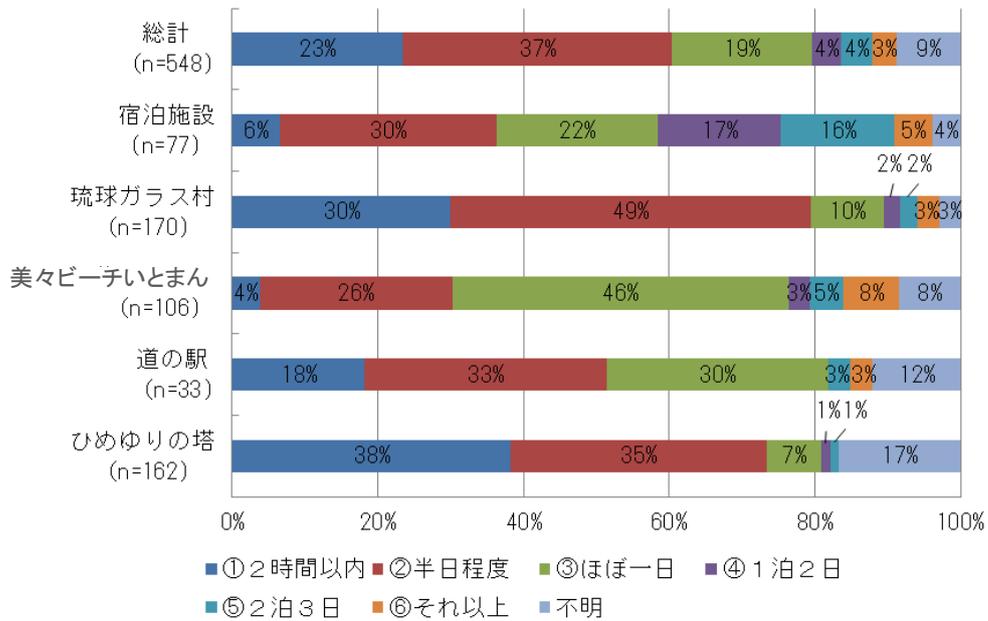


10) 滞在時間

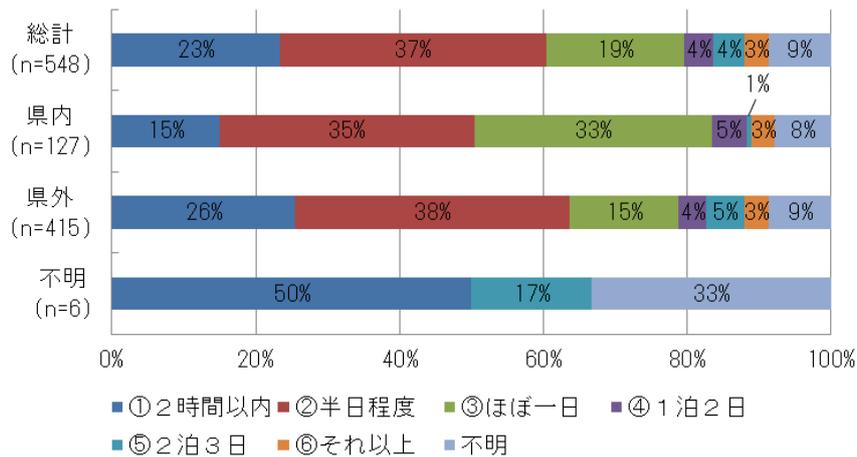
滞在時間は、「②半日程度」が37%と最も多く、次いで「①2時間以内」が23%である。「①2時間以内」及び「②半日程度」の合計が60%を占めている。

県内外別では、どちらも「②半日程度」が最も多い。

問4. 滞在時間



問4. 滞在時間

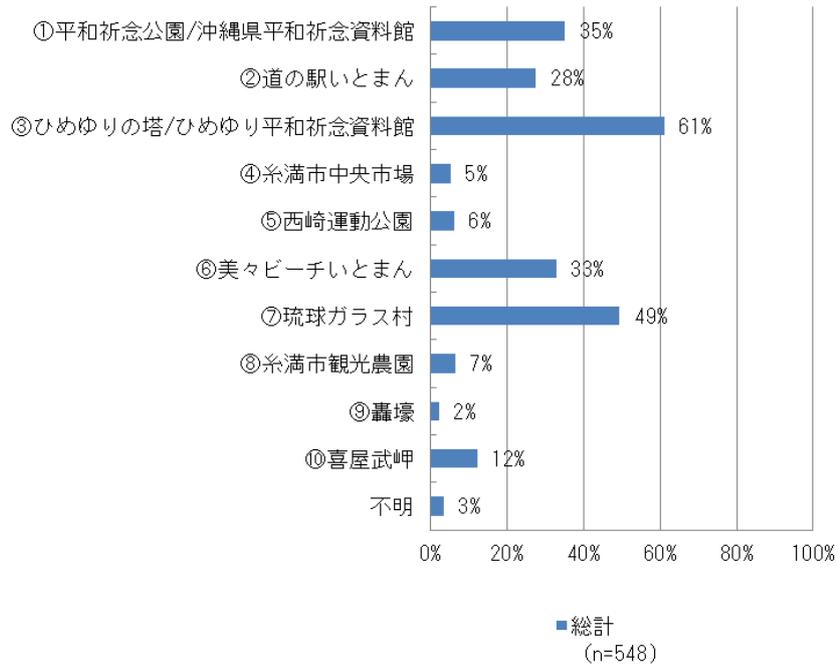


### 1 1) 糸満市内の目的地

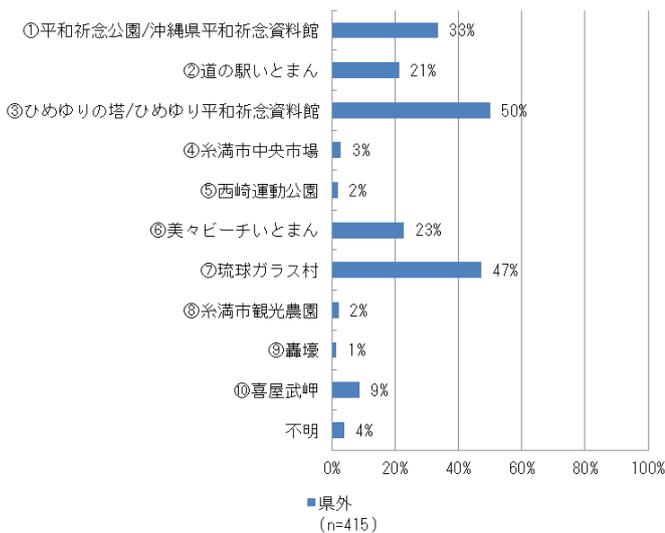
糸満市内の目的地は、「③ひめゆりの塔/ひめゆり平和祈念資料館」が 61%と最も多く、次いで「⑦琉球ガラス村」が 49%、「①平和祈念公園/沖縄県平和祈念資料館」が 35%となっている。

県外観光客の約半数は「③ひめゆりの塔/ひめゆり平和祈念資料館」と「⑦琉球ガラス村」を訪れている。

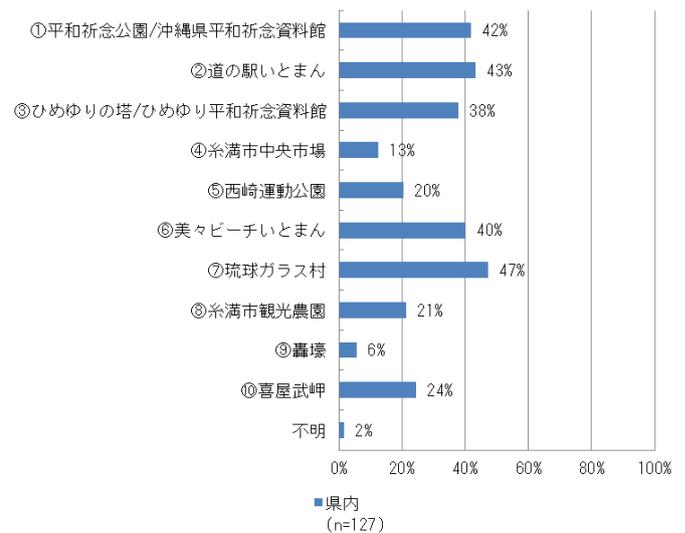
総計  
(n=548)



県外  
(n=415)



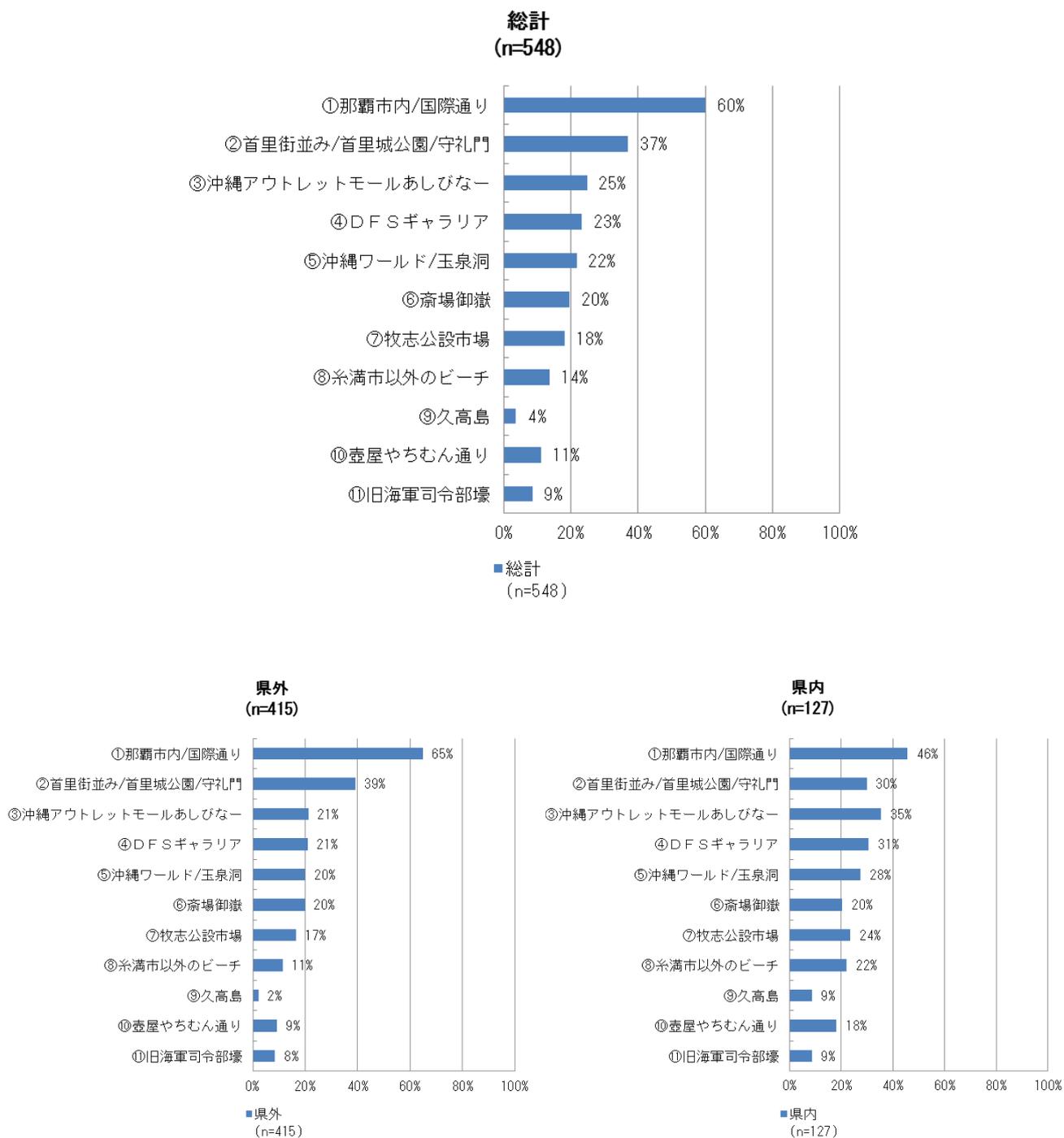
県内  
(n=127)



## 1 2) 沖縄県南部地域の目的地

南部地域の目的地は、「①那覇市内/国際通り」が60%と最も多く、次いで「②首里街並み/首里城公園/守礼門」が37%、「③沖縄アウトレットモールあしびなー」が25%となっている。

県内と県外のどちらの観光客も「①那覇市内/国際通り」が最も多い。

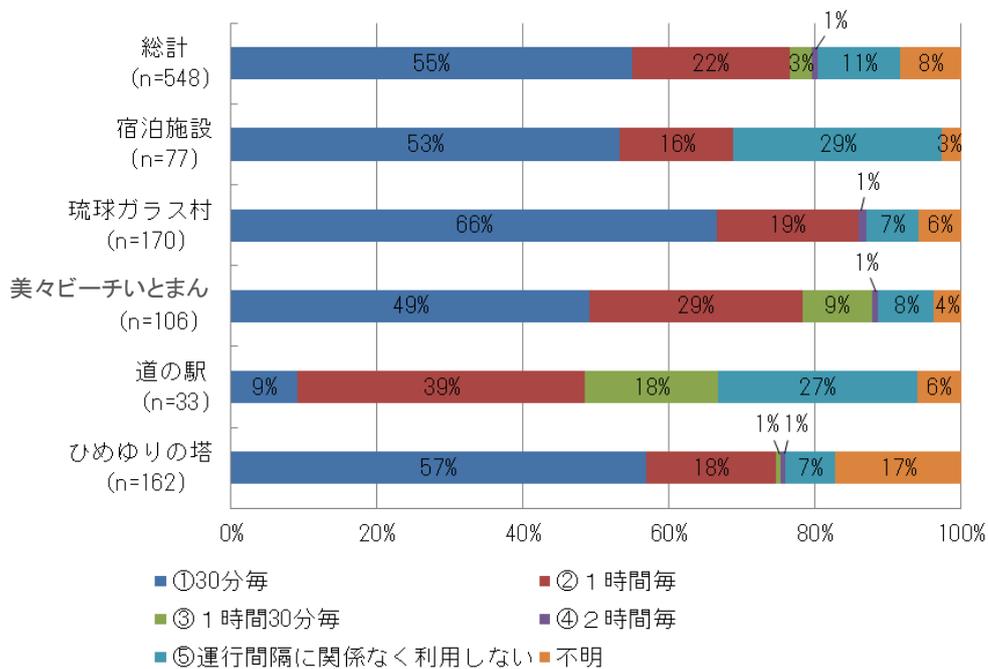


### 1 3) 運行間隔

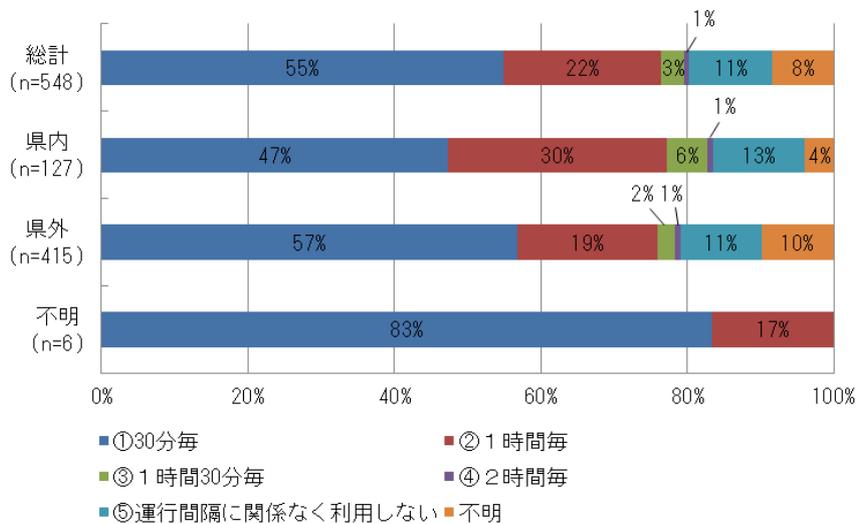
運行間隔は、「①30分毎」が55%と最も多く、短い運行間隔が望まれている。また、1時間毎の運行（「②1時間毎」～「⑤運行間隔に関係なく利用しない」の合計）は37%が利用すると回答している。特に、県内観光客の多い「道の駅」では、「⑤運行間隔に関係なく利用しない」と回答が27%と多い。

県内外別にみると、県内の観光客より県外の観光客の方が短い運行間隔を望んでいる。

問5. 運行間隔



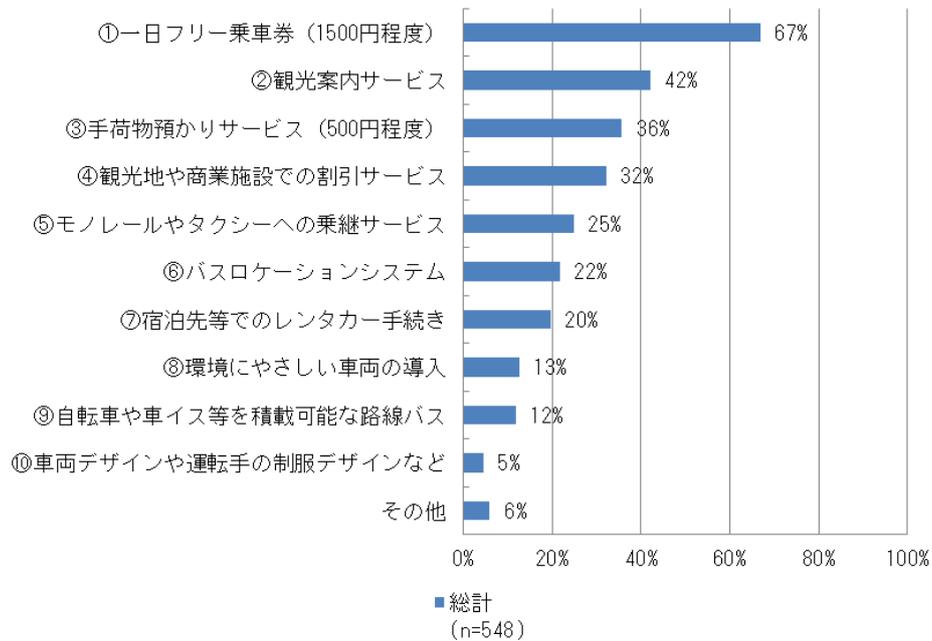
問5. 運行間隔



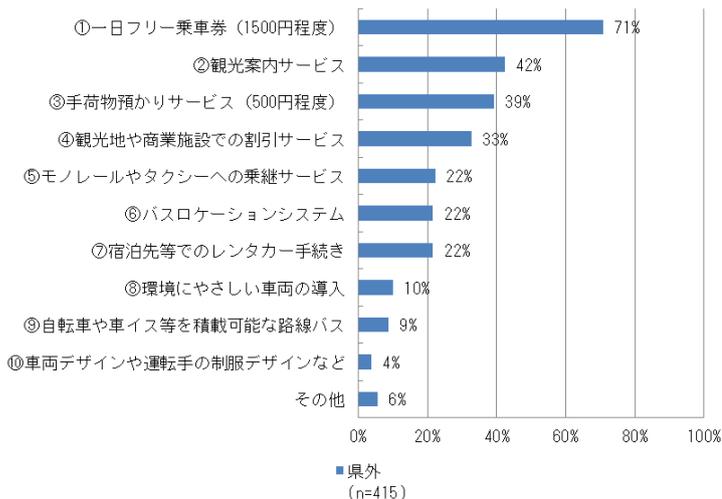
### 1.4) サービス

利用促進に向けてサービスは、「①一日フリー乗車券(1500円程度)」が67%と最も多く、次いで「②観光案内サービス」が42%、「③手荷物預かりサービス(500円程度)」が36%となっている。

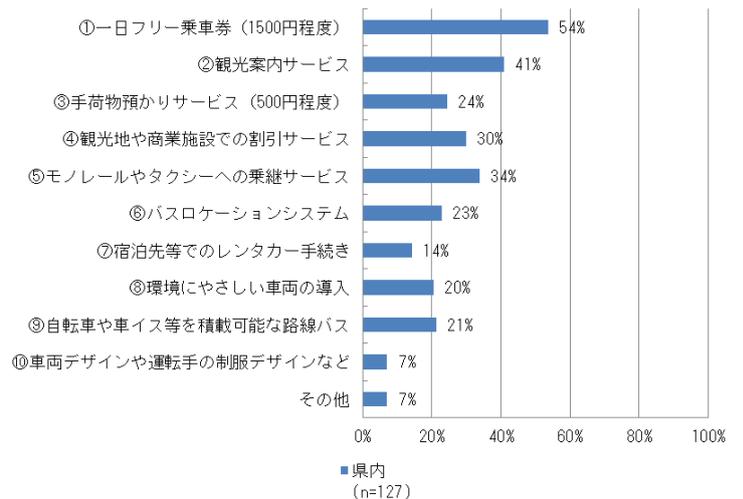
総計  
(n=548)



県外  
(n=415)



県内  
(n=127)



## 4. 運行計画

### 4-1. 利用者像（ターゲット）

新しい公共交通の運行は、沖縄における県外来訪者の主要な交通施設である「那覇空港」と「糸満市」を結び、糸満市南部に点在する観光資源へのアクセス性および周遊性を高めることで、観光客の糸満市内に滞在する時間の増大化を図り、観光による地域活性化を達成させることを目的とする。観光ニーズが多様化し、繰り返し沖縄県を訪れるリピーター観光客や海外から訪れる観光客などへの対応が求められるなか、那覇空港から糸満市への直行バス路線は、沿線施設への経済効果も期待できる。

また、沿線地域住民にとってこの直行バス路線は、糸満市と県の玄関口とをつなぐ幹線路線にも位置付けることができ、市民の公共交通の充実を図る効果も期待できる。幹線となるバス路線を充実させることでバスを利用する機会が増え、既存のバス路線を利用する頻度も高まる。バスに乗ることの習慣を高めることで、既存路線との相乗効果や二酸化炭素の削減に期待することができる。

実証実験のターゲットニーズ

	観光客のニーズ	地域住民のニーズ
①路線	公共交通での観光地間の移動が容易に 目的地まで速く、渋滞の少ないルート	病院・商業施設など、生活施設
②運行頻度など	観光シーズン、土日の昼間のニーズ	平日の朝夕通勤・通学のニーズ
③運賃・料金	運賃・料金は安いほど利用しやすい 分かり易い運賃・料金体系	
④情報提供	初めての利用者や外国人観光客にも 分かり易いしやすい経路案内・乗り換え案内 環境負荷の低減、渋滞緩和などへの効果周知	

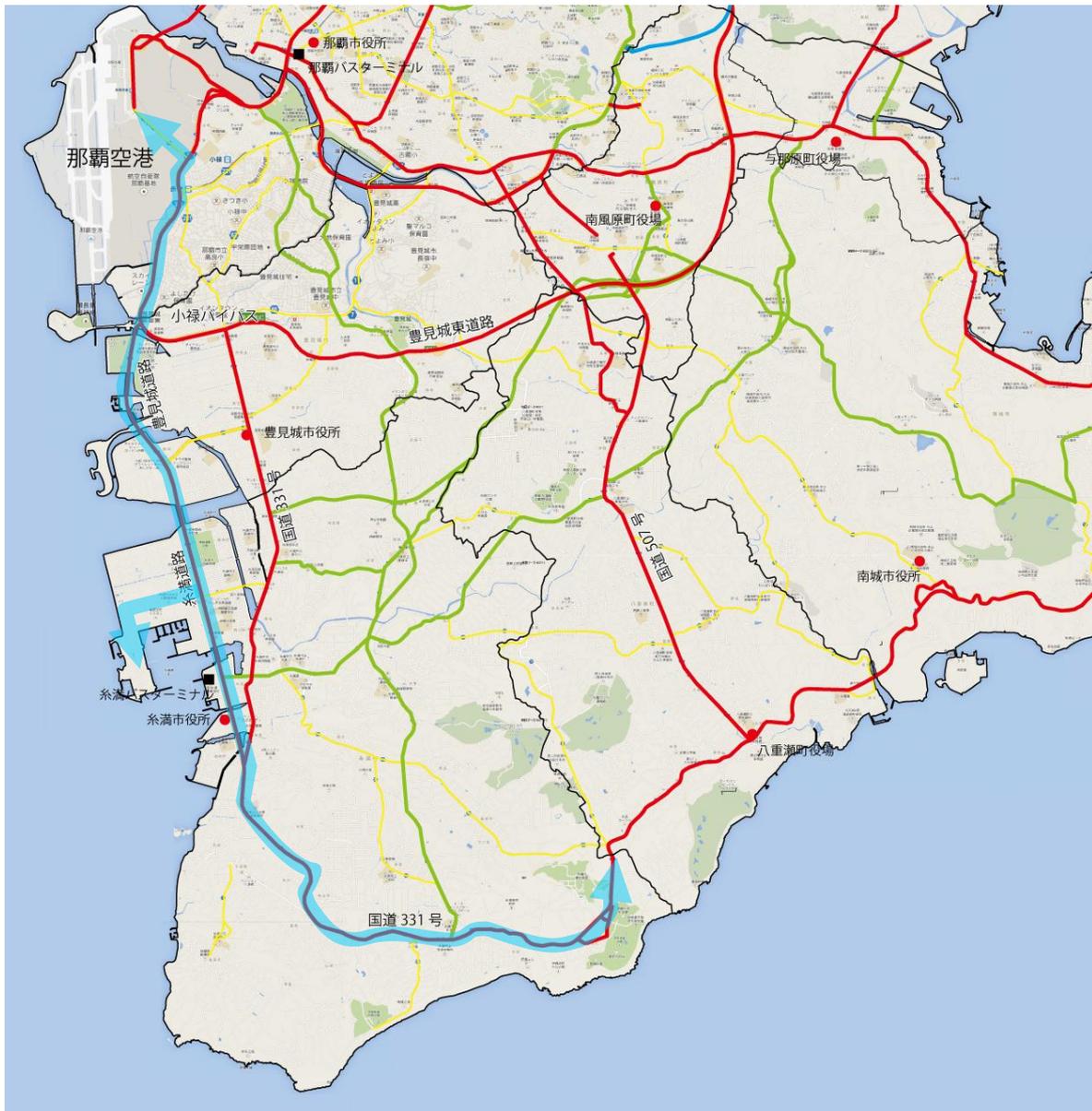
## 4-2. 運行計画

### (1) 運行ルート設定の考え方

運行ルートは、次の考え方に基づき設定した。

- ①那覇空港～糸満市街は、速達性を求め国道 331 号のバイパスである豊見城道路と糸満道路を利用する。
- ②糸満市南部の主要観光施設の周遊性を高め糸満中心部へのアクセス性を強化するため、国道 331 号を利用する。

運行ルート



# 糸満～那覇空港直行バス路線運行計画（案）

バス停名称	主要周辺施設
那覇空港 国内線ターミナル	・那覇空港 国内線ターミナル ・沖縄都市モノレール「那覇空港駅」(6時～23時30分)
那覇空港 国際線ターミナル	・那覇空港 新 国際線ターミナル
西崎運動公園前	・西崎運動公園 ・県営西崎第2団地
道の駅いとまん前	・糸満物産センター(10時～20時) ・JA ファーマーズマーケットいとまん(9時～19時) ・糸満漁港協同組合 お魚センター(10時～19時)
サザンビーチホテル前	・サザンビーチホテル&リゾート ・美々ビーチいとまん
糸満漁港入口	・糸満漁港 ・糸満市公設市場 【あるつく糸満(漁港コース)】
糸満市役所前	・糸満市役所 ・サンエーしおざきシティ(9時～24時)
真栄里入口	【あるつく糸満(真栄里コース)】
南部病院前	・南部病院
琉球ガラス村前	・琉球ガラス村(9時～18時)
ひめゆりの塔前	・ひめゆり平和祈念資料館(9時～17時)
米須	【米須村丸ごと生活博物館】
平和祈念堂入口	・平和祈念堂(9時～17時) 【あるつく糸満(平和祈念堂コース)】
糸満観光農園前	・糸満観光農園(9時～18時)

## ◆運行計画（案）の概要

- ①運行日：平成26年8月～12月の毎日
  - ②運行間隔：1時間に1本
  - ③運行時間帯：午前8時～午後8時（那覇空港を基準）
  - ④料金：距離制（一日フリー乗車券 1,500円を検討）
- 例1 那覇空港→糸満観光農園（約70分）：790円程度  
例2 那覇空港→道の駅いとまん（約30分）：490円程度



## (2) バス停位置

【名称(仮称)】 那覇空港 国内線ターミナル

【概要】 既設の「那覇空港国内線路線バス乗り場」を利用する。

【周辺施設】 那覇空港(国内線旅客ターミナルビル)、沖縄都市モノレール「那覇空港駅」

【現況写真】

○那覇空港⇒糸満観光農園、糸満観光農園⇒那覇空港(同一乗場)



【設置位置図】



【名称（仮称）】那覇空港 国際線ターミナル

【概要】「那覇空港国際線路線バス乗り場」を利用する。

【周辺施設】那覇空港（新国際旅客ターミナルビル（平成26年2月供用開始））、  
沖縄都市モノレール「那覇空港駅」

【現況写真】

○那覇空港⇒糸満観光農園、糸満観光農園⇒那覇空港（同一乗場）



【設置位置図】



【名称（仮称）】西崎運動公園前

【概要】既設の「西崎運動公園前」バス停を利用する。

【周辺施設】西崎運動公園、県営西崎団地等

【現況写真】

○那覇空港⇒糸満観光農園



○糸満観光農園⇒那覇空港



【設置位置図】



【名称（仮称）】道の駅いとまん前

【概要】「道の駅いとまん」敷地内に仮設バス停を設置する。

【周辺施設】糸満市物産センター、ファーマーズマーケットいとまん、糸満漁港協同組合 お魚センター 等

【現況写真】

○那覇空港⇒糸満観光農園、糸満観光農園⇒那覇空港（同一乗場）



【設置位置図】



凡例

	糸満観光農園⇒那覇空港
	那覇空港⇒糸満観光農園

【名称（仮称）】サザンビーチホテル前

【概要】「サザンビーチホテル」敷地内に仮設バス停を設置する。

【周辺施設】サザンビーチホテル、美々ビーチいとまん

【現況写真】

○那覇空港⇒糸満観光農園、糸満観光農園⇒那覇空港（同一乗場）



【設置位置図】



【名称（仮称）】糸満漁港入口

【概要】「国道 331 号バイパスの側道」に仮設バス停を設置する。

【周辺施設】糸満漁港、糸満公設市場、（あるつく糸満 字糸満コース）

【現況写真】

○那覇空港⇒糸満観光農園



○糸満観光農園⇒那覇空港



【設置位置図】



【名称（仮称）】糸満市役所前

【概要】既設の「糸満市役所前」バス停を利用する。

【周辺施設】糸満市役所、サンエーしおぎシティ

【現況写真】

○那覇空港⇒糸満観光農園



○糸満観光農園⇒那覇空港



【設置位置図】



【名称（仮称）】真栄里入口

【概要】既設の「真栄里入口」バス停を利用する。

【周辺施設】糸満市立中央図書館、（あるつく糸満 字真栄里コース）

【現況写真】

○那覇空港⇒糸満観光農園



○糸満観光農園⇒那覇空港



【設置位置図】



【名称（仮称）】南部病院前

【概要】既設の「南部病院前」バス停を利用する。

【周辺施設】南部病院、糸満市社会福祉センター

【現況写真】

○那覇空港⇒糸満観光農園



○糸満観光農園⇒那覇空港



【設置位置図】



【名称（仮称）】琉球ガラス村前

【概要】「琉球ガラス村」敷地内に仮設バス停を設置する。

【周辺施設】琉球ガラス村

【現況写真】

○那覇空港⇒糸満観光農園、糸満観光農園⇒那覇空港（同一乗場）



【設置位置図】



【名称（仮称）】ひめゆりの塔前

【概要】既設の「ひめゆりの塔前」バス停を利用する。

【周辺施設】ひめゆり祈念資料館 等

【現況写真】

○那覇空港⇒糸満観光農園



○糸満観光農園⇒那覇空港



【設置位置図】



【名称（仮称）】米須

【概要】既設の「米須」バス停を利用する。

【周辺施設】（米須村丸ごと生活博物館）

【現況写真】

○那覇空港⇒糸満観光農園



○糸満観光農園⇒那覇空港



【設置位置図】



【名称（仮称）】平和祈念堂入口

【概要】既設の「平和祈念堂入口」バス停を利用する。

【周辺施設】平和祈念堂、沖縄県立平和祈念資料館、平和の礎 等

【現況写真】

○那覇空港⇒糸満観光農園



○糸満観光農園⇒那覇空港



【設置位置図】



【名称（仮称）】糸満観光農園前

【概要】「糸満観光農園」敷地内に仮設バス停を設置する。

※ 開園時間(9時～18時)以外は乗入れない。

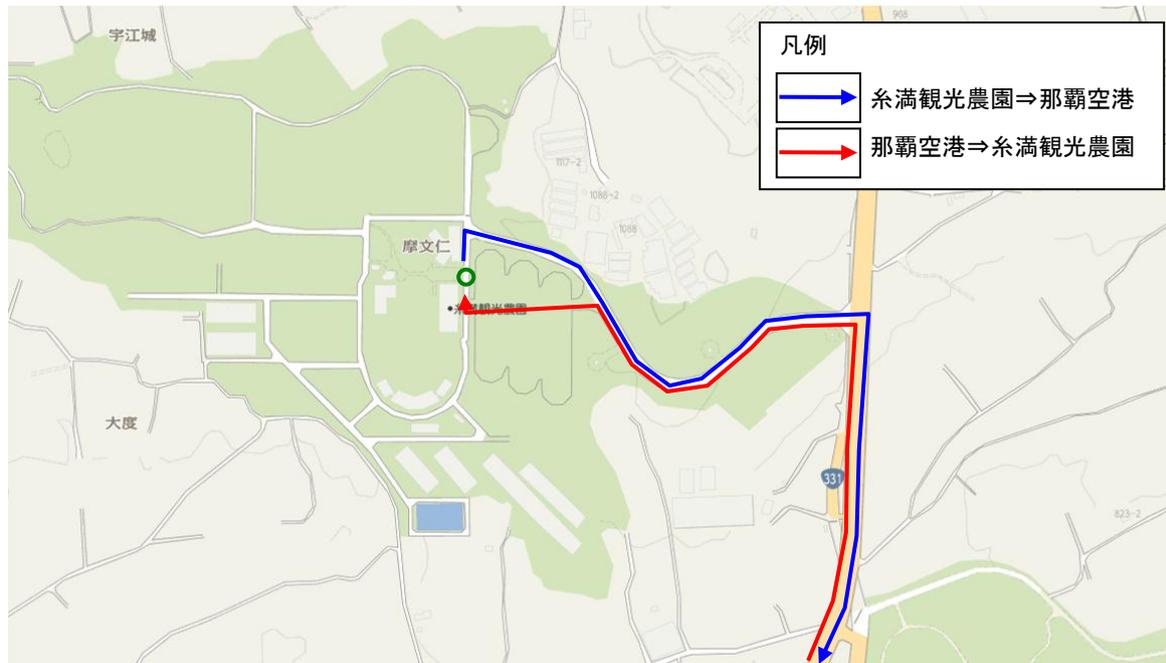
【周辺施設】糸満観光農園

【現況写真】

○那覇空港⇒糸満観光農園、糸満観光農園⇒那覇空港（同一乗場）



【設置位置図】



参考：その他のバス停候補地

【名称（仮称）】 赤嶺駅前

【概要】 糸満市方面から「赤嶺駅」に向かう際、赤嶺交差点は交通量が多く、右折に時間を要する。そのため「赤嶺駅」を経由するよりも「那覇空港駅」に直接向かう場合の方が時間ロスが少ない事が想定される。

また、国道 331 号沿いにバス停を設置した場合、歩行者にとっては、5 分程度（約 400m）歩かなければ「赤嶺駅」に到着しないことから、利用者にとって時間ロスは大きい。

加えて、「那覇空港駅」「赤嶺駅」から他の駅へは、同一料金の区間が多く、料金差が発生する場合でも最大 40 円であることから、利用者にとって料金的負担は大きくないと考えられる。

【周辺施設】 沖縄都市モノレール「赤嶺駅」等

【現況写真】

○那覇空港⇒糸満観光農園



○糸満観光農園⇒那覇空港



【設置位置図】



【名称（仮称）】 アウトレットモール前

【概要】 アウトレットモール「あしびなー」を経由する場合、国道 331 号バイパスの構造上、遠回りをしなければならない。また、周辺には「豊崎レンタカーステーション」があり、観光シーズンはバイパスの出入口などで渋滞が発生することから、時間的ロスが大きい。（ヒアリングによると、渋滞により路線バスの時刻が 30 分以上遅延する場合もある。）

加えて、「あしびなー」を経由する場合、既存バス路線 95 番（那覇バス）と、路線が重複するが、95 番は不採算路線であることもあり、関係部局と負担金について協議が必要となる。

【周辺施設】 沖縄アウトレットモール「あしびなー」、豊崎レンタカーステーション等

【現況写真】



【設置位置図】



### (3) 運行日

糸満市～那覇空港直行バスは、観光客の利用を中心に地域住民も利用できる公共交通機関として、平日・休日問わず需要が発生する見込みがあるため、平日・休日ともに運行する。

実証実験は、平成 26 年度に運行することを目標に、準備期間や実証実験結果の取りまとめ等を考慮し、運行期間は、平成 26 年 8 月～12 月の 5 ヶ月間とする。

#### 糸満市～那覇空港直行バス 運行日（案）

- 運行日は、「平日・休日」とも運行する。
- 実証実験の運行期間は、8 月～12 月の 5 ヶ月間とする。

#### 実証実験期間中（8 月～12 月）の糸満市内主要イベント

##### 8 月

##### ○獅子舞・エイサー・角力（沖縄すもう）

旧暦 7 月 15 日・旧盆

会場／市内各地域

##### 9 月

##### ○糸満大綱引き

旧暦 8 月 15 日

会場／国道 331 号（白銀堂～糸満ロータリー間）

##### ○真栄里大綱引

旧暦 8 月 16 日

会場／真栄里メーチ広場

##### 10 月

##### ○南部豊かな海づくり大会

会場／沖縄県水産公社（糸満漁港 北区）

##### 12 月

##### ○平和の光・ピースフルイルミネーション（平和の光事業）

会場／糸満観光農園

(4) 運行間隔及び運行時間帯

那覇空港直行路線バスの運行間隔は、観光に必要な運行間隔として、1時間に1本を基本とする。また、運行時間帯は那覇空港発着便及び観光施設の運営時間帯から、午前8時～午後8時とする。

糸満市～那覇空港直行バス 運行間隔及び運行時間帯 (案)

- 運行間隔は「1時間に1本」を基本とする。
- 運行時間帯は、那覇空港を基準に午前8時～午後8時とする。
- ※運行間隔及び運行時間帯は、実証実験において利用者ニーズや交通状況等を踏まえ、見直す場合もある。

糸満市～那覇空港直行バス 運行ダイヤ (案)

【下り】	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
国内線	8:30	9:30	10:30	11:30	12:30	13:30	14:30	15:30	16:30	17:30	18:30	19:30
国際線	8:31	9:31	10:31	11:31	12:31	13:31	14:31	15:31	16:31	17:31	18:31	19:31
西崎運動公園前	9:04	10:04	11:04	11:54	12:54	13:54	14:54	16:04	17:04	18:04	19:04	20:04
道の駅いとまん	9:09	10:09	11:09	11:59	12:59	13:59	14:59	16:09	17:09	18:09	19:09	20:09
サザンビーチホテル	9:11	10:11	11:11	12:01	13:01	14:01	15:01	16:11	17:11	18:11	19:11	20:11
美々ビーチいとまん	9:12	10:12	11:12	12:02	13:02	14:02	15:02	16:12	17:12	18:12	19:12	20:12
道の駅いとまん	9:14	10:14	11:14	12:04	13:04	14:04	15:04	16:14	17:14	18:14	19:14	20:14
糸満漁港入口	9:17	10:17	11:17	12:07	13:07	14:07	15:07	16:17	17:17	18:17	19:17	20:17
糸満市役所前	9:19	10:19	11:19	12:09	13:09	14:09	15:09	16:19	17:19	18:19	19:19	20:19
真栄里入口	9:29	10:29	11:29	12:19	13:19	14:19	15:19	16:29	17:29	18:29	19:29	20:29
南部病院前	9:30	10:30	11:30	12:20	13:20	14:20	15:20	16:30	17:30	18:30	19:30	20:30
琉球ガラス村	9:35	10:35	11:35	12:25	13:25	14:25	15:25	16:35	17:35	18:35	19:35	20:35
ひめゆりの塔	9:39	10:39	11:39	12:29	13:29	14:29	15:29	16:39	17:39	18:39	19:39	20:39
米須	9:41	10:41	11:41	12:31	13:31	14:31	15:31	16:41	17:41	18:41	19:41	20:41
平和祈念堂入口	9:46	10:46	11:46	12:36	13:36	14:36	15:36	16:46	17:46	18:46	19:46	20:46
糸満観光農園	9:50	10:50	11:50	12:40	13:40	14:40	15:40	16:50	17:50	—	—	—

【上り】	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
糸満観光農園	—	—	—	9:40	10:40	11:40	12:40	13:40	14:40	15:40	16:40	17:40
平和祈念堂入口	6:44	7:44	8:44	9:44	10:44	11:44	12:44	13:44	14:44	15:44	16:44	17:44
米須	6:49	7:49	8:49	9:49	10:49	11:49	12:49	13:49	14:49	15:49	16:49	17:49
ひめゆりの塔	6:51	7:51	8:51	9:51	10:51	11:51	12:51	13:51	14:51	15:51	16:51	17:51
琉球ガラス村	6:55	7:55	8:55	9:55	10:55	11:55	12:55	13:55	14:55	15:55	16:55	17:55
南部病院前	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
真栄里入口	7:01	8:01	9:01	10:01	11:01	12:01	13:01	14:01	15:01	16:01	17:01	18:01
糸満市役所前	7:11	8:11	9:11	10:11	11:11	12:11	13:11	14:11	15:11	16:11	17:11	18:11
糸満漁港入口	7:13	8:13	9:13	10:13	11:13	12:13	13:13	14:13	15:13	16:13	17:13	18:13
道の駅いとまん	7:16	8:16	9:16	10:16	11:16	12:16	13:16	14:16	15:16	16:16	17:16	18:16
美々ビーチいとまん	7:18	8:18	9:18	10:18	11:18	12:18	13:18	14:18	15:18	16:18	17:18	18:18
サザンビーチホテル	7:19	8:19	9:19	10:19	11:19	12:19	13:19	14:19	15:19	16:19	17:19	18:19
道の駅いとまん	7:21	8:21	9:21	10:21	11:21	12:21	13:21	14:21	15:21	16:21	17:21	18:21
西崎運動公園前	7:26	8:26	9:26	10:26	11:26	12:26	13:26	14:26	15:26	16:26	17:26	18:26
国内線	7:59	8:59	9:59	10:49	11:49	12:49	13:49	14:59	15:59	16:59	17:59	18:59
国際線	8:00	9:00	10:00	10:50	11:50	12:50	13:50	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00

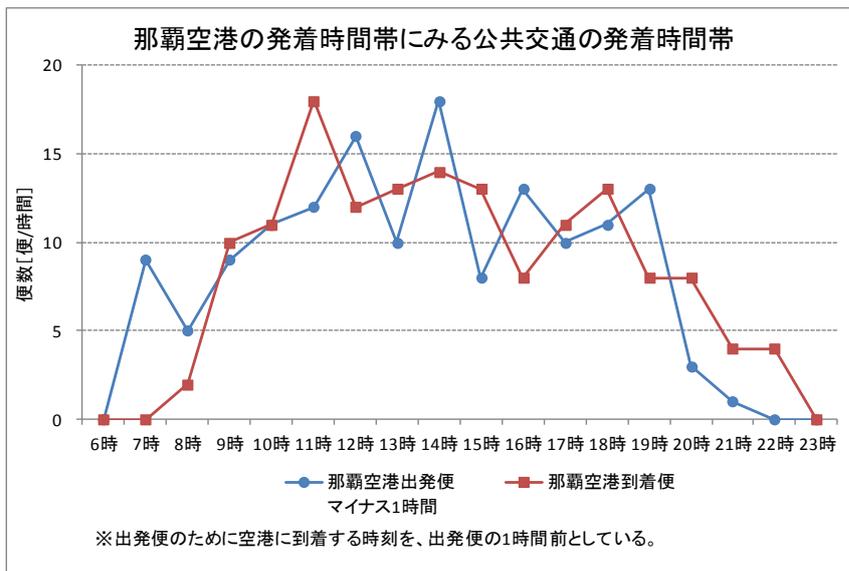
参考：関連施設等の時間帯

①空港の出発到着分布

那覇空港の時間別発着便数により、望ましい運行時間帯をみると、9時～20時に発着便が多くなってきている。なお、出発便は空港への到着を出発時刻の1時間前と考え算出。

那覇空港発着便からみた那覇空港直行路線の運行時間帯は、那覇空港を基準として8時～20時が望ましいと考えられる。

	[便数]	
	那覇空港出発便 マイナス1時間	那覇空港到着便
6時	0	0
7時	9	0
8時	5	2
9時	9	10
10時	11	11
11時	12	18
12時	16	12
13時	10	13
14時	18	14
15時	8	13
16時	13	8
17時	10	11
18時	11	13
19時	13	8
20時	3	8
21時	1	4
22時	0	4
23時	0	0
計	149	149



※2013年9月のスケジュール

図 那覇空港の時間帯別発着便数

②観光地の見学時間

観光地の見学時間は下表となっており、8時～20時までの運行時間であれば、主要観光施設へのアクセスに観光客が利用できる。

施設名	営業時間	平均所要時間
糸満市物産センター	10:00～20:00	60分
琉球ガラス村	9:00～18:00	60分
ひめゆり平和祈念資料館	9:00～17:00	60分
平和祈念資料館	9:00～17:00	50分
糸満観光農園(レストラン)	9:00～18:00 (11:30～18:00)	60分

※平均所要時間は観光バスツアーのスケジュールおよび糸満市ホームページより作成

(5) 料金

運賃は、当該地域を運行している既存路線バスの運賃を踏まえ、距離制による料金体系とする。また、一日フリー乗車券は、他の交通手段の料金等を踏まえ、1,500 円程度とする。

糸満市～那覇空港直行バス運賃（案）

○運賃は「対キロ区間制」を基本とする。
・ 那覇空港～糸満観光農園：790 円
・ 那覇空港～道の駅いとまん：490 円
○一日フリー乗車券は、1,500 円程度とする。

※運行ルートの一部変更により、料金変更の可能性あり

推定運賃（増税後）

	国内線														
	国際線											230			
	西崎運動公園前										390	390			
	道の駅いとまん									160	490	490			
	サザンビーチホテル								160	170	490	490			
	道の駅いとまん							160	160	160	490	490			
	糸満漁港入口						160	160	170	200	520	520			
	糸満市役所前					160	160	170	200	200	580	580			
	真栄里入口				160	160	170	200	210	210	600	600			
	南部病院前			160	160	170	170	230	210	230	650	650			
	琉球ガラス村		160	170	230	260	250	270	260	260	680	680			
	ひめゆりの塔		160	190	250	280	320	260	280	300	300	680	680		
	米須		160	190	240	290	340	360	320	340	350	350	710	710	
	平和祈念堂入口		250	290	350	400	460	470	470	470	470	480	480	790	790
糸満観光農園	160	250	290	350	400	460	470	470	470	470	470	480	480	790	790

## (6) 車両

実証実験において利用する車両は、バス事業者からのリースを想定し、中型バス（25～28人乗り程度）とする。今後、本格運行に移行した段階で、専用車両の購入等を検討する。

また、車両の利便性を高めるため、車両デザイン・愛称の検討、車内での観光案内、公衆無線 LAN（Wi-Fi）接続サービスの実施を行う。

### ①車両デザイン・愛称

- ・糸満市の観光イメージにあった愛称とバス車体のデザインを新たに施す。
- ・利用者に親しみや愛着を持ってもらうと共に、バスが運行されていることを広く周知されるようなデザインとする。

### ②観光案内

- ・車内では、音声だけでなく観光案内映像も流し、糸満市の魅力や観光施設の情報を伝える。
- ・アナウンス及びサインは、外国人観光客のためにも多言語（日本語、英語、韓国語、中国語（繁体字・簡体字））とする。

### ③公衆無線 LAN（Wi-Fi）接続サービス

- ・国内外の観光客のニーズに応えるために、車内での公衆無線 LAN（Wi-Fi）接続サービスを提供する。

▼玉泉洞糸満線（中型バス）



▼那覇市「ゆいゆい号」（中型バス）



(7) 既存路線への影響

1) 玉泉洞糸満線

「玉泉洞糸満線」は向陽高校への通学利用が多い路線である。「糸満市～那覇空港直行バス」と路線が重複するものの、重複するバス停は、「糸満市役所」「真栄里入口」「南部病院前」「ひめゆりの塔前」「米須」「平和祈念堂入口」の6箇所である。

また、平成25年度糸満市バス対策会議資料によると、重複するバス停での目的地とする利用者(降車数)は、「下り・玉泉洞向け」で18人/86人「上り・糸満向け」で15人/63人とである。乗車・降車の状況から、玉泉洞糸満線への影響は限定的であると考えられる。

▼玉泉洞糸満線の乗降者数(平成25年6月13日)

下り・玉泉洞向け	輸送人員		上り・糸満向け	輸送人員	
	乗車	降車		乗車	降車
糸満バスターミナル	6.0		玉泉洞前	2.0	
糸満市役所入口	3.0		長毛東口		
糸満市場入口	11.0		公民館前		1.0
糸満ロータリー	6.0		長毛	1.0	
糸満市場前	3.0		魚市場前		
潮崎二丁目		1.0	港川		
糸満市役所前			向陽高校前	29.0	
潮崎入口			具志頭ドライブイン	1.0	
双子橋	1.0		具志頭売店前		
双子橋	11.0		具志頭	3.0	
糸満郵便局前	1.0	1.0	坡名城入口	2.0	1.0
真栄里入口	1.0		坡名城		
南部病院前	1.0	3.0	安里		4.0
名城			与座	1.0	1.0
小波蔵		1.0	仲座	1.0	1.0
糸洲		1.0	ひめゆりパーク		
波平入口	6.0	1.0	平和祈念堂入口	8.0	
山城入口		1.0	健児の塔入口		
伊原入口		1.0	みなみの里前		
伊原			摩文仁ファミリー	1.0	
ひめゆりの塔前	4.0	2.0	晴明病院前	4.0	
米須入口	1.0	1.0	大度	1.0	
米須農協前		2.0	米須	3.0	5.0
米須	5.0	2.0	米須農協前		
大度		4.0	米須入口		
晴明病院前		6.0	ひめゆりの塔前	2.0	
摩文仁ファミリー			伊原		
みなみの里前		2.0	伊原入口		
健児の塔入口			山城入口	1.0	1.0
平和祈念堂入口	8.0	11.0	波平入口		
ひめゆりパーク		1.0	糸洲		
仲座	1.0	1.0	小波蔵		1.0
与座		1.0	名城	3.0	
安里	1.0	1.0	南部病院前		4.0
坡名城	1.0		真栄里入口		6.0
坡名城入口	1.0		糸満郵便局前		3.0
具志頭	12.0	1.0	双子橋		5.0
具志頭売店前	2.0	2.0	潮崎入口		
具志頭ドライブイン		2.0	糸満市役所前		
向陽高校前		20.0	潮崎二丁目		
港川		6.0	糸満市場前		
魚市場前			糸満市場前		1.0
長毛		4.0	糸満ロータリー		4.0
公民館前		1.0	糸満市場入口		10.0
長毛東口			糸満市役所入口		3.0
玉泉洞前		6.0	糸満バスターミナル		12.0
計	86.0	86.0	計	63.0	63.0

H25.6.13調査

## 2) 南部循環線

「南部循環線」は三和地区・高嶺地区から市役所や病院・買い物等、日常生活での利用が多い路線である。「糸満市～那覇空港直行バス」と路線が重複するものの、重複するバス停は、「糸満市役所」「真栄里入口」「南部病院前」「ひめゆりの塔前」「米須」「平和祈念堂入口」の6箇所である。

また、平成25年度糸満市バス対策会議資料によると、重複するバス停での目的地とする利用者（降車数）は、「真壁・喜屋武廻り」で11人/47人「喜屋武・真壁廻り」で4人/35人とである。乗車・降車の状況から、南部循環線への影響は限定的であると考えられる。

▼南部循環線の乗降者数（平成25年6月13日）

真壁・喜屋武廻り	輸送人員	
	乗車	降車
糸満バスターミナル	6.0	
糸満市役所入口	1.0	
潮崎入口		
潮崎二丁目		
糸満市役所前		
糸満市役所入口		
糸満市場入口	5.0	
糸満ロータリー	1.0	
新島	3.0	
糸満小学校前	1.0	
照屋		
照屋入口		
高嶺入口		
大里	3.0	
高嶺小学校前	1.0	3.0
県営新垣団地入口		
新垣		1.0
真栄平		
宇江城	1.0	2.0
真壁入口		1.0
北真壁		
真壁	1.0	1.0
真壁小学校前		
保育所前	1.0	1.0
南真壁	1.0	
米須	1.0	3.0
米須農協前	1.0	
米須入口		1.0
ひめゆりの塔前	1.0	3.0
伊原		
伊原入口		
山城入口		
波平入口	2.0	3.0
糸洲	1.0	
小波蔵	3.0	1.0
喜屋武小学校前	1.0	
喜屋武	3.0	2.0
喜屋武小学校前		
小波蔵	3.0	1.0
名城	2.0	
南部病院前	3.0	3.0
真栄里入口	1.0	1.0
糸満郵便局前		2.0
双子橋		1.0
潮崎入口		
糸満市役所前		1.0
潮崎二丁目		
糸満市場前		1.0
糸満市場前		4.0
糸満ロータリー		4.0
糸満市場入口		3.0
糸満市役所入口		
糸満バスターミナル		4.0
計	47.0	47.0

喜屋武・真壁廻り	輸送人員	
	乗車	降車
糸満バスターミナル	7.0	
糸満市役所入口	1.0	
糸満市場入口	3.0	
糸満ロータリー	1.0	
糸満市場前	1.0	
潮崎二丁目		
糸満市役所前		
潮崎入口		
双子橋	1.0	
双子橋		
糸満郵便局前	1.0	
真栄里入口	5.0	1.0
南部病院前	5.0	1.0
名城		1.0
小波蔵		
喜屋武小学校前		3.0
喜屋武	2.0	4.0
喜屋武小学校前	1.0	
小波蔵		
糸洲		
波平入口		10.0
山城入口		
伊原入口		1.0
伊原		
ひめゆりの塔前		2.0
米須入口		1.0
米須農協前		1.0
米須	2.0	
南真壁		1.0
保育所前		
真壁小学校前		
真壁		
北真壁		
真壁入口		
宇江城	1.0	
真栄平		2.0
新垣		
県営新垣団地入口		
高嶺小学校前	1.0	
大里	3.0	
高嶺入口		
照屋入口		
照屋		
糸満小学校前		3.0
新島		
糸満ロータリー		
糸満市場入口		4.0
糸満市役所入口		
糸満市役所前		
潮崎二丁目		
潮崎入口		
糸満市役所入口		
糸満バスターミナル		
計	35.0	35.0

H25.6.13調査

## 4-3. 利用促進策

### (1) 観光地滞在の魅力づくり

#### 1) テーマや所要時間別の旅行プランの提案

- ・歴史や食、風景などの糸満市の観光資源をまとめ、テーマ別・所要時間別でめぐる観光プランを設定してアピールする。
- ・各観光資源の見頃の時期、アクセス方法と、めぐるのに適した順番やルート、費用などを記したパンフレット・地図等を提供する。
- ・美しい風景等は、写真の対象となりやすく、ブログやSNSへの掲載などの効果が期待されるので、インターネット等との連携を検討する。
- ・知られていない資源を発掘するほか、魅力を高めるための取組みも必要である。

#### 2) 南部地域観光資源のPR

- ・「沖縄ワールド・玉泉洞」や「斎場御嶽」など、他の南部地域の観光資源についても、観光資源の連携を考慮し、必要に応じて積極的なPRを行う。

### (2) 観光交通の利便性の向上

#### 1) 観光交通マップ等の作成

- ・那覇市中心部から那覇空港までの交通機関を含め、糸満～那覇空港直行バスの沿線の観光施設、主な区間の所要時間、料金、運行頻度等を掲載した観光交通マップを作成する。
- ・外国人観光客に提供するための多言語（英語、韓国語、簡体字・繁体字）の観光交通マップを作成する。

#### 2) お得な乗車券の販売とわかりやすいPR

- ・「一日フリー乗車券」を利用することで、観光施設の施設入場料割引やお土産の割引が受けることが出来るサービスを実施するとともに、そのようなサービスの存在を観光客に分かりやすく広報する。

#### 3) 荷物預かりサービス

- ・「那覇空港」の荷物預かりサービスをPRするとともに、「道の駅いとまん」等、各観光施設で荷物預かりサービスを検討する。
-

#### 4) 利便性の高い車両設備など

##### ①車両デザイン・愛称

- ・利用者に親しみや愛着を持ってもらうと共に、バスが運行されていることを広く周知するために、糸満市の観光イメージにあった愛称を付け、直行バスであることが一目で分かるデザインの車体とする。

##### ②観光案内

- ・車内放送は、例えば「米須地区の紹介」などの観光案内映像を流し、糸満市の魅力や観光施設の情報を伝える。
- ・外国人観光客のために、多言語（英語、韓国語、中国語（繁体字、簡体字））の情報も提供する。

##### ③公衆無線 LAN (Wi-Fi) 接続サービス

- ・外国人観光客からの無料公衆無線 LAN 環境へのニーズは非常に高く、車内での利便性向上を図るため、車内での公衆無線 LAN (Wi-Fi) 接続サービスを実施する。

#### (3) 広報活動

##### 1) 多様なニーズに対応した情報提供

- ・那覇空港やモノレール駅での広報に加え、那覇市中心部のホテルの集客効果を考慮して、宿泊施設などでの広報を行う。
- ・観光協会、交通事業者、旅行代理店、航空会社、などと連携した PR を実施する。
- ・糸満市への訪れた観光客はリピーターになってもらうとともに、インターネットや口コミによる情報発信を期待する。

##### 2) マスコミの活用

- ・実証実験の取組みや観光施設の話題（ニュース）は、新聞やテレビ等、マスコミで取り上げてもらうよう「話題づくり」を意識した取組みを心がける。
-

#### (4) 他事業との連携

##### 1) 観光資源を活かすイベントとの連携

- ・既に多数のイベントが行われているのでそれらの魅力アップを図るとともに、「あ・るっく糸満」や「米須村丸ごと生活博物館」、「平和の光事業」など、既存の観光資源を活かすイベントと連携を検討する。
- ・公共交通で訪れるメリット含めて、他事業との連携が大切である。例えば、食事と併せてお酒が飲めるなど、公共交通独自の特徴を整理する。

##### 2) 観光ボランティアの人材の育成（発掘）と活用

- ・糸満市の観光ボランティアの人材の育成事業等と連携し、糸満市～那覇空港直行バスの車内ガイドとして案内を検討する。

#### (5) その他

##### 1) 体験メニュー等の情報及び手配の一元化

- ・体験メニューの情報、ガイドやインストラクターの情報等を一元化し、利用者が希望するものを直接手配するのではなく、希望するものを選んで申し込むとその手配が出来る窓口等、情報および手配の一元化を検討する。

##### 2) 外国人観光客の受入態勢の整備

###### ①外国人観光客のための案内の充実

- ・外国人観光客にお勧めの観光スポットの情報、外国人観光客が興味を持ちそうなテーマの情報、周遊する周辺観光地に関する情報をストックしておき、ニーズに応じた情報提供ができるよう準備を行う。

###### ②外国語パンフレット・地図の作成

- ・外国人観光客に提供するための外国語のパンフレット・地図を作成する。
- ・観光対象へのアクセス、見学に要する時間、料金など実用性のある情報を掲載する。

###### ③外国語案内サインの整備

- ・主要な観光地点、観光ルート上の主要な地点、バス停などに外国語表記の簡易案内サインを整備する。
-

## 5. 事業収支

### 5-1. 実証実験運行経費の試算

実証実験（運行期間5ヶ月）では、以下の経費が想定される。

ただし、本格運行を開始する際の経費は「1. (1) 運行経費」程度となる。

表 平成26年実証実験運行経費

項目	概要	金額 (円)
1. 糸満市～那覇空港直行バス運行経費 (1) 運行経費 (2) 施設整備費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス運行経費（153日+1日）</li> <li>・車両・設備等リース</li> <li>・車両改造費</li> <li>・車両デザイン費</li> <li>・仮設バス停設置費</li> <li>・バス停サイン</li> <li>・一日フリー乗車券印刷費</li> </ul>	<p>27,709,035</p> <p>※内運行経費 18,854,035</p>
2. 観光プログラム企画・提案 (1) 観光プログラムの企画等 (2) ボランティアガイドの養成 (3) 関連施設との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光プログラム企画</li> <li>・ボランティアガイド養成・人件費</li> <li>・ガイド資料印刷費</li> <li>・関連施設との連携</li> </ul>	6,542,075
3. プロモーション活動等 (1) ポスター・チラシデザイン製作 (2) WEBサイト、PR動画製作 (3) 県外旅行イベント等への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター・チラシ印刷費</li> <li>・県外旅行イベント参加等</li> <li>・Wi-Fi（無線LAN）構築</li> <li>・広告掲載料</li> </ul>	16,874,138
4. 利用実態調査 (1) 利用実態調査 (2) 運行計画の見直し検討 ①中間見直し（案）の検討 ②本格運行の検討 (3) 地域路線の方向性検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民に対するアンケート調査</li> <li>・観光客に対するアンケート調査</li> <li>・乗り込み実態調査</li> <li>・見直し運行計画</li> <li>・本格運行（案）</li> <li>・地域路線への影響等の整理</li> </ul>	4,301,171
5. 実証実験の運営補助 (1) 実証実験運営に関する事務 (2) 委員会等の運営補助 ①委員会（4回） ②幹事会（4回） ③庁議等への報告（2回）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証実験運営に関する事務</li> <li>・委員会等の運営補助</li> </ul>	3,249,306
計		58,675,725
改め		58,680,000
消費税相当額		4,694,400
合計		63,374,400

(参考)

事業費		63,374,400
運賃収入（見込み）	需要予測結果より	15,540,000
補助相当額	事業費－運賃収入（見込み）	47,834,400

## 5-2. 需要予測

### (1) 需要予測の概要

観光客アンケート調査及び住民アンケート調査（沿道地区）、その他既存の調査結果等を基に、糸満市～那覇空港直行バスの利用者予測を行う。

需要予測としては、主なターゲットとなる①沖縄県内及び県外からの観光客、②外国人観光客、③沿線住民に対し、以下の手順で利用者予測を行う。

#### 1) 沖縄県内及び県外観光客

##### ①糸満市を訪れる個人観光客数

「沖縄県平和記念資料館年報（平成24年）」から、糸満市を訪れる個人観光客数を算出する。

##### ②転換可能性のある旅行形態の割合

「観光客アンケート（平成25年度）」から、旅行の形態が「家族旅行」や「友達等のグループ旅行」等の割合を算出する。

##### ③転換可能性のある移動手段の割合

「観光客アンケート（平成25年度）」から、観光の主な移動手段として「タクシー」や「定期観光バス」等を利用している割合を算出する。

##### ④糸満市～那覇空港直行バスの利用意向割合

「観光客アンケート（平成25年度）」から、糸満市～那覇空港直行バスの利用意向割合を算出する。

##### ⑤沖縄県内及び県外観光客の利用者数

糸満市を訪れる個人観光客数に、②～④の各割合を乗ずることで、利用者数を算出する。

#### 2) 外国人観光客

##### ①糸満市を訪れる外国人観光客数

「沖縄県観光要覧（平成24年度）」及び「沖縄県 外国人観光客満足度調査（平成24年度）」から、糸満市を訪れる外国人観光客数を算出する。

##### ②転換可能性のある旅行形態の割合

「沖縄県 外国人観光客満足度調査（平成24年度）」から、旅行の形態が「個人旅行」や「フリープラン」等の割合を算出する。

##### ③転換可能性のある移動手段の割合

「沖縄県 外国人観光客満足度調査（平成24年度）」から、観光の主な移動手段として「タクシー」や「定期観光バス」等を利用している割合を算出する。

##### ④糸満市～那覇空港直行バスの利用意向割合

「観光客アンケート（平成25年度）」から、沖縄県内及び県外観光客と同様に、糸満市～那覇空港直行バスの利用意向割合を算出する。

##### ⑤外国人観光客の利用者数

糸満市を訪れる外国人観光客数に、②～④の各割合を乗ずることで、利用者数を算出する。

### 3) 沿線住民

#### ①糸満市～那覇空港直行バスの沿線人口

「平成 17 年国勢調査による 500mメッシュ人口」から、糸満市～那覇空港直行バスの沿線人口を算出する。

#### ②転換可能性のある移動手段の割合

「糸満市の公共交通に関するアンケート調査（平成 24 年度）」から、日常の主な移動手段として「家族の送迎」や「友人や知人の送迎」を利用している割合を算出する。

#### ③不満解消により転換可能性のある割合

「糸満市の公共交通に関するアンケート調査（平成 24 年度）」から、「乗りたい時間に走っていない」や「目的地に到着するまで時間がかかる」等の不満解消できれば、路線バス等に「乗っても良い」と回答した割合を算出する。

#### ④新規利用者数

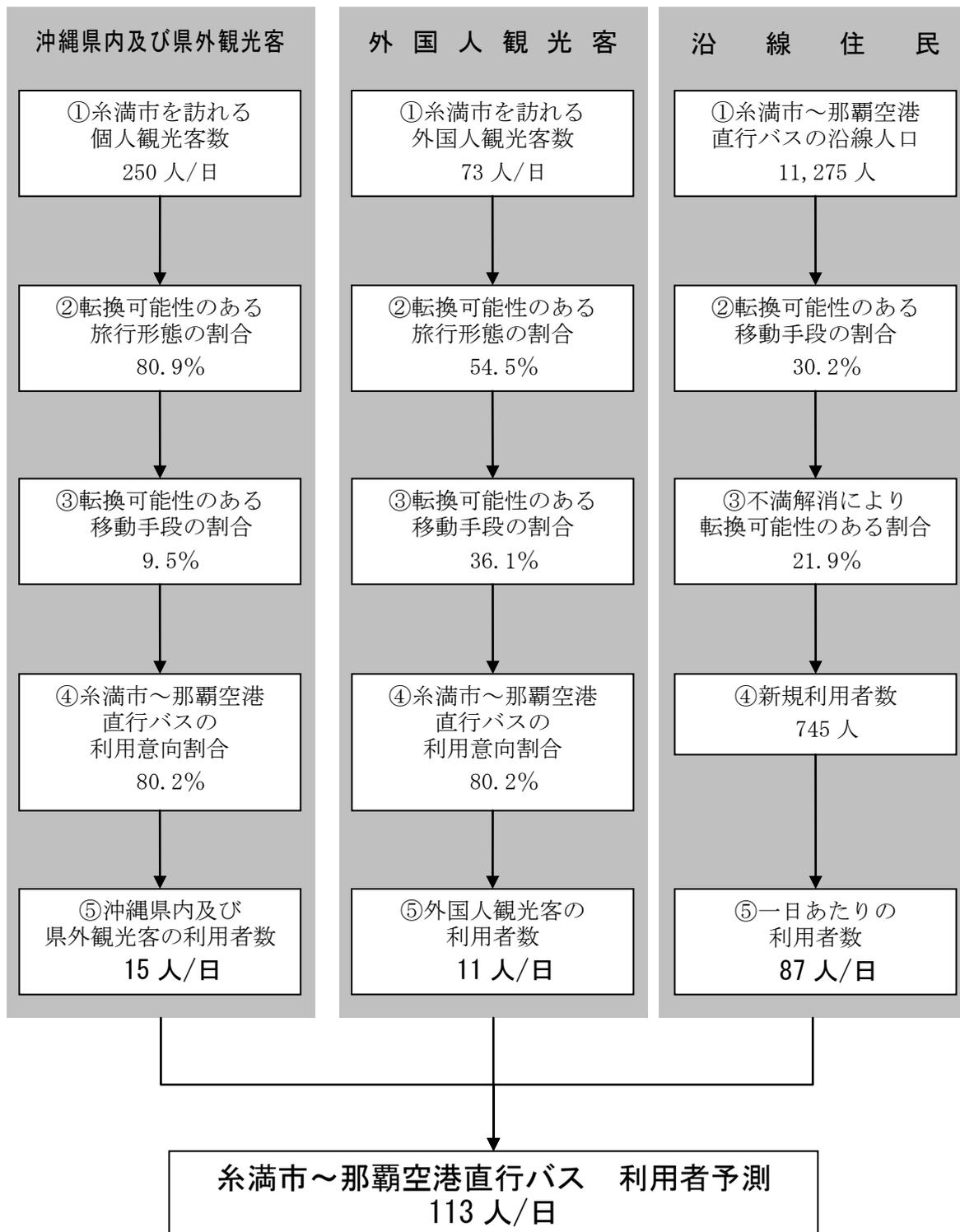
糸満市～那覇空港直行バス路線の沿線人口に、②～④の各割合を乗ずることで、新規利用者数を算出する。

#### ⑤一日あたりの利用者数

「糸満市～那覇空港直行バスに関するアンケート調査（平成 25 年度）」より、利用頻度を算出し、一日あたりの利用者数を換算する。

---

検討フロー



(2) 沖縄県内及び県外観光客

①糸満市を訪れる個人観光客数

糸満市の年間観光客数等については、調査等が行われていないため不明であるため、ここでは、糸満市を代表する観光施設の一つである沖縄県平和祈念資料館の入館者数を、需要予測の対象観光客数とする。

「平成 24 年度 沖縄県平和記念資料館年報」によると、沖縄県平和記念資料館の年間入館者数は約 37 万人/年、開館日 352 日である。その内訳は、「個人入館者」数は 88,136 人/年、「団体入館者」数は 279,419 人/年であるが、「団体入館者」は、貸切バスによる移動が殆どであるため、路線バス等での移動需要は極めて少なく、「個人入館者」とは特性が異なる。

ここでは、観光客の特性を踏まえ、「個人観光客」88,136 人/年（一日平均：250 人/日）を需要予測の対象として考える。

沖縄県平和祈念資料館の来館者数

VIII 入館者状況

1 月別入館者数

年月	個人入館者数 ※1			団体入館者数 ※1			入館者総数 ※1			開館日数	一日平均入館者数 ※1	入館者総数 ※2
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計			
2012年4月	6,107 (310)	990 (73)	7,097 (383)	2,288 (297)	16,825 (2,834)	19,113 (3,131)	8,395 (607)	17,815 (2,907)	26,210 (3,514)	30	874	40,462
2012年5月	5,950 (181)	690 (137)	6,640 (318)	5,015 (539)	36,143 (5,829)	41,158 (6,368)	10,965 (720)	36,833 (5,966)	47,798 (6,686)	31	1,542	55,678
2012年6月	7,651 (2,552)	1,577 (1,034)	9,228 (3,586)	3,175 (352)	21,598 (4,434)	24,773 (4,786)	10,826 (2,904)	23,175 (5,468)	34,001 (8,372)	30	1,133	50,156
2012年7月	6,226 (220)	1,147 (6)	7,373 (226)	1,169 (115)	5,245 (1,984)	6,414 (2,099)	7,395 (335)	6,392 (1,990)	13,787 (2,325)	28	492	23,685
2012年8月	8,324 (437)	2,980 (59)	11,304 (496)	952 (259)	1,366 (0)	2,318 (259)	9,276 (696)	4,346 (59)	13,622 (755)	29	470	24,047
2012年9月	5,790 (145)	555 (64)	6,345 (209)	997 (56)	7,526 (319)	8,523 (375)	6,787 (201)	8,081 (383)	14,868 (584)	28	531	20,888
2012年10月	5,209 (259)	553 (86)	5,762 (345)	3,875 (65)	47,385 (842)	51,260 (907)	9,084 (324)	47,938 (928)	57,022 (1,252)	31	1,839	60,055
2012年11月	5,771 (276)	676 (150)	6,447 (426)	5,398 (188)	41,789 (2,520)	47,187 (2,708)	11,169 (464)	42,465 (2,670)	53,634 (3,134)	30	1,788	59,674
2012年12月	4,803 (424)	625 (88)	5,428 (512)	2,844 (77)	32,999 (646)	35,843 (723)	7,647 (501)	33,624 (734)	41,271 (1,235)	28	1,474	46,079
2013年1月	5,533 (213)	529 (37)	6,062 (250)	2,049 (63)	14,773 (154)	16,822 (217)	7,582 (276)	15,302 (191)	22,884 (467)	28	817	30,571
2013年2月	6,453 (174)	535 (40)	6,988 (214)	1,728 (66)	11,001 (120)	12,729 (186)	8,181 (240)	11,536 (160)	19,717 (400)	28	704	30,093
2013年3月	8,064 (349)	1,398 (12)	9,462 (361)	2,225 (38)	11,054 (195)	13,279 (233)	10,289 (387)	12,452 (207)	22,741 (594)	31	734	33,529
合計	75,881 (5,540)	12,255 (1,786)	88,136 (7,326)	31,715 (2,115)	247,704 (19,877)	279,419 (21,992)	107,596 (7,655)	259,959 (21,663)	367,555 (29,318)	352	1,044	474,917

( ) は内数で無料入場者数

※1 は平和祈念資料館 2 階常設展示室に入室した人数

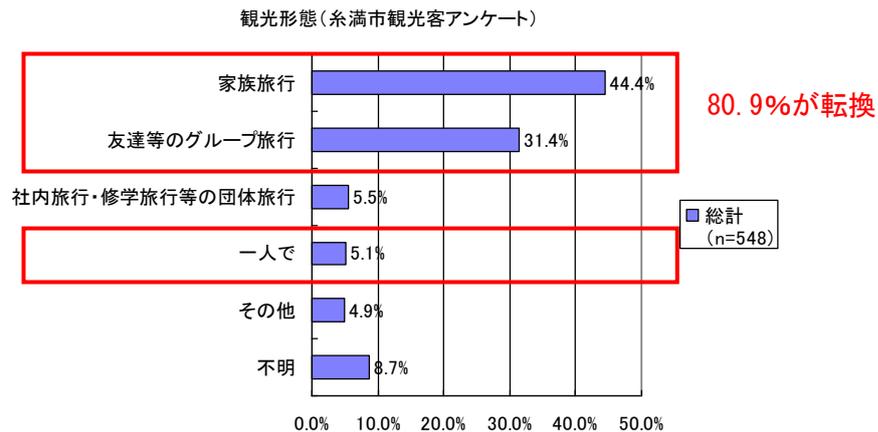
※2 は平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数

資料：平成 24 年度 沖縄県平和祈念資料館年報 平成 24 年 5 月 (沖縄県平和祈念資料館)

### ② 転換可能性のある旅行形態の割合

糸満市を訪れる観光客のうち、「社内旅行・修学旅行等の団体旅行」の観光客が、路線バス等に転換することは難しいと考えられる。一方、自由に旅行プランを設定可能な観光形態の観光客であれば、糸満市～那覇空港直行路線バスが運行されることで、路線バス等へ転換する可能性があると考えられる。

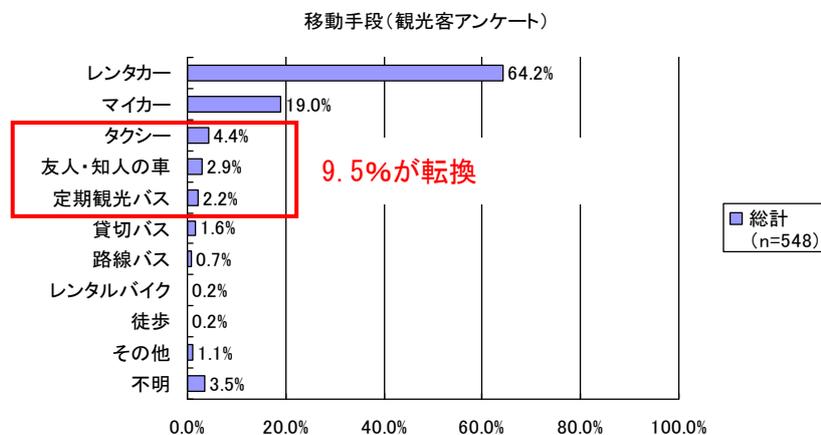
「観光客アンケート（平成 25 年度）」の結果から、自由に旅行プランを設定可能な観光形態として、「家族旅行（44.4%）」「友達等のグループ旅行（31.4%）」「一人で（5.1%）」の観光客 80.9%は、糸満市～那覇空港直行路線バスにメリット等があれば、路線バス等に転換すると考えられる。



### ③ 転換可能性のある移動手段の割合

糸満市を訪れる観光客のうち、「レンタカー」や「マイカー」で移動する観光客や、「貸切バス」で移動する観光客が、路線バス等に転換することは難しいと考えられる。一方、自ら運転をしない交通手段等で訪れる観光客は、糸満市～那覇空港直行路線バスが運行されることで、路線バス等へ転換する可能性があると考えられる。

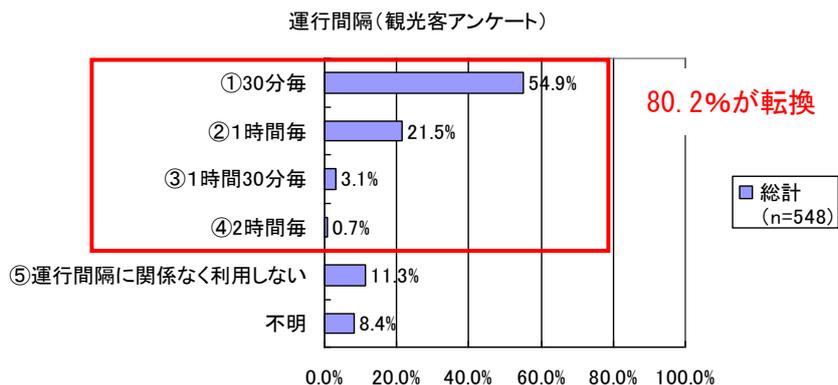
「観光客アンケート（平成 25 年度）」の結果から、自ら運転を行わない交通手段として、「タクシー（4.4%）」「友人・知人の車（2.9%）」「定期観光バス（2.2%）」を利用する観光客 9.5%は、糸満市～那覇空港直行路線バスにメリット等があれば、路線バス等に転換すると考えられる。



④糸満市～那覇空港直行バスの利用意向割合

「観光客アンケート（平成 25 年）」の結果から、糸満市～那覇空港直行バスの運行間隔が「30 分毎」であれば合計で 80.2%（「30 分毎」～「2 時間毎」）が利用すると回答している。

糸満市～那覇空港直行バスの運行間隔は、1 時間間隔の運行を計画しており、既存の路線バスとの組み合わせることで、路線バスの運行間隔は 30 分間隔程度に短縮することが可能であることから、80.2%の観光客が路線バス等に転換する可能性があると考えられる。



⑤沖縄県内及び県外観光客の利用者数

以上より、糸満市～那覇空港直行バスによる沖縄県内及び県外観光客の利用者数は、一日あたり 15 人と想定する。

①糸満市を訪れる個人観光客数 . . . . . 250 人/日

②転換可能性のある旅行形態の割合 . . . . . 80.9%

③転換可能性のある移動手段の割合 . . . . . 9.5%

④糸満市～那覇空港直行バスの利用意向割合 . . 80.2%

⑤沖縄県内及び県外観光客の利用者数

$$= 250 \text{ 人/日} \times 80.9\% \times 9.5\% \times 80.2\% = 15 \text{ 人/日}$$

※1 人未満の端数は切捨てています。

### (3) 外国人観光客の需要予測

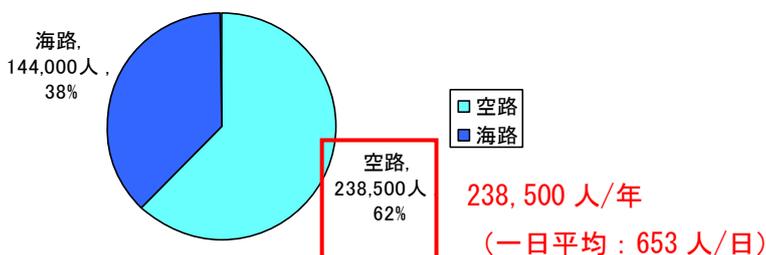
#### ①糸満市を訪れる外国人観光客数

##### ●沖縄県を訪れる外国人観光客数

「沖縄県観光要覧（平成 24 年度）」によると、沖縄県の外国人観光客数は、約 38 万人/年である。その内訳は、空路が 238,500 人/年、海路が 144,000 人/年であるが、海路（クルーズ船等）の外国人観光客は、貸切バスによる移動が殆どであるため、路線バス等での移動需要は極めて少なく、空路からの観光客とは特性が異なる。

ここでは、外国人観光客の特性を踏まえ、空路からの外国人観光客 238,500 人/年（一日平均：653 人/日）を需要予測の対象とする。

沖縄県外国人観光客数(平成24年度)



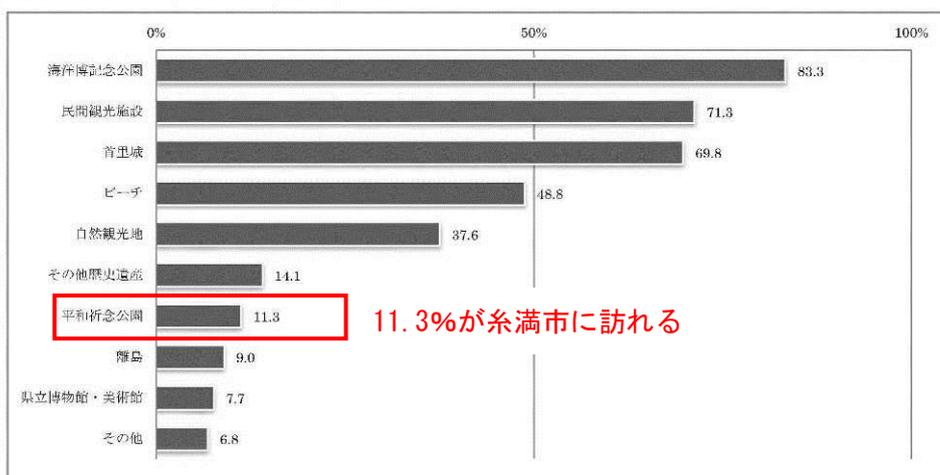
出典 平成 24 年度 観光要覧（沖縄県）

##### ●糸満市を訪れる外国人観光客数

「沖縄県 外国人観光客満足度調査（平成 24 年度）」によると、外国人観光客（空路）の「平和祈念公園」への訪問率は 11.3%である。

ここでは、空路からの外国人観光客 653 人/日に、「平和祈念公園」の訪問率 11.3% を乗じた 73 人/日を糸満市を訪れた外国人観光客数と想定する。

図表 2-8 訪れた観光地（国籍別/複数回答）

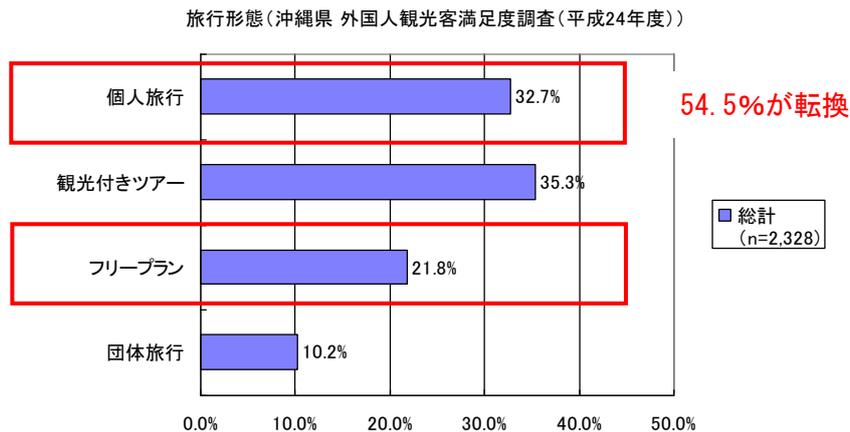


資料：平成 24 年度 外国人観光客満足度調査報告書（空路調査）平成 25 年 6 月（沖縄県）

### ② 転換可能性のある旅行形態の割合

外国人観光客のうち、「団体旅行」や「観光付きツアー」の観光客が、路線バス等に転換することは難しいと考えられる。一方、自由に旅行プランを設定可能な観光形態であれば、糸満市～那覇空港直行路線バスが運行されることで、路線バス等へ転換することが想定される。

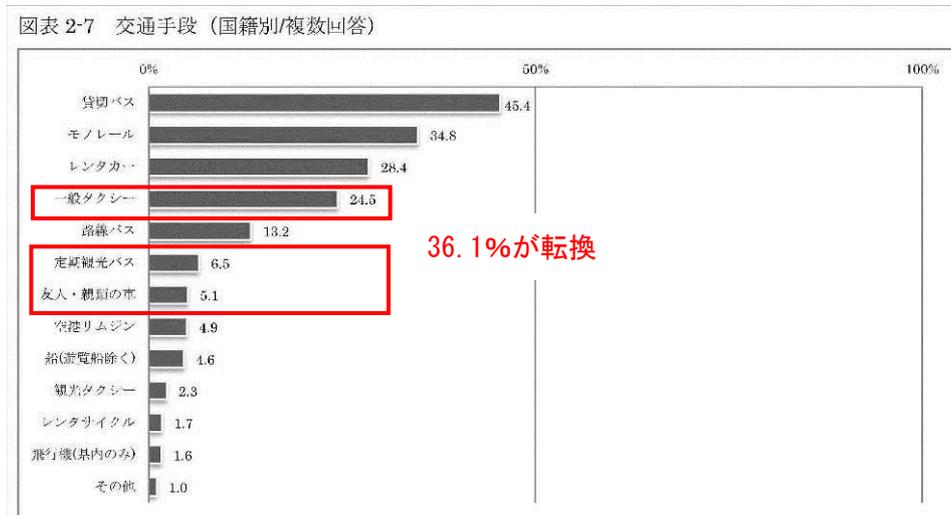
「外国人観光客満足度調査（平成 24 年度）」によると、自由に旅行プランを設定可能な観光形態として、「個人旅行（32.7%）」「フリープラン（21.8%）」の観光客 54.5%は、糸満市～那覇空港直行路線バスにメリット等があれば、路線バス等に転換すると考えられる。



### ③ 転換可能性のある移動手段の割合

外国人観光客のうち、「レンタカー」で移動する観光客や、「貸切バス」で移動する観光客が、路線バス等に転換することは難しいと考えられる。一方、自ら運転をしない交通手段で訪れる観光客は、糸満市～那覇空港直行路線バスが運行されることで、路線バス等へ転換すると想定される。

「外国人観光客満足度調査（平成 24 年度）」によると、自ら運転を行わない交通手段として、「一般タクシー（24.5%）」「定期観光バス（6.5%）」「友人・知人の車（5.1%）」を利用する観光客は 36.1%であり、糸満市～那覇空港直行路線バスにメリットがあれば、路線バス等に転換すると考えられる。



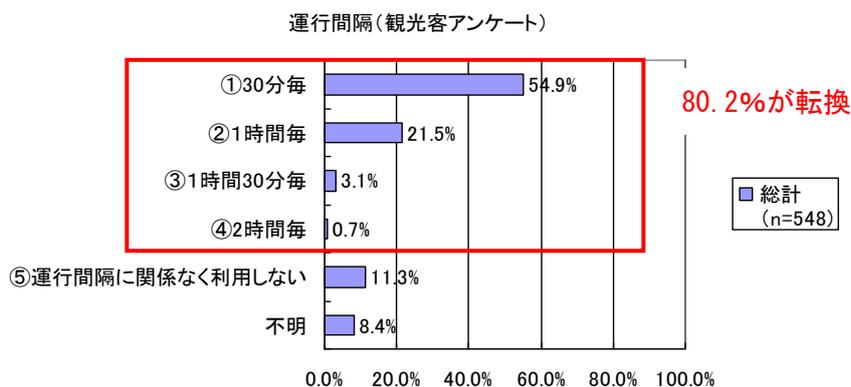
資料：平成 24 年度 外国人観光客満足度調査報告書（空路調査）平成 25 年 6 月（沖縄県）

④糸満市～那覇空港直行バスの利用意向割合

糸満市～那覇空港直行バスの利用意向は、外国人観光客についても、沖縄県内及び県外観光客と同様であると想定する。

「観光客アンケート（平成 25 年）」の結果から、糸満市～那覇空港直行バスの運行間隔が「30 分毎」であれば合計で 80.2%（「30 分毎」～「2 時間毎」）が利用すると回答している。

糸満市～那覇空港直行バスの運行間隔は、1 時間間隔の運行を計画しており、既存の路線バスとの組み合わせることで、路線バスの運行間隔は 30 分間隔程度に短縮することが可能であることから、80.2%の観光客が路線バス等に転換する可能性があると考えられる。



⑤外国人観光客の利用者数

以上より、糸満市～那覇空港直行バスによる外国人観光客の利用者数は、一日あたり 11 人と想定する。

- ①糸満市を訪れる外国人観光客数 . . . . . 73 人/日
- ②転換可能性のある旅行形態の割合 . . . . . 54.5%
- ③転換可能性のある移動手段の割合 . . . . . 36.1%
- ④糸満市～那覇空港直行バスの利用意向割合 . . . 80.2%

⑤沖縄県内及び県外観光客の利用者数  
 = 73 人/日 × 54.5% × 36.1% × 80.2% = 11 人/日

※1 人未満の端数は切捨てています。

(4) 沿道住民の需要予測

①糸満市～那覇空港直行バスの沿線人口

平成 17 年国勢調査による 500mメッシュ人口を基に、平成 24 年度末の沿線人口を換算し、糸満市～那覇空港直行バスの沿線人口を算定する。

現在、糸満市の総人口は増加傾向にあり、平成 17 年人口は 55,816 人に対し、平成 24 年人口は 59,349 人である。そのため、平成 17 年から平成 24 年の人口伸び率は 1.06 となる。

平成 17 年の沿線人口は次頁に示す通り 10,637 人であることから、これに人口伸び率 1.06 を乗じ、平成 24 年度末現在の沿線人口は 11,275 人と考えられる。

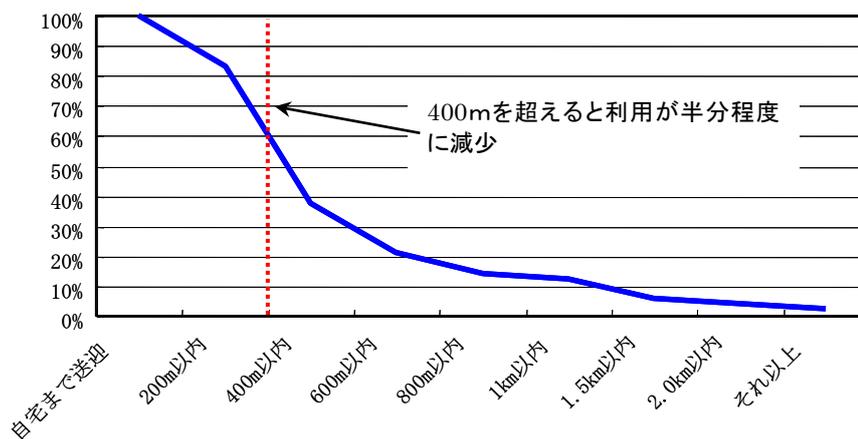
糸満市の総人口及び沿線人口

	平成 17 年 国勢調査	平成 24 年度末 糸満市人口統計資料	人口伸び率
糸満市人口	55,816 人	59,349 人	1.06
沿線人口 (400m 圏)	10,637 人	11,275 人	1.06
人口カバー率	19%	19%	—

●沿線人口

バス停までの距離と利用水準との関係では、一般的に 400mがほぼ限界水準と言われており、バス停留所から半径 400mを利用限界距離とし、利用限界距離に含むメッシュ人口の合計を、沿線人口とした。

▼バス停までの距離の利用限界水準



資料：中国運輸局調査資料

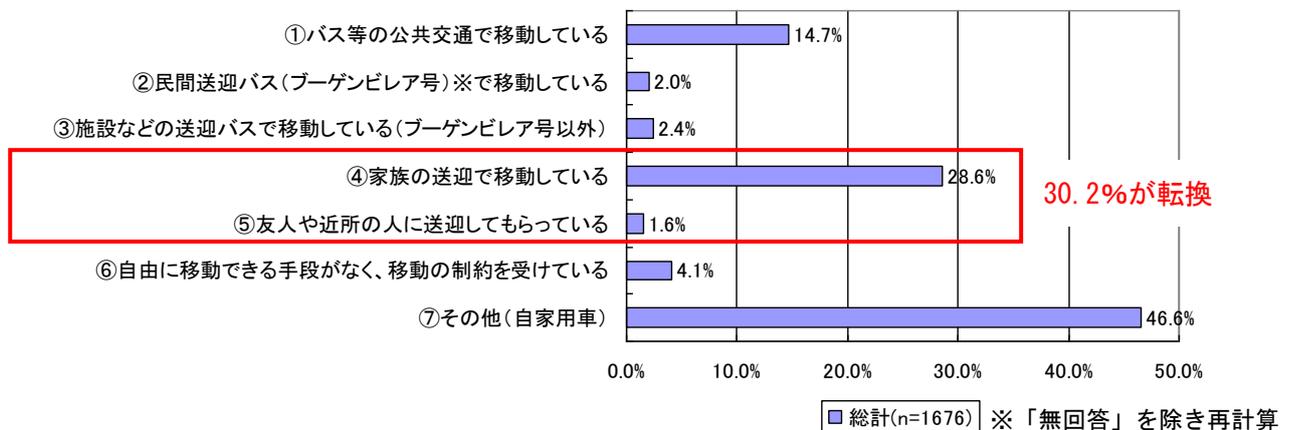


## ② 転換可能性のある移動手段の割合

沿道住民のうち、「自家用車」やで移動する方や、「移動に制約があり」移動できない方が、路線バス等に転換することは難しいと考えられる。一方、自ら運転をしない交通手段で移動をしている方は、糸満市～那覇空港直行路線バスが運行されることで、路線バス等へ転換する可能性がある。

「糸満市の公共交通に関するアンケート調査（平成 24 年度）」の結果から、自ら運転を行わない交通手段として、「家族の送迎（28.6%）」「知人や近所の送迎（1.6%）」を主な移動手段とする住民は 30.2% であり、糸満市～那覇空港直行路線バスにメリットがあれば、路線バス等に転換する可能性があると考えられる。

日常の主な移動手段（糸満市の公共交通に関するアンケート調査（平成24年度））

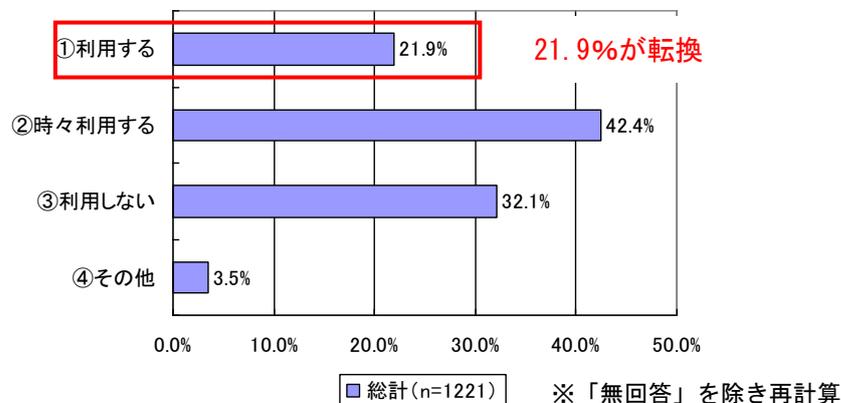


## ③ 不満解消により転換可能性のある割合

糸満市の公共交通に関するアンケート調査（平成 24 年度）」の結果から、公共交通で移動していない方に対しては「乗りたい時間に走っていない」「目的地に到着するまで時間がかかる」等の課題が解決できれば、「乗っても良い」と 21.9% が回答している。

公共交通で移動していない方のうち 21.9% は、糸満市～那覇空港直行バスが運行されることにより、路線バス等に転換する可能性があると考えられる。

今後のバスの利用意向(課題が解決された場合)  
(糸満市の公共交通に関するアンケート調査（平成24年度）)



④新規利用者数

以上より、糸満市～那覇空港直行バスによる沿線住民の新規利用者数は745人と想定する。

①糸満市～那覇空港直行バスの沿線人口・・・11,275人/日

②転換可能性のある移動手段の割合・・・30.2%

③不満解消により転換可能性のある割合・・・21.9%

④新規利用者数

$$=11,275 \text{ 人/日} \times 30.2\% \times 21.9\% = 745 \text{ 人/日}$$

※1人未満の端数は切捨てています。

⑤一日あたりの利用者数

「糸満市～那覇空港直行路線バスに関するアンケート調査（平成25年度）」の結果から、実証実験が行われた場合の利用頻度は、「利用しない」が25.3%と最も多い。一方、「ほぼ毎日」が10.6%、「週2～3回」が6.6%、「週1回」が8.1%と、日常的に利用すると回答した割合も高い。

新規利用者745人/日が、「ほぼ毎日」は20回/月、「週2～3回」は10回/月、「週1回」は4回/月、「月に2～3回」は2.5回/月、「月に1回」は1回/月、「2～3ヶ月に1回」は0.5回/月の頻度で利用すると、一日あたりの利用者数は87人/日となる。

一日あたりの利用者数

①利用者数:745人	②	③	①×②×③÷30日
	割合	一月あたり 利用回数	一日あたり 利用者数
ほぼ毎日	9.8%	20.0	49
週2～3回	6.7%	10.0	17
週1回	7.5%	4.0	7
月に2～3回	14.8%	2.5	9
月に1回	10.0%	1.0	2
2～3ヶ月に1回	21.4%	0.5	3
利用しない	26.7%	0.0	0
不明	3.1%	0.0	0
合計	100.0%	—	87

「糸満市～那覇空港直行路線バスに関するアンケート調査（平成25年度）」より整理

### 5-3. 事業収支の試算

#### (1) 事業収支の試算条件

事業収支の試算条件

項目	糸満市～那覇空港直行バス	単位
実証実験運行期間	5	ヶ月
運行距離（片道）	26.0	Km
運行回数	12	往復
乗車見込数（日）	①沖縄県内及び県外観光客：15人/日 ②外国人観光客：11人/日 ③沿線住民：87人/日	人
想定運賃	①沖縄県内及び県外観光客及び②外国人観光客は、一日フリー乗車券1,500円を利用することも想定 ③沿線住民は、平均運賃480円を想定（道の駅～那覇空港の利用で480円）	円
車両使用料	196.20	円/km

#### (2) 運行経費

1ヶ月あたりの運行経費は、「平成24年度乗合バス事業の収支状況について（国土交通省）」の沖縄ブロック民間事業者の運送原価196.20円/kmを基に算出する。

$\begin{aligned} & \text{運行日数 } 30 \text{ 日} \times \text{運行距離 } 26.0 \text{ km} \times \text{車両使用料 } 196.20 \text{ 円/km} \times \text{運行回数 } 12 \text{ 往復/日} \\ & = 3,673 \text{ 千円} \end{aligned}$
--

#### (3) 運賃収入

1ヶ月あたりの運行収入は、需要予測より①沖縄県内及び県外観光客15人/日と②外国人観光客11人/日を加えた観光客26人/日は、沖縄モノレール実績より16.8%が一日フリー乗車券1,500円を利用、残り83.2%は平均運賃960円（道の駅～那覇空港：480円×往復）と想定。

また、沿線住民87人/日は、85.0%が960円（480円×往復）、7.3%が子供料金480円（240円×往復）として運賃収入を算出する。

<p>&lt;①沖縄県内及び県外観光客15人/日、②外国人観光客11人/日&gt;</p> $\begin{aligned} & \text{運行日数 } 30 \text{ 日} \times \text{観光客 } 26 \text{ 人/日} \times 16.8\% \times \text{一日フリー乗車券 } 1,500 \text{ 円} \\ & + \text{運行日数 } 30 \text{ 日} \times \text{観光客 } 26 \text{ 人/日} \times 83.2\% \times \text{平均運賃 } 960 \text{ 円} \\ & = 197 \text{ 千円} + 623 \text{ 千円} \\ & = 820 \text{ 千円} \end{aligned}$
<p>&lt;③沿線住民87人/日&gt;</p> $\begin{aligned} & \text{運行日数 } 30 \text{ 日} \times \text{沿線住民 } 87 \text{ 人/日} \times 85.0\% \times \text{平均運賃 } 960 \text{ 円} \\ & + \text{運行日数 } 30 \text{ 日} \times \text{沿線住民 } 87 \text{ 人/日} \times 7.3\% \times \text{平均運賃 } 480 \text{ 円} \\ & = 2,130 \text{ 千円} + 91 \text{ 千円} \\ & = 2,221 \text{ 千円} \end{aligned}$

平成 24 年度ゆいレール年間旅客輸送量（沖縄モノレール(株)資料より）

	定期等	定期等以外	合計
輸送距離（人×km）	10,757,595	53,450,973	64,208,568
割合	16.8%	83.2%	100.0%

輸送距離：輸送した旅客(人)数にそれぞれが乗車した距離を乗じたものの累計であり  
交通機関別の輸送分担率(交通機関を利用して行われた全ての移動を輸送  
機関ごとに分けた割合)などの指標として用いられる。

糸満市年齢別人口（平成 24 年度末）

	12 歳以上	11 歳～6 歳	6 歳未満	合計
人口	50,439	4,328	4,582	59,349
割合	85.0%	7.3%	7.7%	100.0%

(4) 事業収支

1 ヶ月（30 日）あたり事業収支

収 入		支 出	
①運賃収入（観光客）	820 千円	①運行経費	3,673 千円
（沿線住民）	2,220 千円		
②補助金等	633 千円		
収入計	3,673 千円	支出計	3,673 千円

5 ヶ月（153 日）あたり事業収支（実証実験期間）

収 入		支 出	
①運賃収入（観光客）	4,182 千円	①運行経費	18,732 千円
（沿線住民）	11,322 千円		
②補助金等	3,228 千円		
収入計	18,732 千円	支出計	18,732 千円

12 ヶ月（365 日）あたり事業収支

収 入		支 出	
①運賃収入（観光客）	9,977 千円	運行経費	44,687 千円
（沿線住民）	27,010 千円		
②補助金等	7,700 千円		
収入計	44,687 千円	支出計	44,687 千円